

調査資料

令和2年度

横浜市民意識調査

横浜市政策局

ま え が き

「横浜市民意識調査」は、市民の皆様の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的としており、昭和 47（1972）年度から毎年実施しています。

本年度の調査では、市政への満足度、市政への要望、定住意識、生活満足度、心配ごとや困っていることなどのほか、特集として、人口減少や、これからの生活・社会について尋ねました。

調査の結果は、市民ニーズを的確にとらえるための基礎的かつ客観的なデータとして活用していきます。

なお、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、調査の実施時期を変更するとともに、調査対象者数を 3,200 人から 5,000 人に増やし、回答の回収方法を例年の訪問回収から郵送回答・インターネット回答併用に変更して実施しました。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

令和 3 年 3 月

横浜市政策局

目 次

I. 調査の概要	1		
1. 目的	1	3. 生活意識	57
2. 構成	1	(1) 生活満足度	57
3. 仕様	1	(2) 項目別生活満足度	60
4. 項目	1	(3) 生活満足度と 項目別生活満足度のまとめ	68
5. 回収結果	1	(4) 心配ごとや困っていること	69
6. 集計方法	2	4. 地域におけるつながり	76
7. 報告書の見方	2	(1) 隣近所とのつき合い方	76
8. 回収標本構成	3	(2) 隣近所とのつき合いの感じ方	80
9. 調査票と単純集計結果	9	5. 人口減少について	84
II. 調査の結果	20	(1) 人口減少の認知	84
1. 市政	20	(2) 人口減少についてのとらえ方	85
(1) 市政への満足度	20	(3) 人口減少が望ましい と思う理由	89
(2) 市政への要望	27	(4) 人口減少が望ましくない と思う理由	92
(3) 市政全体への満足度	35	6. これからの生活・社会	95
(4) 満足度と要望のまとめ	39	(1) 老後の暮らし方	95
2. 定住意識	42	(2) 今後の横浜のまち	98
(1) 現住地居住年数	42	(3) 環境の変化への期待・不安	107
(2) 前住地	44		
(3) 現住地定住意向	45		
(4) 希望する転居先	49		
(5) 市内定住意向	49		
(6) 横浜に住み続ける理由	50		
		参 考	123

I 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題などに応じて年度ごとに設定する項目から構成する。

3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 抽出人数 5,000 人
- (4) 抽出方法 日本人、外国籍市民ともに住民基本台帳から単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送回答又は横浜市のシステムを用いたインターネット回答による）
- (6) 調査期間 令和 2 年 10 月 8 日（木）～10 月 27 日（火）
- (7) 調査実施、集計、分析 株式会社アクス

4. 項目

- (1) 【市政】 市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度
- (2) 【定住意識】 現住地居住年数、前住地、現住地定住意向、希望する転居先、横浜に住み続ける理由
- (3) 【生活意識】 生活満足度、項目別生活満足度、心配ごとや困っていること
- (4) 【地域におけるつながり】 隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方
- (5) 【人口減少について】 人口減少の認知、人口減少についてのとらえ方、人口減少が望ましいと思う理由、人口減少が望ましくないと思う理由
- (6) 【これからの生活・社会】 老後の暮らし方、今後の横浜のまち、環境の変化への期待・不安

5. 回収結果

- (1) 回収件数 2,627 件（郵送回答 1,779 件／インターネット回答 848 件）
- (2) 回収率 52.5%
- (3) 未回収件数 2,373 件（転居、住所不明 84 件を含む）

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別（18区別）、ブロック別（4ブロック別）、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別、設問間クロス集計

7. 報告書の見方

- (1) nは質問に対する回答の対象者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 百分比は少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計は通常100.0%を超える。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 単純無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、及び回答比率(P)によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数

n = 回答件数（比率算出の基数）

P = 回答比率

<標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,627人	±1.15	±1.53	±1.75	±1.87	±1.91
2,000人	±1.31	±1.75	±2.01	±2.15	±2.19
1,000人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
100人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

(注) 母集団は横浜市全体の満18歳以上人口3,210,985人である。(令和2年9月30日)

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が2,627であり、その設問中の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも1.87%以内(58.13~61.87)である」とみることができる。

ただし、信頼度が95%であるので、そのように判断することは95%の確率で正しいことになる。

8. 回収標本構成

(1) 区別

	実数	割合
全体	2,627	100.0%
鶴見区	187	7.1%
神奈川区	131	5.0%
西区	72	2.7%
中区	88	3.3%
南区	143	5.4%
港南区	165	6.3%
保土ヶ谷区	136	5.2%
旭区	193	7.3%
磯子区	111	4.2%
金沢区	150	5.7%
港北区	233	8.9%
緑区	150	5.7%
青葉区	205	7.8%
都筑区	143	5.4%
戸塚区	209	8.0%
栄区	81	3.1%
泉区	114	4.3%
瀬谷区	72	2.7%
無回答	44	1.7%

(2) ブロック別

	実数	割合
全体	2,627	100.0%
東部	621	23.6%
西部	724	27.6%
南部	507	19.3%
北部	731	27.8%
無回答	44	1.7%

(注) ブロック別の構成は、以下のとおりである。

東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区

南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（令和2年9月30日現在）		
	実数	割合（%）	人口（人）	構成比（%）	
全体	2,627	100.0%	3,210,985	100.0%	
18～29歳	262	10.0%	484,052	15.1%	
（18～19歳）	28	1.1%	70,750	2.2%	
30代	316	12.0%	446,460	13.9%	
40代	449	17.1%	591,152	18.4%	
50代	449	17.1%	560,617	17.5%	
60代	427	16.3%	408,533	12.7%	
70歳以上	685	26.1%	720,171	22.4%	
（80歳以上）	224	8.5%	289,794	9.0%	
男性計	1,134	43.2%	1,584,805	49.4%	
	18～29歳	117	4.5%	247,923	7.7%
	（18～19歳）	13	0.5%	36,192	1.1%
	30代	122	4.6%	229,102	7.1%
	40代	181	6.9%	300,857	9.4%
	50代	188	7.2%	290,694	9.1%
	60代	208	7.9%	205,554	6.4%
	70歳以上	318	12.1%	310,675	9.7%
	（80歳以上）	97	3.7%	110,973	3.5%
女性計	1,440	54.8%	1,626,180	50.6%	
	18～29歳	145	5.5%	236,129	7.4%
	（18～19歳）	15	0.6%	34,558	1.1%
	30代	191	7.3%	217,358	6.8%
	40代	267	10.2%	290,295	9.0%
	50代	258	9.8%	269,923	8.4%
	60代	219	8.3%	202,979	6.3%
	70歳以上	360	13.7%	409,496	12.8%
	（80歳以上）	124	4.7%	178,821	5.6%
性別・年齢無回答	39	1.5%	—	—	

(注) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4) ライフステージ別

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,627	100.0%	
子どもなし (計)		740	28.2%	
1 単身 (1)		290	11.0%	配偶者なし・子どもなし・40歳未満
2 単身 (2)		158	6.0%	配偶者なし・子どもなし・40～64歳
3 夫婦だけ (1)		58	2.2%	配偶者あり・子どもなし・40歳未満
4 夫婦だけ (2)		131	5.0%	配偶者あり・子どもなし・40～64歳
5 高齢子どもなし		103	3.9%	65歳以上・子どもなし
子どもあり (計)		1,733	66.0%	
6 家族形成期		159	6.1%	子どもあり・第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		155	5.9%	子どもあり・第一子が小学校在学中
8 家族成長中期		173	6.6%	子どもあり・第一子が中学校又は高校在学中
9 家族成長後期		117	4.5%	子どもあり・第一子が各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親
10 家族成熟前期		105	4.0%	子どもあり・第一子が学校教育終了・教育期*の子どもがいる
11 家族成熟中期		295	11.2%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳未満
12 家族成熟後期		729	27.8%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳以上
その他		154	5.9%	1～12以外、分類不能

*教育期・小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<ライフステージとその構成条件>

質問、項目名 選択肢名		ライフ ステージ												そ の 他
		1 単 身 (1)	2 単 身 (2)	3 夫 婦 だ け (1)	4 夫 婦 だ け (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期	
F6 子 ど も	なし あり	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
F2 年 齢	40歳未満 40歳～64歳 65歳以上	○		○								○		
F5 未 ・ 既 婚	未婚 既婚・有配偶者 既婚・配偶者離死別	○	○			○								
F6 子 ど も の 成 長 段 階	小学校入学前 小学校在学中 中学校在学中 高校在学中 各種・専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中 学校教育終了 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> { <ul style="list-style-type: none"> 未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居 </div>						○		○					

(注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合、第一子の状況とする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを条件とする。

(注3) 「その他」は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～12以外のもの及び分類不能なものである。

※表中のF6、F2、F5は調査票の設問の番号(P18参照)

(5) 世帯類型別

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,627	100.0%	
1 ひとり暮らし (1)		100	3.8%	ひとり暮らし・40歳未満
2 ひとり暮らし (2)		103	3.9%	ひとり暮らし・40～64歳
3 ひとり暮らし (3)		139	5.3%	ひとり暮らし・65歳以上
4 夫婦のみ (1)		226	8.6%	夫婦二人暮らし・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		414	15.8%	夫婦二人暮らし・子どもあり
6 子と同居 (1)		599	22.8%	親子2世代で同居・教育期*の子どもがいる
7 子と同居 (2)		370	14.1%	親子2世代で同居・子どもが全員学校教育終了
8 親と同居 (1)		159	6.1%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳未満
9 親と同居 (2)		86	3.3%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳以上
10 祖父母と親と子		140	5.3%	祖父母と親子と子3世代で同居
その他		291	11.1%	1～10以外、分類不能

*教育期・・・小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他
		ひとり暮らし 暮らし (1)	ひとり暮らし 暮らし (2)	ひとり暮らし 暮らし (3)	夫婦のみ (1)	夫婦のみ (2)	子と同居 (1)	子と同居 (2)	親と同居 (1)	親と同居 (2)	祖父母と親と子	
F7 家族形態	ひとり暮らし	○	○	○								
	夫婦だけ				○	○						
	親と子（2世代）						○	○	○	○		
	祖父母と親と子（3世代）										○	
F6 子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門学校在学中					○	○					
	短大・大学・大学院在学中					○	○					
学校教育終了								○	○			
F2 年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終了した子どもの有無は問わない。「7 子と同居(2)」は学校教育を終了した子どものみとする。

(注2) 「その他」は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～10以外のもの及び分類不能なものである。

※表中のF7、F6、F2は調査票の設問の番号（P18参照）

(6) 出生地別

属性	数値	実数	割合
全 体		2,627	100.0%
横浜生まれ		778	29.6%
横浜以外		1,809	68.9%
無回答		40	1.5%

(7) 未・既婚別

属性	数値	実数	割合
全 体		2,627	100.0%
既婚 (計)		2,045	77.8%
有配偶者		1,734	66.0%
離死別		311	11.8%
未婚		534	20.3%
無回答		48	1.8%

(8) 共働き状況別 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合
全 体		1,734	100.0%
共働きしている		784	45.2%
共働きしていない		940	54.2%
無回答		10	0.6%

(9) 職業別

属性	数値	実数	割合
全 体		2,627	100.0%
有職者 (計)		1,530	58.2%
自営業		178	6.8%
管理職		128	4.9%
専門技術職		225	8.6%
事務職		472	18.0%
現業職		527	20.1%
無職者 (計)		1,026	39.1%
主婦・主夫		389	14.8%
学生		75	2.9%
無職		562	21.4%
無回答		71	2.7%

(10) 就業形態別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全 体		1,352	100.0%
会社役員		65	4.8%
正社員・正規職員		761	56.3%
アルバイト・パート		351	26.0%
派遣社員		30	2.2%
契約社員・嘱託社員		106	7.8%
その他		12	0.9%
無回答		27	2.0%

(11) 勤務地別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全 体		1,352	100.0%
居住区内		323	23.9%
市内他区		434	32.1%
川崎市		86	6.4%
川崎市を除く県内の他市町村		62	4.6%
東京都区部		363	26.8%
東京都区部を除く東京都		21	1.6%
千葉県		3	0.2%
埼玉県		6	0.4%
その他		25	1.8%
無回答		29	2.1%

(12) 住居形態別

属性	数値	実数	割合
全 体		2,627	100.0%
持家 (一戸建て)		1,208	46.0%
持家 (マンション・共同住宅)		745	28.4%
借家 (一戸建て)		37	1.4%
借家 (県営・市営の共同住宅)		59	2.2%
借家 (都市再生機構 (旧公団) ・公社の共同住宅)		56	2.1%
借家 (社宅、公務員住宅)		51	1.9%
借家 (民間アパート、民間 賃貸マンション)		404	15.4%
その他		27	1.0%
無回答		40	1.5%

(13) 鉄道路線別

属性	数値	実数	割合
全 体		2,627	100.0%
横浜線		222	8.5%
東横線		201	7.7%
田園都市線・こどもの国線		211	8.0%
根岸線		197	7.5%
相鉄線		387	14.7%
東海道線北部		213	8.1%
東海道線南部		250	9.5%
京浜急行線		324	12.3%
市営地下鉄線北部		213	8.1%
市営地下鉄線南部		239	9.1%
その他・不明		170	6.5%

(注)・東横線:「東横線」「みなとみらい線」

- ・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」
- ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
- ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
- ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
- ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,627]

【定住意識】 まず、お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

2.2	65年以上前〔昭和30年(1955年)以前〕	
3.0	55～64年前〔昭和31～40年(1956～1965年)〕	
6.7	45～54年前〔昭和41～50年(1966～1975年)〕	
9.8	35～44年前〔昭和51～60年(1976～1985年)〕	
13.2	25～34年前〔昭和61～平成7年(1986～1995年)〕	
21.0	15～24年前〔平成8～17年(1996～2005年)〕	
11.7	10～14年前〔平成18～22年(2006～2010年)〕	
12.8	5～9年前〔平成23～27年(2011～2015年)〕	
18.4	5年未満〔平成28年(2016年)以降〕	1.1 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

5.1	生まれてからずっと現住所に住んでいる	5.3	川崎市を除く県内の他市町村
27.9	今住んでいるのと同じ区内	9.1	東京都区部
30.6	横浜市内の別の区	1.8	東京都区部を除く東京都内
6.4	川崎市	13.1	そのほかの道府県・国外
0.7 (無回答)			

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

問4へ	35.6	住み続ける	11.6	たぶん転居する	11.3	わからない	1.8 (無回答)
	33.7	たぶん住み続ける	6.0	転居する			

(問3で「3」または「4」と答えた方に)
 3ページ 問5へ
 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(○は1つ) (n=463)

12.1	同じ区内	29.8	横浜市内	22.0	横浜市以外	33.9	具体的にはわからない	2.2 (無回答)
問4へ				3ページ 問5へ				

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に) (n=2,014)

問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

21.0	生まれ育った場所だから	9.9	街ににぎわいや活気があるから
64.2	自分や家族の持家だから	16.8	街並みや景観がよいから
4.0	家賃や住宅の価格が手ごろだから	22.6	自然が身近にあるから
30.3	親や子、親族、友人などがいるから	15.9	街のイメージがよいから
26.8	通勤・通学に便利だから	36.6	長年住んでいて愛着があるから
35.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから	34.9	横浜が好きだから
5.1	子育ての環境が整っているから	2.7	その他(具体的に)
16.7	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	1.7	特に理由はない
0.9 (無回答)			

【生活意識】次に、生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問5 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。

(〇は1つ)

24.6	満足しているほう	7.9	やや不満があるほう
47.8	まあ満足しているほう	3.8	不満があるほう
14.4	どちらともいえない	1.5 (無回答)	

問6 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇はそれぞれ1つ)

	ほ満足している	いまある満足はうて	いどちえらな	あやる不満がう	ほ不満がある	無回答
(ア) 住まい	29.6	46.0	11.3	8.6	3.1	1.4
(イ) 自由に過ごせる時間	27.9	43.4	15.2	8.8	3.1	1.6
(ウ) 仕事・学業	14.5	33.8	24.8	9.4	3.9	13.6
(エ) 収入	10.7	31.3	27.1	17.7	9.7	3.5
(オ) 健康	16.9	41.1	22.0	12.9	4.8	2.2
(カ) 家族との関係	36.7	41.0	12.6	5.1	2.4	2.2
(キ) 友人や近隣とのつき合い	17.2	43.2	31.5	4.7	1.4	2.0

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。

(○は3つまで)

53.7	自分の病気や健康、老後のこと	4.2	近隣からの悪臭・騒音
38.2	家族の病気や健康、生活上の問題	4.5	環境問題
10.0	失業・倒産や収入が減ること	9.8	事故や災害のこと
12.9	仕事や職場のこと	7.0	犯罪や防犯のこと
21.8	景気や生活費のこと	10.0	住宅のこと
12.5	子どもの保育や教育のこと	4.0	その他（具体的に)
8.0	子どもの結婚や就職のこと	11.1	心配ごとや困っていることはない
			3.2 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問8 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(○はいくつでも)

- 52.2 バス・地下鉄などの便
- 18.3 幹線道路や高速道路の整備
- 20.2 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 4.0 違法駐車防止や交通安全対策
- 4.0 駐車場の整備
- 22.7 最寄り駅周辺の整備
- 10.5 都心部の整備や魅力づくり
- 16.3 街並みや景観の形成や保全
- 5.8 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 7.0 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 0.9 中小企業振興や雇用の創出
- 3.4 商店街の振興
- 3.7 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 21.7 公園・動物園の整備
- 17.3 緑の保全と緑化の推進
- 8.9 河川改修と水辺環境の整備
- 7.2 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 25.2 良質な水の確保や安定供給
- 2.5 環境汚染や騒音などへの対策
- 34.7 ごみの分別収集、リサイクル
- 6.2 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 1.8 地球温暖化への対策
- 4.2 地震などの災害対策
- 4.2 防犯対策
- 3.6 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 1.3 訪問販売などに関する消費生活相談
- 4.2 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 4.0 学校教育の充実
- 1.5 青少年の健全育成
- 17.9 病院や救急医療など地域医療
- 12.1 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 7.4 高齢者福祉
- 4.2 障害者福祉
- 2.7 経済的に困っている人の保護や支援
- 1.0 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 12.8 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 9.3 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 6.1 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 4.0 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策
- 2.2 国際交流・協力の推進
- 3.4 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 1.0 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 7.4 身近な住民窓口サービス
- 2.0 その他（具体的に
- 10.0 わからない

3.7（無回答）

問9 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。（○はいくつでも）

- 22.1 バス・地下鉄などの便
- 8.0 幹線道路や高速道路の整備
- 22.3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 17.9 違法駐車防止や交通安全対策
- 11.0 駐車場の整備
- 22.4 最寄り駅周辺の整備
- 6.3 都心部の整備や魅力づくり
- 13.7 街並みや景観の形成や保全
- 6.0 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 4.1 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 12.6 中小企業振興や雇用の創出
- 22.6 商店街の振興
- 8.3 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 12.4 公園・動物園の整備
- 18.2 緑の保全と緑化の推進
- 13.2 河川改修と水辺環境の整備
- 13.1 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 14.3 良質な水の確保や安定供給
- 13.6 環境汚染や騒音などへの対策
- 16.0 ごみの分別収集、リサイクル
- 21.4 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 25.7 地球温暖化への対策
- 35.8 地震などの災害対策
- 28.5 防犯対策
- 8.8 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 6.2 訪問販売などに関する消費生活相談
- 19.1 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 20.5 学校教育の充実
- 11.8 青少年の健全育成
- 30.6 病院や救急医療など地域医療
- 25.6 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 29.9 高齢者福祉
- 15.9 障害者福祉
- 18.4 経済的に困っている人の保護や支援
- 7.3 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 9.4 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 12.6 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 9.7 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 17.9 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策
- 5.3 国際交流・協力の推進
- 5.8 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 6.5 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 15.5 身近な住民窓口サービス
- 3.3 その他（具体的に)
- 4.5 わからない

3.2（無回答）

問 10 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

6.7 満足しているほう	11.1 やや不満があるほう
33.7 まあ満足しているほう	6.3 不満があるほう
34.2 どちらともいえない	6.3 わからない
	1.7 (無回答)

【地域におけるつながり】

問 11 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。（○は1つ）

14.0 顔もよく知らない	
50.0 道で会えば挨拶ぐらいする	
25.3 たまに立ち話をする	
4.6 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている	
4.2 困ったとき、相談したり助け合ったりする	1.8 (無回答)

問 12 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。（○は1つ）

73.1 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい	
13.0 人間関係が薄く、みながばらばらな感じできびしい	
10.8 親密な人間関係があって、暮らしやすい	
1.1 人間関係が濃密で、わずらわしい	2.0 (無回答)

【人口減少について】次に、人口の減少についてのあなたのお考えなどについてお尋ねします。

問 13 全国の人口は10年以上前から減少傾向にありますが、横浜市においても、近い将来、人口減少に転じることが見込まれています。このことを知っていますか。(〇は1つ)

63.8 知っている	34.8 知らない	1.4 (無回答)
------------	-----------	-----------

問 14 人口が減少することについて、あなたはどのように感じていますか。あなたのお考えに最も近いと思うものを選んでください。(〇は1つ)

2.4 望ましいと思う			
6.4 どちらかといえば望ましいと思う			
22.0 どちらともいえない	----->	8ページ 問15へ	
32.8 どちらかといえば望ましくないと思う			
28.4 望ましくないと思う			
6.0 わからない	----->	8ページ 問15へ	2.0 (無回答)

(問14で「1」または「2」と答えた方に) (n=232)

→ 問 14-1 人口が減少することが望ましいと思う理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

68.5 今は人が多過ぎると思うから	
54.3 交通渋滞や満員電車が改善されると思うから	
25.9 資源の消費が少なくて済むようになると思うから	
17.7 ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから	
37.5 人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから	
6.9 その他(具体的に)	
0.9 わからない	1.7 (無回答)

(問 14で「4」または「5」と答えた方に) (n=1,607)

→ 問 14-2 人口が減少することが望ましくないと思う理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

73.3 労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから	
78.9 年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから	
67.6 税収が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから	
31.6 バスなどの公共交通機関が縮小すると思うから	
54.9 地域の活気がなくなると思うから	
47.7 空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから	
2.7 その他(具体的に)	
0.6 わからない	0.9 (無回答)

【これからの生活・社会】

問 15 あなたは、ご自分の老後を、誰とどのように暮らすのがよいと思いますか。現在のあなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|------|-------------------------|-----------|
| 14.5 | 子どもと一緒に住む | |
| 68.9 | 自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす | |
| 2.9 | 家族以外の気のあった人と一緒に住む | |
| 8.8 | 高齢者向けの住宅(有料老人ホームなど)で暮らす | |
| 2.9 | その他(具体的に) | 2.0 (無回答) |

問 16 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。(○は5つまで)

- | | | |
|------|----------------------------|-----------|
| 34.6 | 多くの企業が集まり、安定した雇用がある | |
| 12.7 | 様々な分野で先端技術を活かした取組が進んでいる | |
| 17.8 | 国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある | |
| 16.9 | 国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある | |
| 19.8 | 文化・芸術に触れる機会が多くある | |
| 26.4 | 歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある | |
| 12.3 | スポーツに親しむ機会(観戦や応援を含む)が身近にある | |
| 39.9 | 豊かな自然がある | |
| 16.5 | 地球温暖化対策など環境に配慮した取組が進んでいる | |
| 53.8 | 医療体制が充実している | |
| 13.2 | 魅力的な商業施設が多い | |
| 21.6 | 交通ネットワークが充実している | |
| 29.8 | 子どもを安心して育てられる | |
| 38.4 | 高齢者や障害のある人も暮らしやすい | |
| 7.0 | 住民同士の協力や助け合いが盛んである | |
| 36.9 | 災害に強い | |
| 21.5 | 市民の声が市政に十分反映されている | |
| 2.0 | その他(具体的に) | |
| 2.1 | 特にない | 2.7 (無回答) |

問17 私たちの生活を取り巻く環境は、今後、様々に変化していくと言われていますが、あなたは次の変化について、期待をしていますか。それとも、不安に思っていますか。（○はそれぞれ1つ）

	期待している	どちらかといえば	いどちらでもない	どちらかといえば不安に思っている	不安に思っている	無回答
(ア) 仕事をする場所や時間が選択できるなど、新たな仕事スタイルが広がること	32.2	35.5	22.9	4.2	1.4	3.7
(イ) 平均寿命や健康寿命が延び、生涯にわたり、学び働き続けられる社会になること	26.6	36.8	24.3	6.7	3.0	2.6
(ウ) AI（人工知能）技術の実用化が進むこと（医学的診断、自動運転、交通渋滞の緩和等への活用など）	28.5	33.3	24.7	8.0	2.7	2.8
(エ) キャッシュレス化（支払い等に現金を使用せず、クレジットカードや電子マネー等を利用するなど）が進むこと	18.6	21.9	31.7	15.9	9.4	2.4
(オ) 行政手続のオンライン化（役所に出向かずにインターネットで手続ができるなど）が進むこと	34.2	25.4	20.5	11.0	6.7	2.3

【あなたのこと】

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入をよろしくお願いいたします。

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

43.2	男 性	54.9	女 性	1.9	(無回答)
------	-----	------	-----	-----	-------

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.1	18～19 歳	7.0	35～39 歳	8.6	55～59 歳	7.5	75～79 歳
3.8	20～24 歳	7.4	40～44 歳	8.2	60～64 歳	8.5	80 歳以上
5.1	25～29 歳	9.7	45～49 歳	8.1	65～69 歳		
5.1	30～34 歳	8.5	50～54 歳	10.0	70～74 歳	1.5	(無回答)

F 3 あなたのお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

7.8	青葉区	4.2	磯子区	6.3	港南区	2.7	瀬谷区	8.0	戸塚区	5.2	保土ヶ谷区
7.3	旭区	5.0	神奈川区	8.9	港北区	5.4	都筑区	3.3	中区	5.7	緑区
4.3	泉区	5.7	金沢区	3.1	栄区	7.1	鶴見区	2.7	西区	5.4	南区
										1.7	(無回答)

F 4 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

29.6	はい	68.9	いいえ	1.5	(無回答)
------	----	------	-----	-----	-------

F 5 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

66.0	既婚 (配偶者あり)	11.8	既婚 (離別・死別)	20.3	未 婚	1.8	(無回答)
------	------------	------	------------	------	-----	-----	-------

(F 5で「1」と答えた方に)

→ F 5-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ) (n=1,734)

45.2	している	54.2	していない	0.6	(無回答)
------	------	------	-------	-----	-------

F 6 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

28.4	子どもはいない	6.9	短大・大学・大学院在学中
9.0	小学校入学前	15.1	学校教育終了-未婚-同居
9.2	小学校在学中	10.8	学校教育終了-未婚-別居
5.3	中学校在学中	5.0	学校教育終了-既婚-同居
5.3	高校在学中	26.6	学校教育終了-既婚-別居
0.8	各種学校、専修・専門学校在学中	1.4	その他 (具体的に)
			4.6 (無回答)

F 7 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

13.0	一人暮らし	5.3	祖父母と親と子 (3世代)
26.0	夫婦のみ	2.9	その他 (具体的に)
49.6	親と子 (2世代)		3.0 (無回答)

F 8 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

46.0 持家(一戸建て)	2.1 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)
28.4 持家(マンション・共同住宅)	1.9 借家(社宅、公務員住宅)
1.4 借家(一戸建て)	15.4 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)
2.2 借家(県営・市営の共同住宅)	1.0 その他(具体的に)
1.5 (無回答)	

F 9 あなたのご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

6.8 自営業 (農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)	
4.9 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)	
8.6 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など)	
18.0 事務職 (事務職、営業職、教員など)	
20.1 現業職 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)	
14.8 専業主婦・主夫	
2.9 学 生	
21.4 無 職	2.7 (無回答)

(F 9で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 9-1 あなたのご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ)

4.8 会社役員	26.0 アルバイト・パート	7.8 契約社員・嘱託社員
56.3 正社員・正規職員	2.2 派遣社員	0.9 その他(具体的に)
2.0 (無回答)		

→ F 9-2 あなたの勤務地(複数ある場合は主な勤務地)はどこですか。(○は1つ)

23.9 居住区内	4.6 川崎市を除く県内の他市町村	0.2 千葉県
32.1 市内他区	26.8 東京都区部	0.4 埼玉県
6.4 川崎市	1.6 東京都区部を除く東京都	1.8 その他()
2.1 (無回答)		

→ F 9-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。勤務地が複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ)

31.1 30分未満	27.5 1時間～1時間30分未満	1.2 2時間以上
33.7 30分～1時間未満	5.3 1時間30分～2時間未満	1.3 (無回答)

F 10 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

注：複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

10.0 東海道線・横須賀線	17.2 市営地下鉄線 [ブルーライン・グリーンライン]
8.5 横浜線	1.0 南武線
6.7 東横線	1.0 金沢シーサイドライン
8.0 田園都市線・こどもの国線	0.3 鶴見線
4.5 京浜東北線 [横浜～鶴見]	0.9 みなとみらい線
7.5 根岸線 [横浜～大船]	1.0 その他・駅名(具体的に)
13.2 京浜急行線	0.4 わからない
14.7 相鉄線 [本線・いずみ野線・新横浜線]	
5.0 (無回答)	

ご協力ありがとうございました。

II 調査の結果

1. 市政

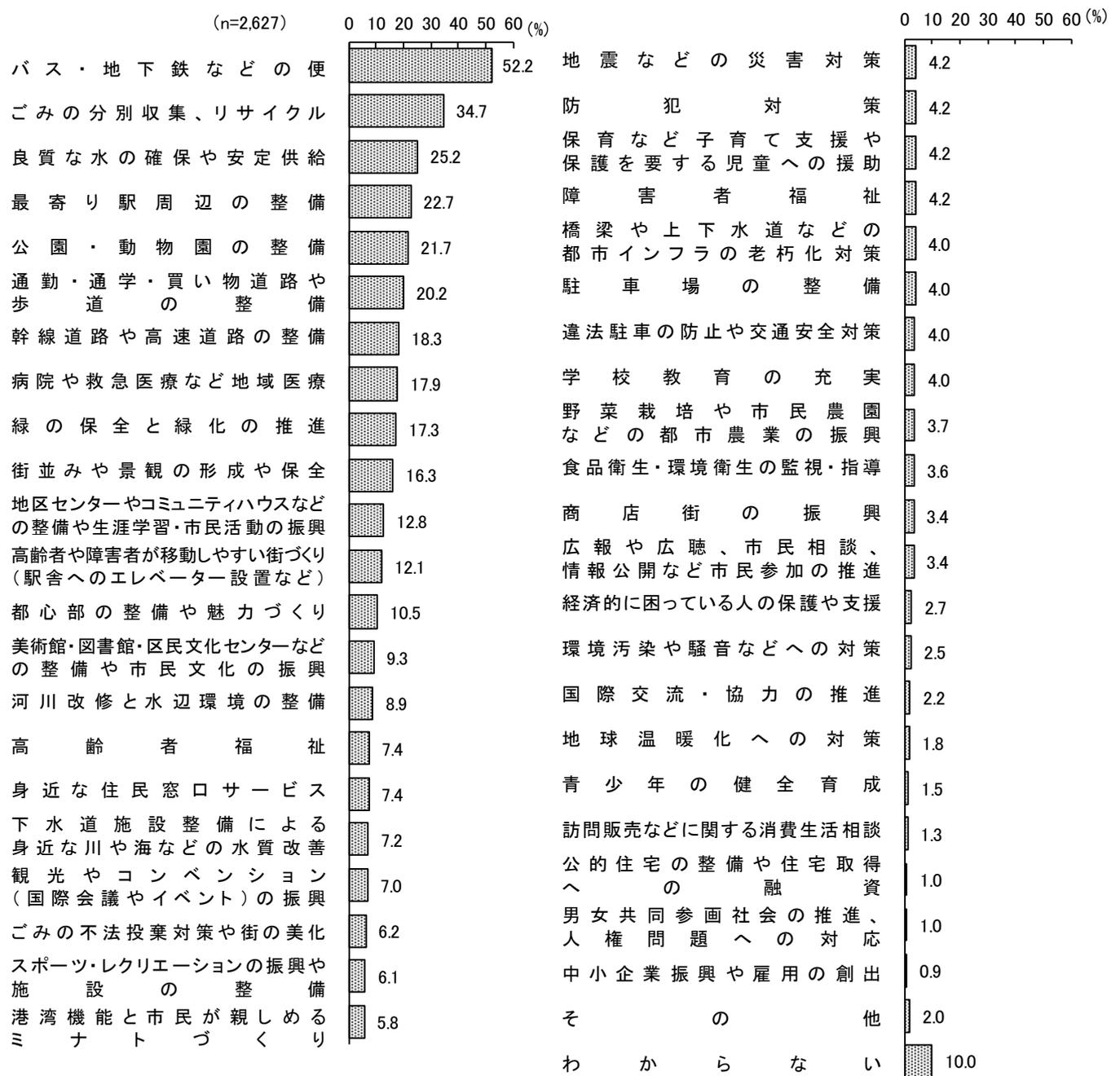
(1) 市政への満足度

問8 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(〇はいくつでも)

「バス・地下鉄などの便」が1位

市政への満足度について最も満足度が高いのは、「バス・地下鉄などの便」(52.2%)で、次いで「ごみの分別収集、リサイクル」(34.7%)、「良質な水の確保や安定供給」(25.2%)、「最寄り駅周辺の整備」(22.7%)の順となっている。

図1-1-1 市政への満足度 [全体] (複数回答)



①市政への満足度 上位5位 [経年変化]

「バス・地下鉄などの便」は13年連続1位

経年変化について、回答の選択肢に若干の変更があるため単純な比較はできないが、平成15年からの上位5項目をみると、「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」は、安定して上位に挙げられている。「バス・地下鉄などの便」は、前回から3.2ポイント増加して、13年連続して1位となっている。2位の「ごみの分別収集、リサイクル」も13年連続、3位の「良質な水の確保や安定供給」と4位の「最寄り駅周辺の整備」は8年連続で同じ順位となっている。

②市政への満足度 上位5位 [ブロック別] (注) ブロック別の構成は回収標本構成 (P3) 参照。

「バス・地下鉄などの便」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全ブロックで「バス・地下鉄などの便」が1位、「ごみの分別収集、リサイクル」が2位となっている。また、北部では「公園・動物園の整備」が3位となっている。

③市政への満足度 上位5位 [区別]

「バス・地下鉄などの便」は17区で1位

区別にみると、18区中17区で「バス・地下鉄などの便」が1位となっており、栄区では「ごみの分別収集、リサイクル」が1位となっている。また、西区で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、保土ケ谷区で「良質な水の確保や安定供給」、都筑区で「街並みや景観の形成や保全」が2位となっている。

表 1-1-1 市政への満足度 上位5位 [経年変化] (複数回答)

(%)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年		バス・地下鉄などの便 30.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.2	公園・動物園の整備 18.4	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 14.2	美術館・図書館などの整備 13.2
16年		バス・地下鉄などの便 43.7	公園・動物園の整備 22.5	幹線道路や高速道路の整備 21.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.9
17年		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.3	公園・動物園の整備 19.6	良質な水の確保や安定供給 17.5	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 16.5
18年		ごみの分別収集、リサイクル 34.6	バス・地下鉄などの便 31.2	公園・動物園の整備 19.2	良質な水の確保や安定供給 16.8	最寄駅の周辺の整備 15.7
19年		ごみの分別収集、リサイクル 37.1	バス・地下鉄などの便 32.9	良質な水の確保や安定供給 16.6	公園・動物園の整備 15.8	最寄駅の周辺の整備 14.6
20年		バス・地下鉄などの便 39.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.0	良質な水の確保や安定供給 20.1	最寄駅の周辺の整備 18.2	公園・動物園の整備 16.7
21年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 21.4	公園・動物園の整備 19.4	最寄駅の周辺の整備 19.0
22年		バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	最寄り駅周辺の整備 21.1	公園・動物園の整備 19.3	良質な水の確保や安定供給 18.3
23年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.1	良質な水の確保や安定供給 20.8	最寄り駅周辺の整備 20.5	公園・動物園の整備 16.4
24年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 20.2	公園・動物園の整備 18.7
25年		バス・地下鉄などの便 45.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.2	最寄り駅周辺の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.0
26年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 16.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 15.7
27年		バス・地下鉄などの便 48.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 18.8	幹線道路や高速道路の整備 17.0
28年		バス・地下鉄などの便 50.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.7	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 18.4
29年		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 21.3	公園・動物園の整備 19.3
30年		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
令和元年		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
2年		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7

表 1-1-2 市政への満足度 上位5位 [ブロック別、区別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,627)	バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
ブロック別	東部 (n=621)	バス・地下鉄などの便 52.0	ごみの分別収集、リサイクル 31.9	良質な水の確保や安定供給 25.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.8
	西部 (n=724)	バス・地下鉄などの便 49.3	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 27.2	最寄り駅周辺の整備 25.1	公園・動物園の整備 20.4
	南部 (n=507)	バス・地下鉄などの便 53.8	ごみの分別収集、リサイクル 41.0	良質な水の確保や安定供給 28.0	公園・動物園の整備 22.9	最寄り駅周辺の整備 22.3
	北部 (n=731)	バス・地下鉄などの便 54.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.5	公園・動物園の整備 25.3	最寄り駅周辺の整備 24.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.1
区別	鶴見区 (n=187)	バス・地下鉄などの便 47.6	ごみの分別収集、リサイクル 30.5	良質な水の確保や安定供給 19.3	最寄り駅周辺の整備 15.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 14.4
	神奈川区 (n=131)	バス・地下鉄などの便 43.5	ごみの分別収集、リサイクル 37.4	良質な水の確保や安定供給 28.2	幹線道路や高速道路の整備 22.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.4
	西区 (n=72)	バス・地下鉄などの便 69.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 36.1	最寄り駅周辺の整備 34.7	ごみの分別収集、リサイクル 29.2	公園・動物園の整備 27.8
	中区 (n=88)	バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 26.1	公園・動物園の整備／良質な水の確保や安定供給 25.0	街並みや景観の形成や保全 22.7	公園・動物園の整備 18.2
	南区 (n=143)	バス・地下鉄などの便 62.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.6	良質な水の確保や安定供給 32.9	病院や救急医療など地域医療 20.3	公園・動物園の整備 18.2
	港南区 (n=165)	バス・地下鉄などの便 67.9	ごみの分別収集、リサイクル 39.4	最寄り駅周辺の整備 29.1	良質な水の確保や安定供給 27.3	病院や救急医療など地域医療 22.4
	保土ヶ谷区 (n=136)	バス・地下鉄などの便 53.7	良質な水の確保や安定供給 29.4	ごみの分別収集、リサイクル 27.9	公園・動物園の整備 21.3	緑の保全と緑化の推進 19.1
	旭区 (n=193)	バス・地下鉄などの便 49.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 31.6	公園・動物園の整備 28.5	最寄り駅周辺の整備 24.9
	磯子区 (n=111)	バス・地下鉄などの便 60.4	ごみの分別収集、リサイクル 37.8	良質な水の確保や安定供給 26.1	幹線道路や高速道路の整備 25.2	公園・動物園の整備 22.5
	金沢区 (n=150)	バス・地下鉄などの便 44.0	ごみの分別収集、リサイクル 40.7	公園・動物園の整備 32.0	良質な水の確保や安定供給 28.0	緑の保全と緑化の推進 26.0
	港北区 (n=233)	バス・地下鉄などの便 59.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	最寄り駅周辺の整備／良質な水の確保や安定供給 20.2	幹線道路や高速道路の整備 19.7	公園・動物園の整備 21.3
	緑区 (n=150)	バス・地下鉄などの便 53.3	ごみの分別収集、リサイクル 36.0	公園・動物園の整備 29.3	良質な水の確保や安定供給 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.3
	青葉区 (n=205)	バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 37.1	最寄り駅周辺の整備 30.7	街並みや景観の形成や保全 29.8	幹線道路や高速道路の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.9
	都筑区 (n=143)	バス・地下鉄などの便 53.1	街並みや景観の形成や保全 41.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／緑の保全と緑化の推進 39.2	最寄り駅周辺の整備 35.7	公園・動物園の整備 20.6
	戸塚区 (n=209)	バス・地下鉄などの便 48.3	ごみの分別収集、リサイクル 32.5	最寄り駅周辺の整備 29.7	良質な水の確保や安定供給 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.6
	栄区 (n=81)	ごみの分別収集、リサイクル 49.4	バス・地下鉄などの便 34.6	良質な水の確保や安定供給 32.1	最寄り駅周辺の整備 27.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.0
	泉区 (n=114)	バス・地下鉄などの便 57.0	ごみの分別収集、リサイクル 44.7	最寄り駅周辺の整備 28.9	良質な水の確保や安定供給 26.3	病院や救急医療など地域医療 25.4
	瀬谷区 (n=72)	バス・地下鉄などの便 31.9	ごみの分別収集、リサイクル 29.2	最寄り駅周辺の整備 27.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／緑の保全と緑化の推進／良質な水の確保や安定供給 22.2	公園・動物園の整備 21.7

④市政への満足度 上位5位 [年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、全ての年齢で1位

年齢別にみると、全ての年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、18～29歳で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、30代では「公園・動物園の整備」が2位となっている。

⑤市政への満足度 上位5位 [性・年齢別]

男性50代で「幹線道路や高速道路の整備」が2位

性・年齢別にみると、全ての性・年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、男性50代で「幹線道路や高速道路の整備」が2位となっている。

表1-1-3 市政への満足度 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
年齢別	18～29歳 (n=262)	バス・地下鉄などの便 55.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.2	最寄り駅周辺の整備 32.4	公園・動物園の整備 20.2	ごみの分別収集、リサイクル 18.3
	30代 (n=316)	バス・地下鉄などの便 43.0	公園・動物園の整備 26.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.1	最寄り駅周辺の整備 21.5	街並みや景観の形成や保全 19.9
	40代 (n=449)	バス・地下鉄などの便 47.0	ごみの分別収集、リサイクル 27.6	公園・動物園の整備 25.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.6	最寄り駅周辺の整備 20.7
	50代 (n=449)	バス・地下鉄などの便 47.4	ごみの分別収集、リサイクル 31.4	良質な水の確保や安定供給 26.5	幹線道路や高速道路の整備 23.2	最寄り駅周辺の整備 22.9
	60代 (n=427)	バス・地下鉄などの便 50.8	ごみの分別収集、リサイクル 40.3	良質な水の確保や安定供給 33.0	最寄り駅周辺の整備 20.6	病院や救急医療など地域医療 20.1
	70歳以上 (n=685)	バス・地下鉄などの便 63.1	ごみの分別収集、リサイクル 52.8	良質な水の確保や安定供給 31.7	病院や救急医療など地域医療 26.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 23.6
	男性計 (n=1,134)	バス・地下鉄などの便 52.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.9	良質な水の確保や安定供給 28.2	幹線道路や高速道路の整備 23.4	公園・動物園の整備 22.4
性・年齢別	18～29歳 (n=117)	バス・地下鉄などの便 51.3	最寄り駅周辺の整備 31.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.2	ごみの分別収集、リサイクル 22.2	幹線道路や高速道路の整備 21.4
	30代 (n=122)	バス・地下鉄などの便 41.8	公園・動物園の整備 25.4	良質な水の確保や安定供給 23.0	幹線道路や高速道路の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.1	22.1
	40代 (n=181)	バス・地下鉄などの便 50.3	ごみの分別収集、リサイクル 24.9	幹線道路や高速道路の整備 24.3	公園・動物園の整備 22.7	良質な水の確保や安定供給 22.1
	50代 (n=188)	バス・地下鉄などの便 46.8	幹線道路や高速道路の整備 30.3	ごみの分別収集、リサイクル 28.2	良質な水の確保や安定供給 27.7	公園・動物園の整備 21.3
	60代 (n=208)	バス・地下鉄などの便 52.9	ごみの分別収集、リサイクル 42.8	良質な水の確保や安定供給 31.7	幹線道路や高速道路の整備 24.5	最寄り駅周辺の整備 22.6
	70歳以上 (n=318)	バス・地下鉄などの便 61.9	ごみの分別収集、リサイクル 54.1	良質な水の確保や安定供給 35.2	病院や救急医療など地域医療 27.0	緑の保全と緑化の推進 24.8
	女性計 (n=1,440)	バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	最寄り駅周辺の整備 23.6	良質な水の確保や安定供給 23.3	公園・動物園の整備 21.7
性・年齢別	18～29歳 (n=145)	バス・地下鉄などの便 59.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 37.2	最寄り駅周辺の整備 33.1	公園・動物園の整備 22.1	都心部の整備や魅力づくり／街並みや景観の形成や保全 17.9
	30代 (n=191)	バス・地下鉄などの便 43.5	公園・動物園の整備 27.2	最寄り駅周辺の整備 25.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.6	街並みや景観の形成や保全 20.4
	40代 (n=267)	バス・地下鉄などの便 44.9	ごみの分別収集、リサイクル 29.6	公園・動物園の整備 28.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.7	最寄り駅周辺の整備 20.6
	50代 (n=258)	バス・地下鉄などの便 47.7	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	最寄り駅周辺の整備 26.0	良質な水の確保や安定供給 25.6	公園・動物園の整備 22.5
	60代 (n=219)	バス・地下鉄などの便 48.9	ごみの分別収集、リサイクル 37.9	良質な水の確保や安定供給 34.2	緑の保全と緑化の推進／病院や救急医療など地域医療 19.2	19.2
	70歳以上 (n=360)	バス・地下鉄などの便 64.4	ごみの分別収集、リサイクル 52.2	良質な水の確保や安定供給 28.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.1	病院や救急医療など地域医療 25.6

⑥市政への満足度 上位5位 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「公園・動物園の整備」が2位

ライフステージ別にみると、全てのステージで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「公園・動物園の整備」、単身(1)で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、夫婦だけ(1)で「最寄り駅周辺の整備」が2位となっている。

表1-1-4 市政への満足度 上位5位 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
子どもなし計 (n=740)		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 27.8	最寄り駅周辺の整備 25.8	良質な水の確保や安定供給 23.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2
単身(1) 40歳未満 (n=290)		バス・地下鉄などの便 54.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.7	最寄り駅周辺の整備 30.0	ごみの分別収集、リサイクル 19.0	良質な水の確保や安定供給 18.6
単身(2) 40～64歳 (n=158)		バス・地下鉄などの便 53.8	ごみの分別収集、リサイクル 30.4	良質な水の確保や安定供給 28.5	最寄り駅周辺の整備 24.7	幹線道路や高速道路の整備 22.2
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=58)		バス・地下鉄などの便 53.4	最寄り駅周辺の整備 25.9	街並みや景観の形成や保全 22.4	公園・動物園の整備 20.7	ごみの分別収集、リサイクル 19.0
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=131)		バス・地下鉄などの便 46.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.1	良質な水の確保や安定供給 22.1	幹線道路や高速道路の整備／最寄り駅周辺の整備 19.1	
高齢子どもなし (n=103)		バス・地下鉄などの便 58.3	ごみの分別収集、リサイクル 44.7	良質な水の確保や安定供給 38.8	最寄り駅周辺の整備 24.3	緑の保全と緑化の推進 23.3
子どもあり計 (n=1,733)		バス・地下鉄などの便 51.9	ごみの分別収集、リサイクル 38.4	良質な水の確保や安定供給 26.8	公園・動物園の整備 24.3	最寄り駅周辺の整備 21.7
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=159)		バス・地下鉄などの便 40.3	公園・動物園の整備 35.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.0	幹線道路や高速道路の整備 20.8	緑の保全と緑化の推進 20.1
家族成長前期 第一子が小学生 (n=155)		バス・地下鉄などの便 40.6	公園・動物園の整備 34.2	幹線道路や高速道路の整備 23.2	ごみの分別収集、リサイクル 22.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備 21.3
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=173)		バス・地下鉄などの便 41.0	公園・動物園の整備 29.5	ごみの分別収集、リサイクル 28.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.3	街並みや景観の形成や保全 23.1
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=117)		バス・地下鉄などの便 47.0	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	最寄り駅周辺の整備 25.6	幹線道路や高速道路の整備／街並みや景観の形成や保全 23.1	
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=105)		バス・地下鉄などの便 50.5	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	良質な水の確保や安定供給 28.6	幹線道路や高速道路の整備 22.9	最寄り駅周辺の整備／公園・動物園の整備 21.9
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=295)		バス・地下鉄などの便 53.6	ごみの分別収集、リサイクル 36.6	良質な水の確保や安定供給 30.8	幹線道路や高速道路の整備 24.1	公園・動物園の整備 23.1
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=729)		バス・地下鉄などの便 59.8	ごみの分別収集、リサイクル 51.7	良質な水の確保や安定供給 33.6	病院や救急医療など地域医療 25.9	緑の保全と緑化の推進 22.5

⑦市政への満足度 上位5位 [世帯類型別]

親と同居(1)で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位

世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、親と同居(1)で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」と「最寄り駅周辺の整備」(同率)、ひとり暮らし(1)で「最寄り駅周辺の整備」、子と同居(1)で「公園・動物園の整備」が2位となっている。

表1-1-5 市政への満足度 上位5位 [世帯類型別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=100)		バス・地下鉄などの便 60.0	最寄り駅周辺の整備 27.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	都心部の整備や魅力づくり 19.0	街並みや景観の形成や保全 18.0
ひとり暮らし(2) 40~64歳 (n=103)		バス・地下鉄などの便 50.5	良質な水の確保や安定供給 29.1	ごみの分別収集、リサイクル 27.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 18.4	最寄り駅周辺の整備／街並みや景観の形成や保全 16.5
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=139)		バス・地下鉄などの便 56.1	ごみの分別収集、リサイクル 47.5	良質な水の確保や安定供給 25.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 20.1	最寄り駅周辺の整備／病院や救急医療など地域医療 18.0
夫婦のみ(1) 子なし (n=226)		バス・地下鉄などの便 50.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.0	最寄り駅周辺の整備 23.5	良質な水の確保や安定供給 23.0	公園・動物園の整備 19.5
夫婦のみ(2) 子あり (n=414)		バス・地下鉄などの便 62.8	ごみの分別収集、リサイクル 47.8	良質な水の確保や安定供給 36.0	公園・動物園の整備 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.1
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=599)		バス・地下鉄などの便 42.7	公園・動物園の整備 30.7	ごみの分別収集、リサイクル 26.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.0	最寄り駅周辺の整備 23.4
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=370)		バス・地下鉄などの便 53.0	ごみの分別収集、リサイクル 44.6	良質な水の確保や安定供給 33.2	最寄り駅周辺の整備 23.8	病院や救急医療など地域医療 23.5
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=159)		バス・地下鉄などの便 50.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備 30.8	ごみの分別収集、リサイクル 24.5	良質な水の確保や安定供給 21.4	
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=86)		バス・地下鉄などの便 61.6	良質な水の確保や安定供給／ごみの分別収集、リサイクル 33.7	最寄り駅周辺の整備 27.9	幹線道路や高速道路の整備 26.7	
祖父母と親と子 3世代 (n=140)		バス・地下鉄などの便 52.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.4	公園・動物園の整備／良質な水の確保や安定供給 22.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.1	

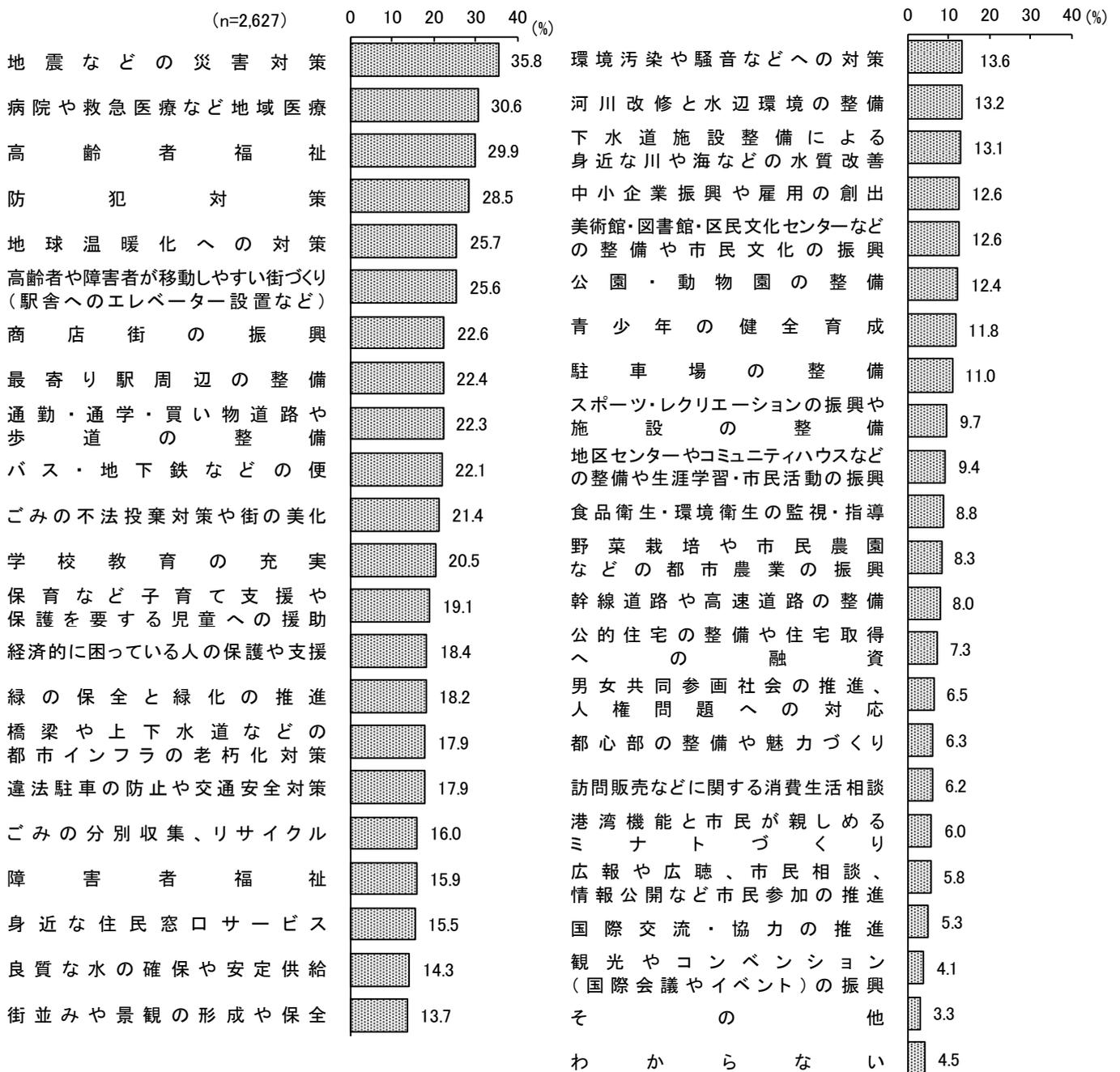
(2) 市政への要望

問9 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「地震などの災害対策」が3割半ばで最多

市政への要望については、「地震などの災害対策」(35.8%)が最も多く、次いで「病院や救急医療など地域医療」(30.6%)、「高齢者福祉」(29.9%)の順となっている。

図1-2-1 市政への要望[全体] (複数回答)



①市政への要望 上位5位 [経年変化]

「地震などの災害対策」は10年連続の1位

経年変化をみると、「地震などの災害対策」は東日本大震災のあった平成23年以降、10年連続で1位となっている。また、「地球温暖化への対策」が初めて5位以内に入った。

表1-2-1 市政への要望 上位5位 [経年変化] (複数回答)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年		防犯対策 36.2	違法駐車防止や交通安全対策 33.3	高齢者福祉 31.0	地震などの災害対策 29.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.0
16年		防犯対策 51.7	違法駐車防止や交通安全対策 49.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 45.7	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 41.1
17年		防犯対策 42.6	地震などの災害対策 37.1	違法駐車防止や交通安全対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.0	高齢者福祉 31.6
18年		防犯対策 37.2	地震などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 29.3	駐車場の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化 26.1
19年		防犯対策 36.9	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者福祉 33.1	地震などの災害対策 31.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.7
20年		病院や救急医療など地域医療 41.0	地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 38.2	防犯対策 34.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.5
21年		高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震などの災害対策 28.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.9
22年		病院や救急医療など地域医療 34.8	高齢者福祉 31.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	地震などの災害対策 25.4	ごみの不法投棄対策や街の美化/防犯対策 25.2
23年		地震などの災害対策 44.9	病院や救急医療など地域医療 34.5	高齢者福祉 31.9	防犯対策 30.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.2
24年		地震などの災害対策 43.9	病院や救急医療など地域医療 31.2	防犯対策 28.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.1	高齢者福祉 26.9
25年		地震などの災害対策 37.5	病院や救急医療など地域医療 31.4	防犯対策 28.8	高齢者福祉 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.0
26年		地震などの災害対策 33.3	病院や救急医療など地域医療 25.2	防犯対策 24.2	バス・地下鉄などの便 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7
27年		地震などの災害対策 32.9	高齢者福祉 26.8	病院や救急医療など地域医療 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	防犯対策 25.9
28年		地震などの災害対策 36.6	高齢者福祉 28.1	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.4	防犯対策 25.1
29年		地震などの災害対策 30.7	高齢者福祉 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.5	防犯対策 25.0	病院や救急医療など地域医療 24.5
30年		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
令和元年		地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉 28.3		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1
2年		地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7

②市政への要望 上位5位〔ブロック別〕

「地震などの災害対策」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全てのブロックで「地震などの災害対策」が1位となっている。また、東部、西部では「高齢者福祉」、南部、北部では「病院や救急医療など地域医療」が2位となっている。

③市政への要望 上位5位〔区別〕

「地震などの災害対策」は12区で1位

区別にみると、18区中12区で「地震などの災害対策」が1位となっている。また、神奈川区、泉区では「高齢者福祉」、保土ヶ谷区では「最寄り駅周辺の整備」と「防犯対策」（「地震などの災害対策」と同率）、緑区では「最寄り駅周辺の整備」、青葉区では「防犯対策」、栄区、瀬谷区では「病院や救急医療など地域医療」がそれぞれ1位となっている。さらに、栄区では「バス・地下鉄などの便」が2位となっている。

表1-2-2 市政への要望 上位5位 [ブロック別、区別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	(n=2,627)	地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7	
ブロック別	東部	(n=621) 地震などの災害対策 33.5	高齢者福祉 26.9	防犯対策 26.1	ごみの不法投棄対策や街の美化 25.6	病院や救急医療など地域医療 25.4	
	西部	(n=724) 地震などの災害対策 36.6	高齢者福祉 32.2	病院や救急医療など地域医療 29.4	防犯対策 28.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 26.9	
	南部	(n=507) 地震などの災害対策 39.4	病院や救急医療など地域医療 36.3	高齢者福祉 34.5	防犯対策 31.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.2	
	北部	(n=731) 地震などの災害対策 35.2	病院や救急医療など地域医療 32.3	防犯対策 29.4	地球温暖化への対策 27.2	高齢者福祉 26.9	
区別	鶴見区	(n=187) 地震などの災害対策 29.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.3	ごみの不法投棄対策や街の美化/病院や救急医療など地域医療/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 23.5			
	神奈川区	(n=131) 高齢者福祉 32.1	地震などの災害対策 31.3	商店街の振興 29.0	地球温暖化への対策 25.2	最寄り駅周辺の整備/防犯対策 24.4	
	西区	(n=72) 地震などの災害対策 30.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.2	地球温暖化への対策/経済的に困っている人の保護や支援 27.8	防犯対策/病院や救急医療など地域医療 26.4		
	中区	(n=88) 地震などの災害対策 40.9	防犯対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 31.8	病院や救急医療など地域医療 29.5	商店街の振興/高齢者福祉 27.3	
	南区	(n=143) 地震などの災害対策 37.8	病院や救急医療など地域医療/高齢者福祉 30.8		防犯対策 30.1	地球温暖化への対策 27.3	
	港南区	(n=165) 地震などの災害対策 40.6	高齢者福祉 38.8	病院や救急医療など地域医療 37.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 33.9	防犯対策 28.5	
	保土ヶ谷区	(n=136) 最寄り駅周辺の整備/地震などの災害対策/防犯対策 30.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.1			商店街の振興 28.7	
	旭区	(n=193) 地震などの災害対策 42.5	高齢者福祉 34.7	病院や救急医療など地域医療 33.2	防犯対策 30.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.0	
	磯子区	(n=111) 地震などの災害対策 41.4	病院や救急医療など地域医療 37.8	防犯対策 35.1	地球温暖化への対策 33.3	高齢者福祉 31.5	
	金沢区	(n=150) 地震などの災害対策 37.3	最寄り駅周辺の整備 33.3	病院や救急医療など地域医療 31.3	地球温暖化への対策 30.7	高齢者福祉 30.0	
	港北区	(n=233) 地震などの災害対策 39.9	病院や救急医療など地域医療 33.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/防犯対策 29.6		最寄り駅周辺の整備 27.0	
	緑区	(n=150) 最寄り駅周辺の整備 44.0	病院や救急医療など地域医療 36.0	地震などの災害対策 32.7	地球温暖化への対策 30.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.3	
	青葉区	(n=205) 防犯対策 32.2	地震などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.7	地球温暖化への対策 26.8	高齢者福祉 25.9	
	都筑区	(n=143) 地震などの災害対策 35.0	防犯対策 32.9	高齢者福祉 30.8	バス・地下鉄などの便 30.1	病院や救急医療など地域医療 29.4	
	戸塚区	(n=209) 地震などの災害対策 37.8	高齢者福祉 29.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 26.3	地球温暖化への対策/防犯対策/病院や救急医療など地域医療 23.4		
	栄区	(n=81) 病院や救急医療など地域医療 42.0	バス・地下鉄などの便 40.7	地震などの災害対策/高齢者福祉 38.3		防犯対策 35.8	
	泉区	(n=114) 高齢者福祉 38.6	地震などの災害対策 37.7	防犯対策 35.1	病院や救急医療など地域医療 30.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.8	
	瀬谷区	(n=72) 病院や救急医療など地域医療 40.3	ごみの不法投棄対策や街の美化 33.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.9	高齢者福祉 30.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 27.8	

④市政への要望 上位5位 [年齢別]

30代では「学校教育の充実」、60代、70歳以上では「高齢者福祉」が1位

年齢別にみると、30代で「学校教育の充実」、60代、70歳以上で「高齢者福祉」がそれぞれ1位となっている。また、それ以外の年齢では「地震などの災害対策」が1位となっている。

⑤市政への要望 上位5位 [性・年齢別]

男性40代、女性30代では「学校教育の充実」が1位

性・年齢別にみると、男性40代、女性30代で「学校教育の充実」、男女ともに60代、70歳以上で「高齢者福祉」が1位となっている。

表1-2-3 市政への要望 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,627)	地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7
	18~29歳 (n=262)	地震などの災害対策 31.3	最寄り駅周辺の整備 26.0	防犯対策 25.2	バス・地下鉄などの便／保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 23.7	
	30代 (n=316)	学校教育の充実 35.4	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 34.5	地震などの災害対策 31.0	最寄り駅周辺の整備 27.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.2
	40代 (n=449)	地震などの災害対策 38.8	学校教育の充実 35.9	病院や救急医療など地域医療 33.4	防犯対策 33.0	商店街の振興 23.6
	50代 (n=449)	地震などの災害対策 37.9	高齢者福祉 34.1	病院や救急医療など地域医療 33.4	防犯対策 31.2	地球温暖化への対策 28.1
	60代 (n=427)	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 37.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 34.2	病院や救急医療など地域医療 31.4	地球温暖化への対策 28.6
	70歳以上 (n=685)	高齢者福祉 39.0	地震などの災害対策 36.5	病院や救急医療など地域医療 35.8	地球温暖化への対策 34.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎への) 30.9
	男性計 (n=1,134)	地震などの災害対策 33.9	病院や救急医療など地域医療 29.8	高齢者福祉 29.5	防犯対策 29.0	最寄り駅周辺の整備 25.0
18~29歳 (n=117)	バス・地下鉄などの便／地震などの災害対策 28.2	最寄り駅周辺の整備	最寄り駅周辺の整備 24.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 21.4	
30代 (n=122)	地震などの災害対策 29.5	最寄り駅周辺の整備／保育など子育て支援や保護を要する児童への援助／学校教育の充実 27.9			通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.4	
40代 (n=181)	学校教育の充実 36.5	地震などの災害対策 33.1	防犯対策 32.0	病院や救急医療など地域医療 28.2	商店街の振興 26.5	
50代 (n=188)	地震などの災害対策 35.6	病院や救急医療など地域医療 33.0	防犯対策 32.4	高齢者福祉 29.8	最寄り駅周辺の整備 28.2	
60代 (n=208)	高齢者福祉 44.2	地震などの災害対策 36.1	病院や救急医療など地域医療 34.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 32.7	防犯対策 31.3	
70歳以上 (n=318)	高齢者福祉 39.0	病院や救急医療など地域医療 35.8	地震などの災害対策 35.5	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 30.8	地球温暖化への対策／防犯対策 30.5	
女性計 (n=1,440)	地震などの災害対策 37.8	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 30.2	地球温暖化への対策 28.8	防犯対策 28.5	
18~29歳 (n=145)	地震などの災害対策 33.8	防犯対策 31.7	最寄り駅周辺の整備 26.9	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 25.5	地球温暖化への対策 24.8	
30代 (n=191)	学校教育の充実 39.8	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 38.7	地震などの災害対策 31.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.8	最寄り駅周辺の整備 27.7	
40代 (n=267)	地震などの災害対策 42.7	病院や救急医療など地域医療 37.1	学校教育の充実 35.6	防犯対策 33.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)／高齢者福祉 25.8	
50代 (n=258)	地震などの災害対策 39.1	高齢者福祉 37.2	病院や救急医療など地域医療 33.7	地球温暖化への対策 32.2	防犯対策 30.2	
60代 (n=219)	高齢者福祉 38.4	地震などの災害対策 37.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 35.6	地球温暖化への対策 33.8	病院や救急医療など地域医療 28.3	
70歳以上 (n=360)	高齢者福祉 39.4	地球温暖化への対策 38.1	地震などの災害対策 37.8	病院や救急医療など地域医療 36.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 31.4	

⑥市政への要望 上位5位 [ライフステージ別]

夫婦だけ(1)、家族形成期で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

ライフステージ別にみると、半数のライフステージで「地震などの災害対策」が1位となっている。また、夫婦だけ(1)、家族形成期で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」、家族成長前期、家族成長中期では「学校教育の充実」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-4 市政への要望 上位5位 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7
子どもなし計 (n=740)		地震などの災害対策 36.6	防犯対策 30.5	最寄り駅周辺の整備／病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉 25.0	24.2
単身(1) 40歳未満 (n=290)		地震などの災害対策 33.8	防犯対策 26.6	最寄り駅周辺の整備 25.9	バス・地下鉄などの便 23.8	経済的に困っている人の保護や支援 21.4
単身(2) 40～64歳 (n=158)		地震などの災害対策 43.7	高齢者福祉 36.7	防犯対策／病院や救急医療など地域医療	35.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 32.3
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=58)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 32.8	最寄り駅周辺の整備／地震などの災害対策／防犯対策		31.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.3
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=131)		地震などの災害対策 39.7	防犯対策 32.1	最寄り駅周辺の整備 29.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.2	病院や救急医療など地域医療 27.5
高齢子どもなし (n=103)		高齢者福祉 42.7	病院や救急医療など地域医療 36.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 35.9	地震などの災害対策 33.0	防犯対策 32.0
子どもあり計 (n=1,733)		地震などの災害対策 33.4	病院や救急医療など地域医療 32.8	高齢者福祉 31.4	防犯対策 29.9	地球温暖化への対策 28.7
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=159)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 49.7	学校教育の充実 46.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.2	病院や救急医療など地域医療 29.6	地震などの災害対策 28.9
家族成長前期 第一子が小学生 (n=155)		学校教育の充実 55.5	地震などの災害対策 31.6	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 29.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.0	病院や救急医療など地域医療 27.7
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=173)		学校教育の充実 39.9	地震などの災害対策／病院や救急医療など地域医療	31.8	防犯対策 28.3	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 24.3
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=117)		地震などの災害対策 38.5	病院や救急医療など地域医療 37.6	高齢者福祉 35.0	防犯対策 32.5	学校教育の充実 31.6
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=105)		地震などの災害対策 37.1	地球温暖化への対策 33.3	高齢者福祉 31.4	病院や救急医療など地域医療 30.5	商店街の振興 28.6
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=295)		地震などの災害対策／高齢者福祉 39.7	病院や救急医療など地域医療 33.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 30.8	防犯対策 30.8	28.5
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=729)		高齢者福祉 38.7	地震などの災害対策 37.7	地球温暖化への対策 35.0	病院や救急医療など地域医療 34.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 31.0

⑦市政への要望 上位5位 [世帯類型別]

ひとり暮らし(1)では「最寄り駅周辺の整備」が1位

世帯類型別にみると、10の世帯類型のうち7類型で「地震などの災害対策」が1位となっている。また、ひとり暮らし(1)で「最寄り駅周辺の整備」（「地震などの災害対策」と同率）、ひとり暮らし(3)、子と同居(2)（「地震などの災害対策」と同率）、祖父母と親と子で「高齢者福祉」、子と同居(1)では「学校教育の充実」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-5 市政への要望 上位5位 [世帯類型別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=100)		最寄り駅周辺の整備/地震などの災害対策 27.0		防犯対策 25.0	経済的に困っている人の保護や支援 22.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.0
ひとり暮らし(2) 40~64歳 (n=103)		地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 36.9	病院や救急医療など地域医療 32.0	防犯対策 30.1	商店街の振興 29.1
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=139)		高齢者福祉 36.7	地震などの災害対策 30.2	病院や救急医療など地域医療 29.5	地球温暖化への対策 28.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 27.3
夫婦のみ(1) 子なし (n=226)		地震などの災害対策 36.7	防犯対策 33.2	最寄り駅周辺の整備 27.0	病院や救急医療など地域医療 26.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.7
夫婦のみ(2) 子あり (n=414)		地震などの災害対策 39.4	高齢者福祉 38.4	地球温暖化への対策 36.7	病院や救急医療など地域医療/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 34.5	
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=599)		学校教育の充実 40.1	地震などの災害対策 32.6	病院や救急医療など地域医療 31.1	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 29.7	防犯対策 28.7
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=370)		地震などの災害対策/高齢者福祉 39.2		病院や救急医療など地域医療 33.5	防犯対策 31.1	地球温暖化への対策 30.3
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=159)		地震などの災害対策 39.0	防犯対策 29.6	バス・地下鉄などの便 25.2	最寄り駅周辺の整備 24.5	地球温暖化への対策 23.3
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=86)		地震などの災害対策 46.5	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 45.3	高齢者福祉 40.7	防犯対策/病院や救急医療など地域医療 36.0	
祖父母と親と子 3世代 (n=140)		高齢者福祉 37.1	地震などの災害対策 36.4	病院や救急医療など地域医療 33.6	最寄り駅周辺の整備/学校教育の充実 27.1	

⑧市政への要望 上位5位 [市政全体への満足度別]

不満があるほうで「病院や救急医療など地域医療」が1位

市政全体への満足度別にみると、不満があるほうで「病院や救急医療など地域医療」が1位となっている。また、それ以外の満足度では「地震などの災害対策」が1位となっている。

表1-2-6 市政への要望 上位5位 [市政全体への満足度別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全 体 (n=2,627)		地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7
満足しているほう (n=177)		地震などの災害対策 32.8	ごみの不法投棄対策や街の美化 25.4	地球温暖化への対策／高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 23.7		高齢者福祉 23.2
まあ満足しているほう (n=885)		地震などの災害対策 33.3	高齢者福祉 29.8	病院や救急医療など地域医療 27.9	地球温暖化への対策 26.3	防犯対策 25.9
やや不満があるほう (n=291)		地震などの災害対策 46.0	病院や救急医療など地域医療 45.4	防犯対策 37.8	高齢者福祉 35.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.3
不満があるほう (n=166)		病院や救急医療など地域医療 38.6	地震などの災害対策 38.0	学校教育の充実 36.7	高齢者福祉 34.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／防犯対策 31.9

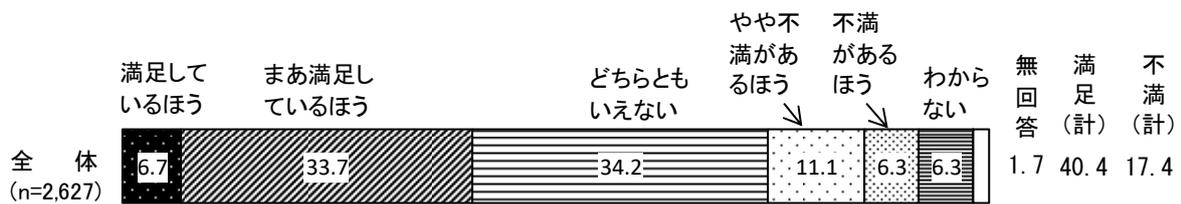
(3) 市政全体への満足度

問10 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(○は1つ)

『満足(計)』は4割を超える

市政全体への満足度については、「満足しているほう」(6.7%)と「まあ満足しているほう」(33.7%)を合わせた『満足(計)』(40.4%)は4割を超えている。また、「不満があるほう」(6.3%)と「やや不満があるほう」(11.1%)を合わせた『不満(計)』(17.4%)は1割半ばとなっている。

図1-3-1 市政全体への満足度 [全体]

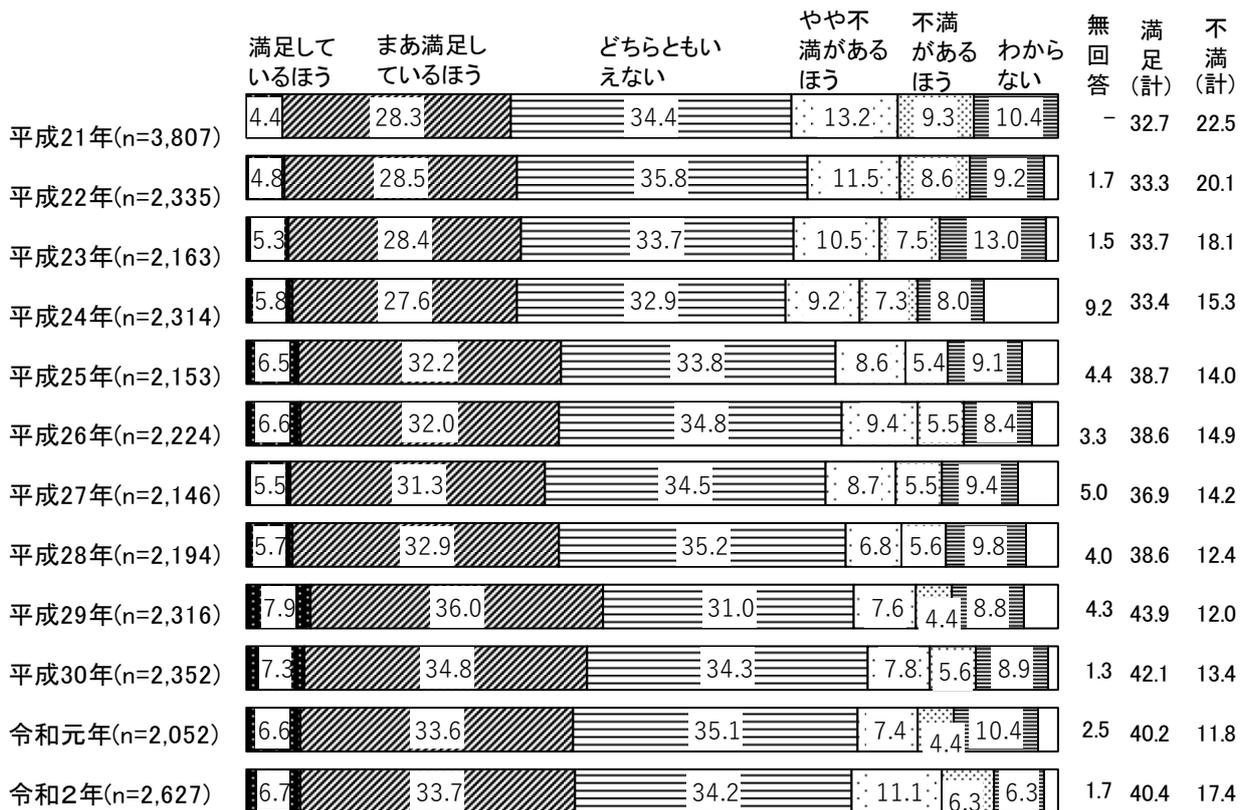


①市政全体への満足度 [経年変化]

『満足(計)』は4割台で推移

経年変化をみると、前回調査から『満足(計)』(40.4%)は0.2ポイント増加し、4年連続で4割を超えている。一方、『不満(計)』(17.4%)は前回調査から5.6ポイント増加している。

図1-3-2 市政全体への満足度 [経年変化]



(%)

②市政全体への満足度〔ブロック別〕

『満足（計）』は南部で4割半ば

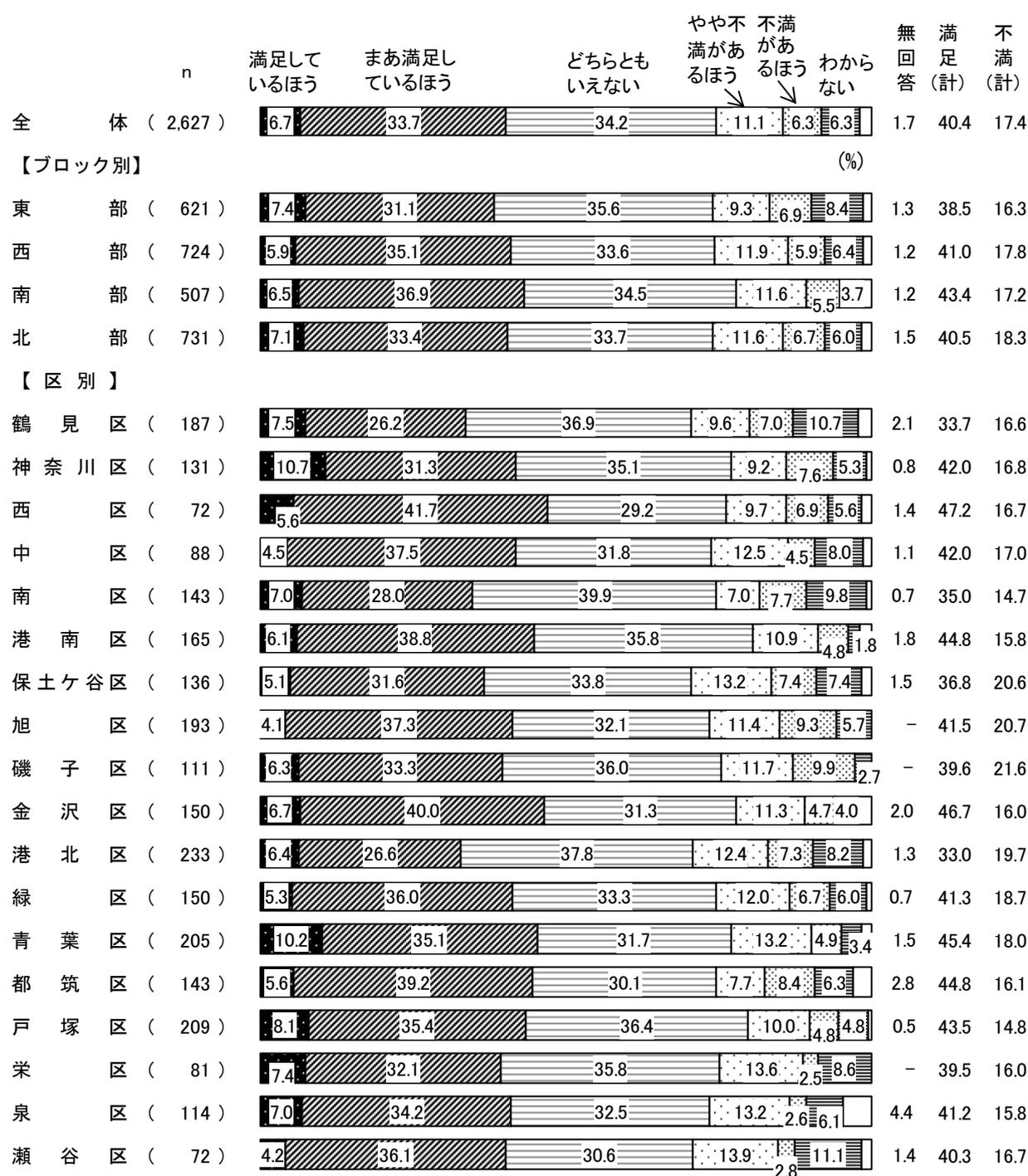
ブロック別にみると、『満足（計）』は南部（43.4%）で4割半ばと最も多く、東部（38.5%）で4割近くと最も少なくなっている。

③市政全体への満足度〔区別〕

『満足（計）』は西区で最多

区別にみると、『満足（計）』は西区（47.2%）で最も多く、次いで金沢区（46.7%）となっている。『不満（計）』は磯子区（21.6%）、旭区（20.7%）、保土ヶ谷区（20.6%）で2割を超えている。

図1-3-3 市政全体への満足度〔ブロック別、区別〕



④市政全体への満足度 [年齢別]

『満足 (計)』は70歳以上で5割を超える

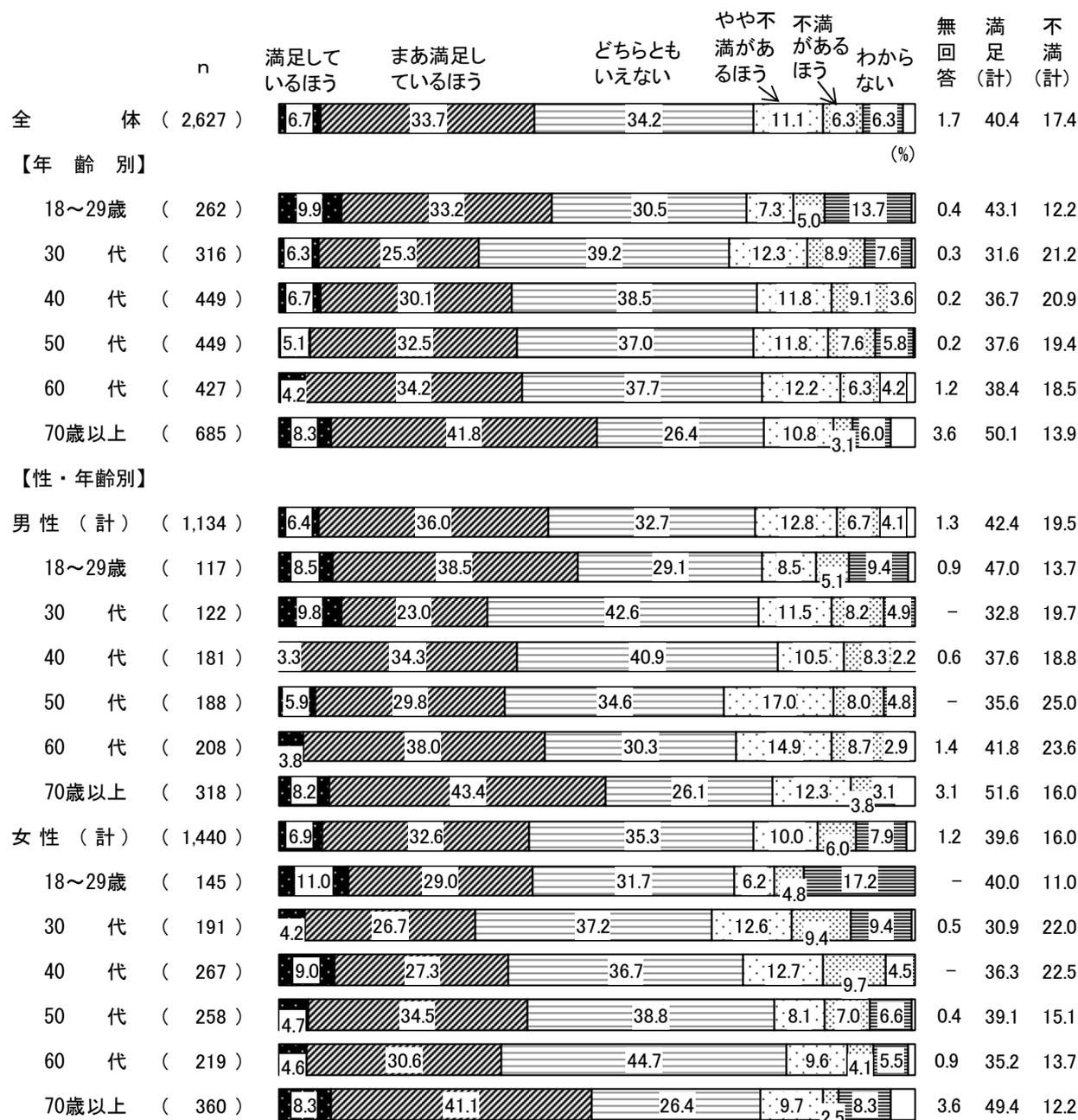
年齢別にみると、『満足 (計)』は70歳以上 (50.1%) で5割を超えて最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は30代 (21.2%)、40代 (20.9%) で2割を超えている。

⑤市政全体への満足度 [性・年齢別]

『満足 (計)』は男女ともに70歳以上で最も多い

性・年齢別にみると、『満足 (計)』は男性70歳以上 (51.6%) で5割を超えて最も多く、次いで女性70歳以上 (49.4%)、男性18~29歳 (47.0%) の順となっている。一方、『不満 (計)』は男性50代 (25.0%) で2割半ばと最も多くなっている。

図1-3-4 市政全体への満足度 [年齢別、性・年齢別]

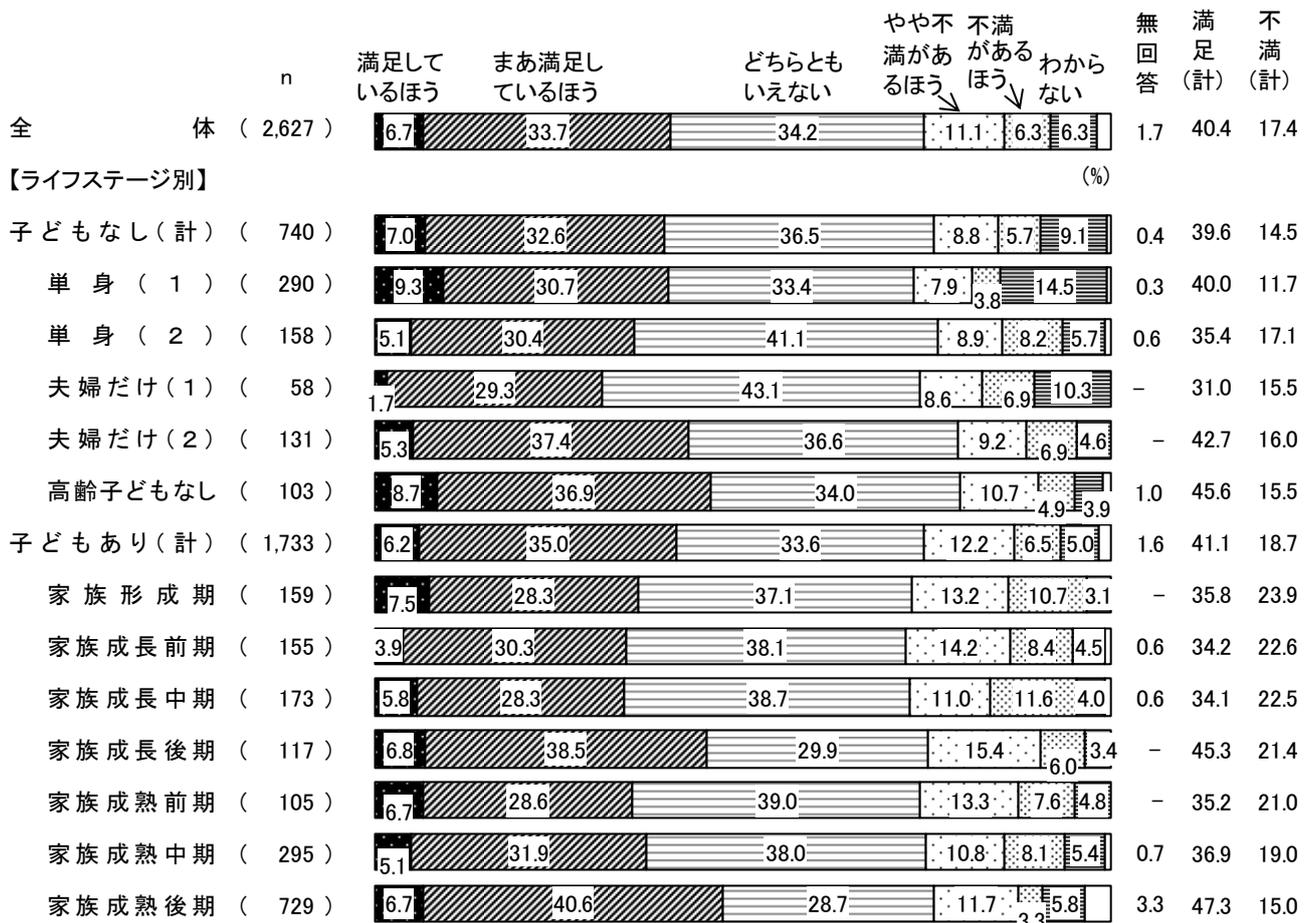


⑥市政全体への満足度 [ライフステージ別]

『満足 (計)』は家族成熟後期で4割半ば

ライフステージ別にみると、『満足 (計)』は家族成熟後期 (47.3%) で4割半ばと最も多くなっている。『不満 (計)』は家族形成期 (23.9%) で2割半ばと最も多くなっている。

図1-3-5 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

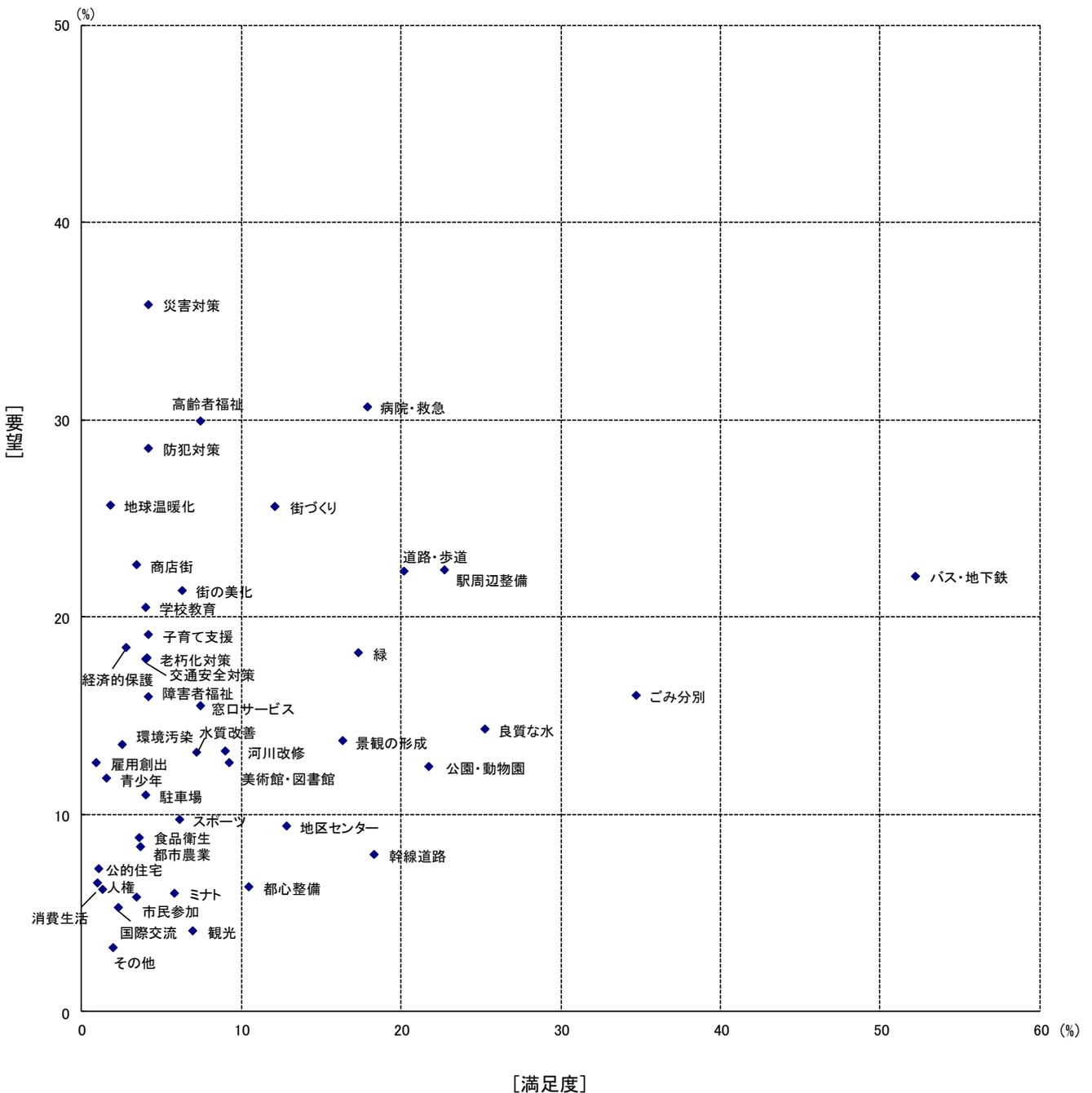


(4) 満足度と要望のまとめ

回答の選択肢 43 項目について、満足度を横軸に、要望を縦軸にして同一平面にプロットすると、両者の相関をみることができる（図中に表すため、実際の選択肢を一部省略した表現で表記している）。

<満足度が低く要望の多いもの>としては、「地震などの災害対策」（略称：災害対策）、「高齢者福祉」、「防犯対策」などが挙げられる。一方、<満足度が高く要望が少ないもの>としては、「ごみの分別収集、リサイクル」（略称：ごみ分別）、「良質な水の確保や安定供給」（略称：良質な水）、「公園・動物園の整備」（略称：公園・動物園）などが挙げられる。

図 1-4-1 満足度と要望



①満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

「地震などの災害対策」でギャップが最も大きい

43項目について、満足度と要望の差を求め、要望のほうが多い10項目を表にまとめた。「地震などの災害対策」は満足度（4.2%）が要望（35.8%）を31.6ポイント下回り、両者のギャップが最も大きい。次いで「防犯対策」は満足度（4.2%）が要望（28.5%）を24.3ポイント、「地球温暖化への対策」は満足度（1.8%）が要望（25.7%）を23.9ポイント下回っている。

表1-4-1 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	地震などの災害対策	4.2	35.8	▲ 31.6
2位	防犯対策	4.2	28.5	▲ 24.3
3位	地球温暖化への対策	1.8	25.7	▲ 23.9
4位	高齢者福祉	7.4	29.9	▲ 22.5
5位	商店街の振興	3.4	22.6	▲ 19.2
6位	学校教育の充実	4.0	20.5	▲ 16.5
7位	経済的に困っている人の保護や支援	2.7	18.4	▲ 15.7
8位	ごみの不法投棄対策や街の美化	6.2	21.4	▲ 15.2
9位	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	4.2	19.1	▲ 14.9
10位	違法駐車防止や交通安全対策	4.0	17.9	▲ 13.9

②満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」で高い充足度

43項目について、満足度と要望の差を求め、満足度のほうが多い10項目を表にまとめた。「バス・地下鉄などの便」は満足度（52.2%）が要望（22.1%）を30.1ポイント上回り、充足度が最も高いと言える。次いで「ごみの分別収集、リサイクル」は満足度（34.7%）が要望（16.0%）を18.7ポイント上回っている。以下、「良質な水の確保や安定供給」（10.9ポイント）、「幹線道路や高速道路の整備」（10.3ポイント）の順となっている。

表1-4-2 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	バス・地下鉄などの便	52.2	22.1	30.1
2位	ごみの分別収集、リサイクル	34.7	16.0	18.7
3位	良質な水の確保や安定供給	25.2	14.3	10.9
4位	幹線道路や高速道路の整備	18.3	8.0	10.3
5位	公園・動物園の整備	21.7	12.4	9.3
6位	都心部の整備や魅力づくり	10.5	6.3	4.2
7位	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	12.8	9.4	3.4
8位	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	7.0	4.1	2.9
9位	街並みや景観の形成や保全	16.3	13.7	2.6
10位	最寄り駅周辺の整備	22.7	22.4	0.3

2. 定住意識

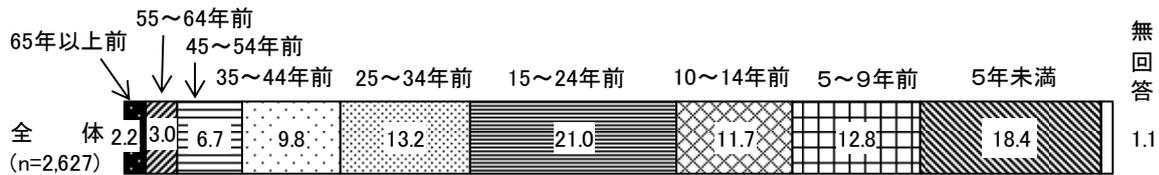
(1) 現住地居住年数

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.4%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



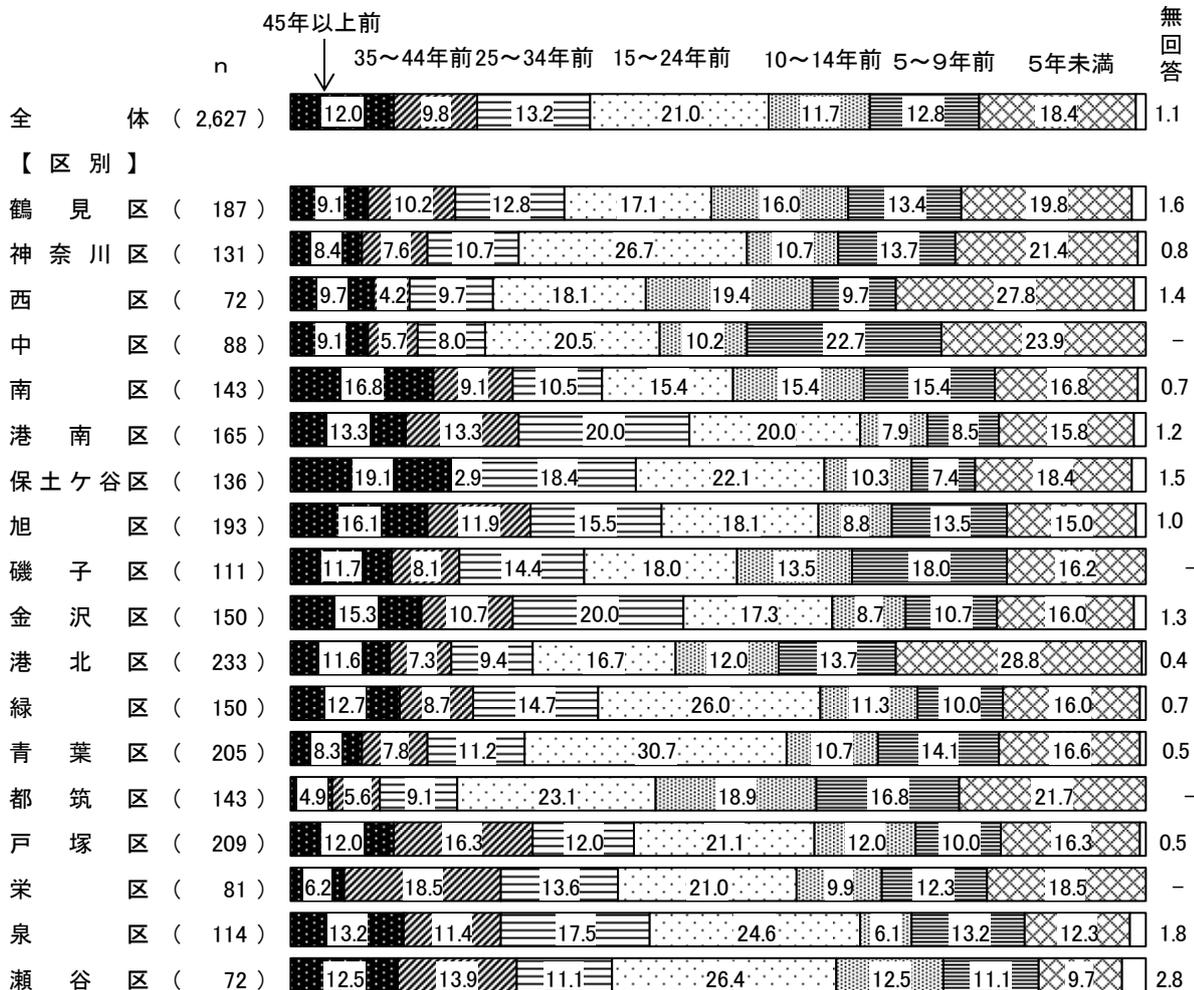
① 現住地居住年数 [区別]

「5年未満」の居住者は港北区で3割近く

区別にみると、「5年未満」は港北区(28.8%)で3割近くと最も多く、「45~54年前」、「55~64年前」、「65年以上前」を合わせた『45年以上前』は保土ヶ谷区(19.1%)で最も多くなっている。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



②現住地居住年数〔ライフステージ別〕

「5年未満」の居住者は夫婦だけ（1）で8割近く

ライフステージ別にみると、「5年未満」は夫婦だけ（1）（79.3%）で8割近くと最も多く、次いで家族形成期（64.8%）で6割半ばとなっている。

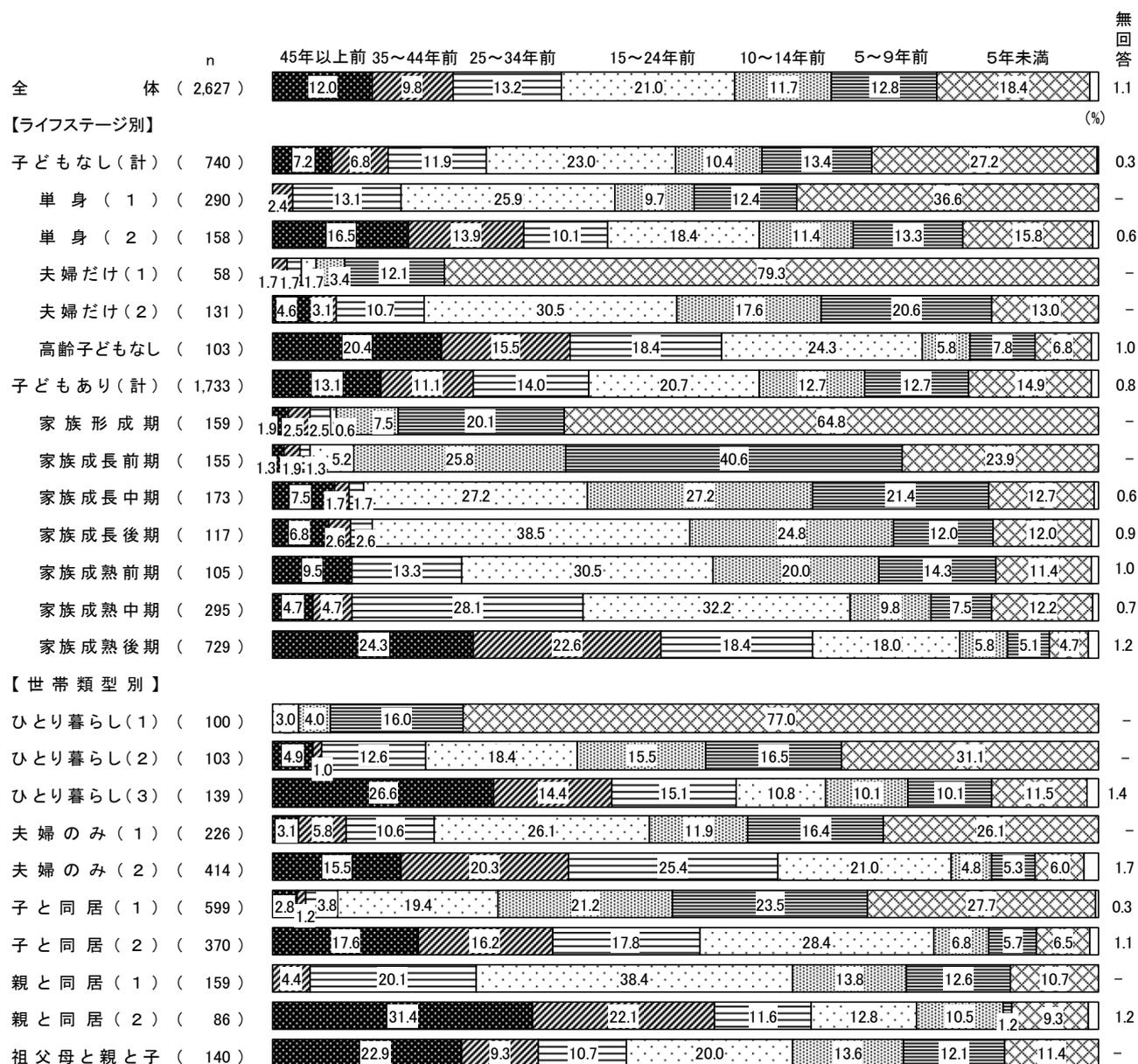
③現住地居住年数〔世帯類型別〕

「5年未満」の居住者はひとり暮らし（1）で7割半ば

世帯類型別にみると、「5年未満」はひとり暮らし（1）（77.0%）で7割半ばと最も多くなっている。『45年以上前』は親と同居（2）（31.4%）で3割を超えて最も多い。

図2-1-3 現住地居住年数〔ライフステージ別、世帯類型別〕

（注）45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

直前の前住地については、「横浜市内の別の区」(30.6%)が3割を超えて最も多くなっている。また、これに「今住んでいるのと同じ区内」(27.9%)と「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(5.1%)を合わせた『横浜市内(計)』(63.6%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地[全体]

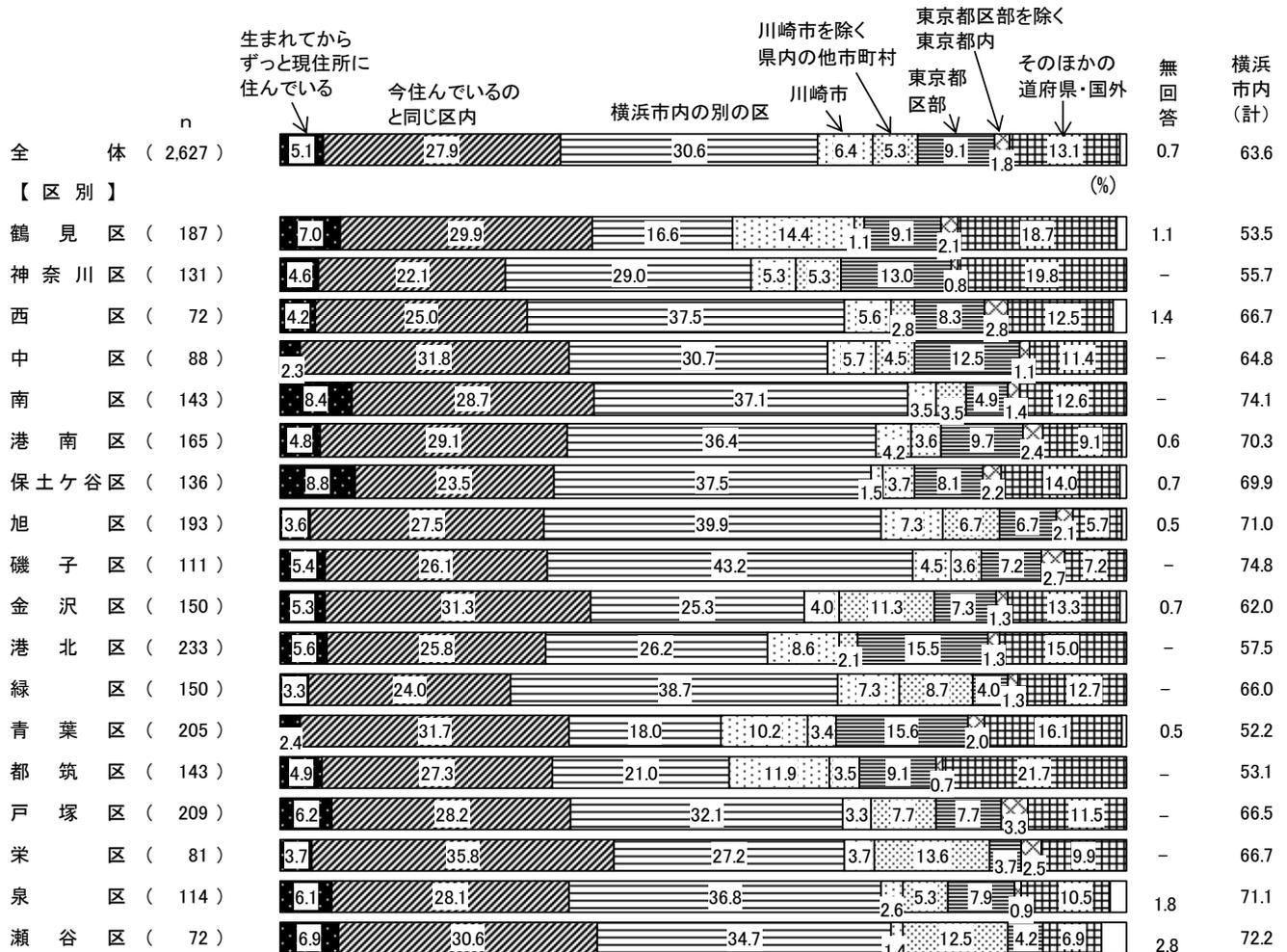


①前住地[区別]

『横浜市内(計)』は、磯子区で7割半ば

区別にみると、『横浜市内(計)』は磯子区(74.8%)で7割半ばと最も多く、青葉区(52.2%)で最も少なくなっている。

図2-2-2 前住地[区別]



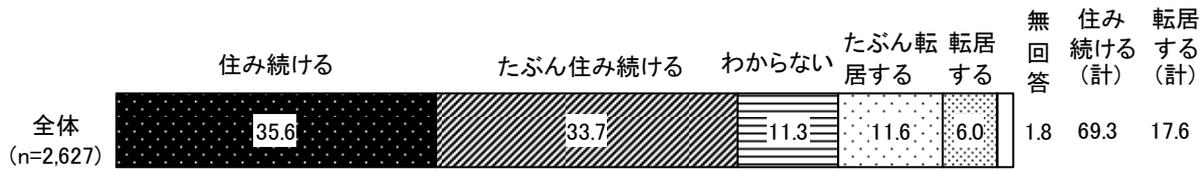
(3) 現住地定住意向

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

『住み続ける(計)』は7割近く

現住地定住意向については、「住み続ける」(35.6%)と「たぶん住み続ける」(33.7%)を合わせた『住み続ける(計)』(69.3%)は7割近くとなっている。

図2-3-1 現住地定住意向[全体]

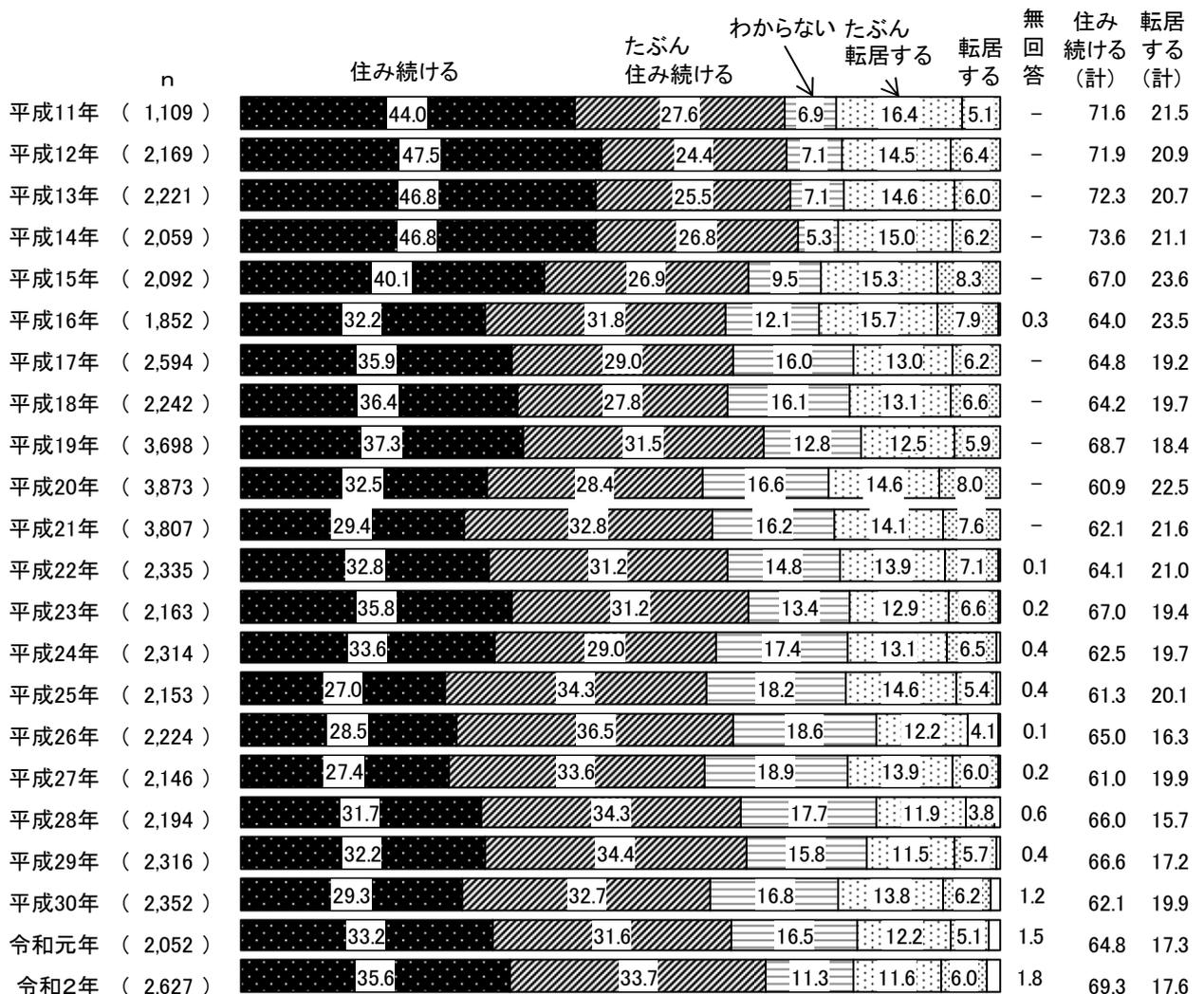


①現住地定住意向[経年変化]

『住み続ける(計)』は4.5ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『住み続ける(計)』は4.5ポイント増加、2年連続の増となっている。「転居する」と「たぶん転居する」を合わせた『転居する(計)』は0.3ポイント増加している。

図2-3-2 現住地定住意向[経年変化]



②現住地定住意向〔ブロック別〕

『住み続ける（計）』は西部で7割半ば

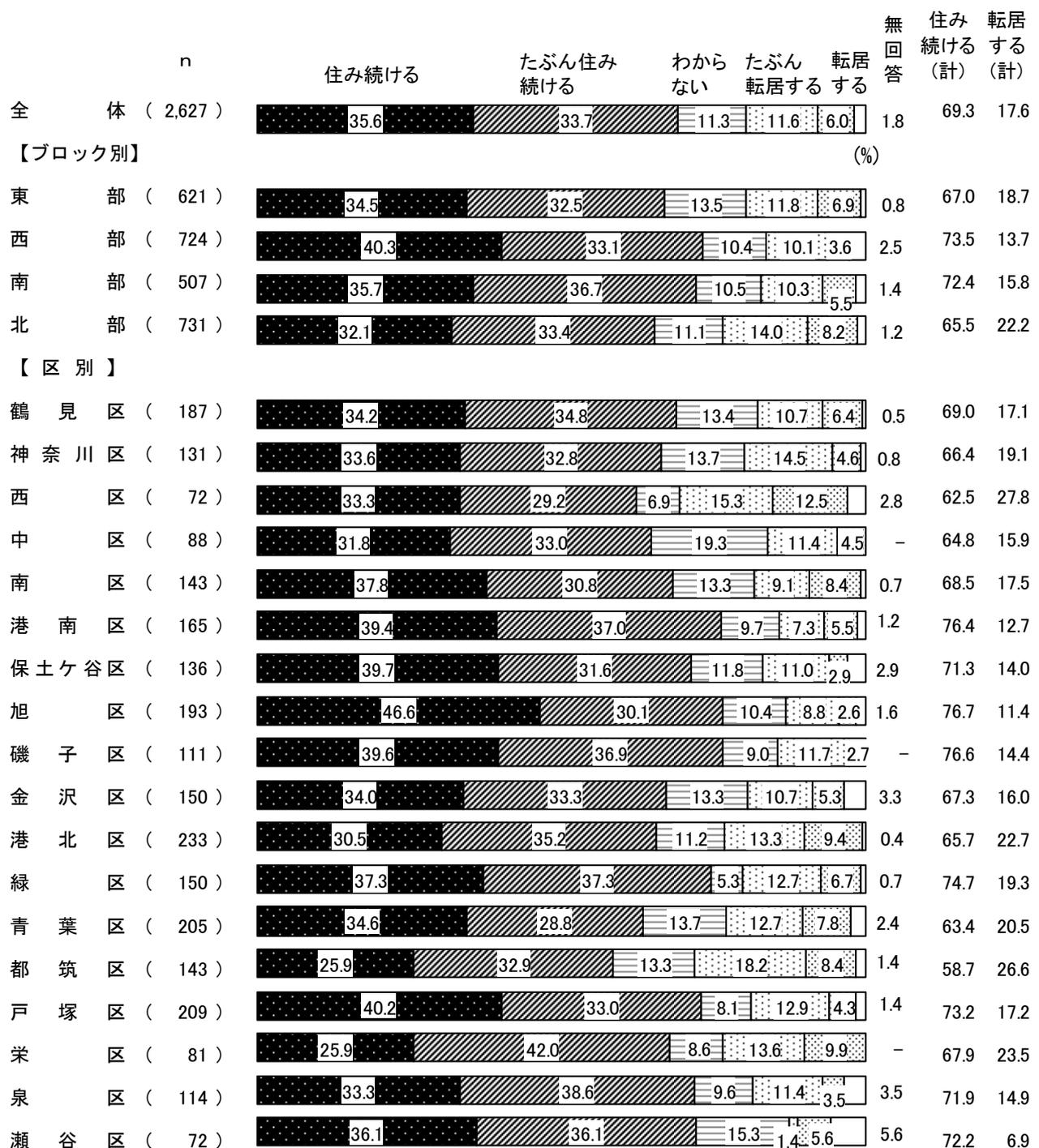
ブロック別にみると、『住み続ける（計）』は西部（73.5%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する（計）』は北部（22.2%）で2割を超えている。

③現住地定住意向〔区別〕

『住み続ける（計）』は旭区、磯子区、港南区などで7割半ば

区別にみると、『住み続ける（計）』は旭区（76.7%）、磯子区（76.6%）、港南区（76.4%）の順で多くなっている。一方、『転居する（計）』は西区（27.8%）、都筑区（26.6%）の順となっている。

図2-3-3 現住地定住意向〔ブロック別、区別〕



④現住地定住意向〔年齢別〕

『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い

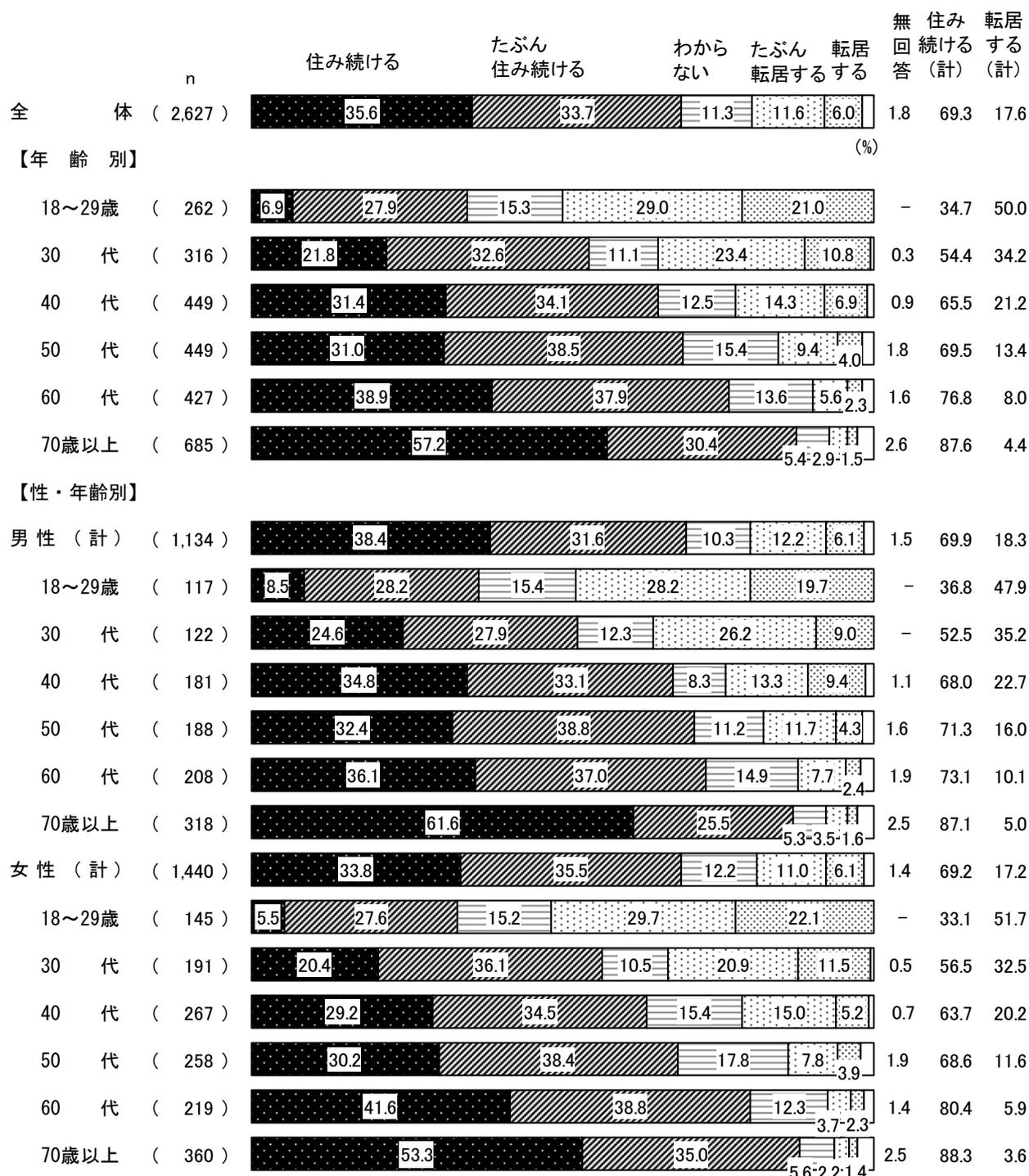
年齢別にみると、『住み続ける（計）』は年齢が高くなるにつれて多くなっており、70歳以上（87.6%）で8割半ばとなっている。

⑤現住地定住意向〔性・年齢別〕

『転居する（計）』は女性18～29歳で5割を超える

性・年齢別にみると、『住み続ける（計）』は男女ともに年齢が高いほど多く、男女とも70歳以上で8割を超えている。一方、『転居する（計）』は女性18～29歳（51.7%）で最も多くなっている。

図2-3-4 現住地定住意向〔年齢別、性・年齢別〕



⑥現住地定住意向【ライフステージ別】

『住み続ける（計）』は家族成熟後期で8割半ば

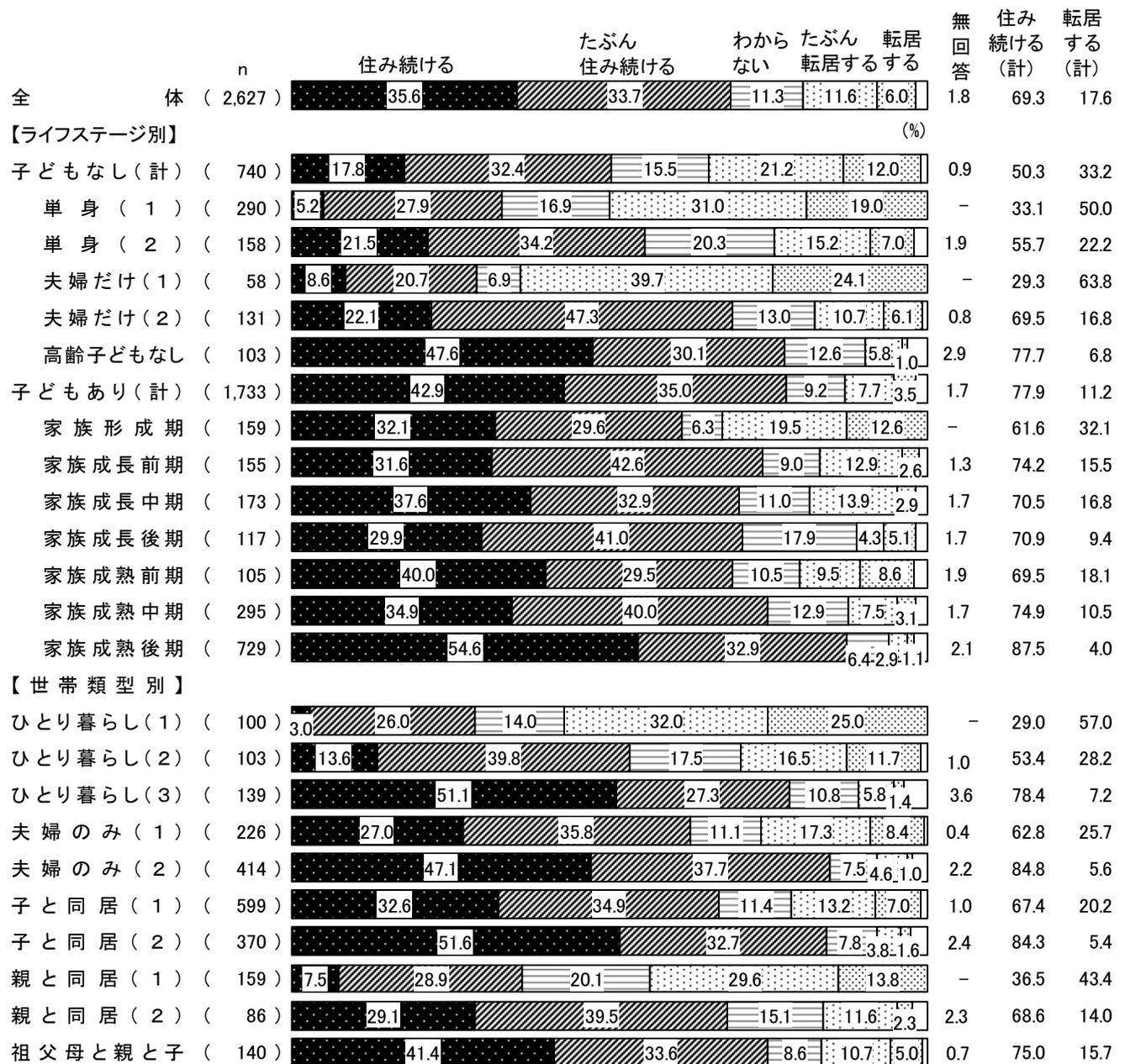
ライフステージ別にみると、『住み続ける（計）』は家族成熟後期（87.5%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する（計）』は、夫婦だけ（1）（63.8%）で6割半ばと最も多い。

⑦現住地定住意向【世帯類型別】

『転居する（計）』はひとり暮らし（1）で5割半ば

世帯類型別にみると、『住み続ける（計）』は夫婦のみ（2）（84.8%）、子と同居（2）（84.3%）で8割を超えて多くなっている。一方、『転居する（計）』は、ひとり暮らし（1）（57.0%）で5割半ばと最も多い。

図2-3-5 現住地定住意向【ライフステージ別、世帯類型別】



(4) 希望する転居先

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

希望する転居先は「横浜市内」が4割を超える

現居住地から「転居する」又は「たぶん転居する」と回答した人(463人)に、希望する転居先を尋ねたところ、「同じ区内」(12.1%)と「横浜市内」(29.8%)を合わせた『横浜市内(計)』(41.9%)は4割を超え、「横浜市以外」(22.0%)を上回っている。

図2-4-1 希望する転居先 [全体]

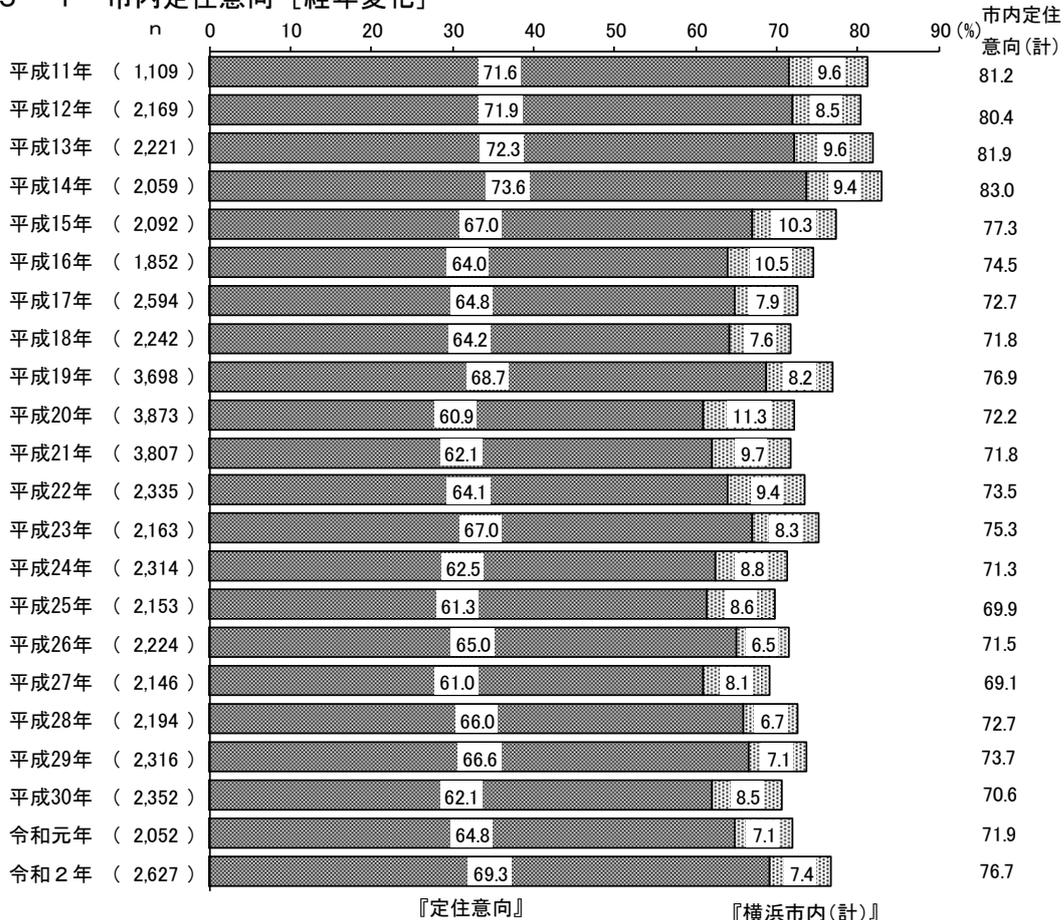


(5) 市内定住意向

『市内定住意向』は7割台を維持

現居住地での『定住意向』に、現居住地から「転居する」又は「たぶん転居する」と答えた人のうち希望する転居先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』(76.7%)は、前回調査から4.8ポイント増加して7割台を維持している。

図2-5-1 市内定住意向 [経年変化]



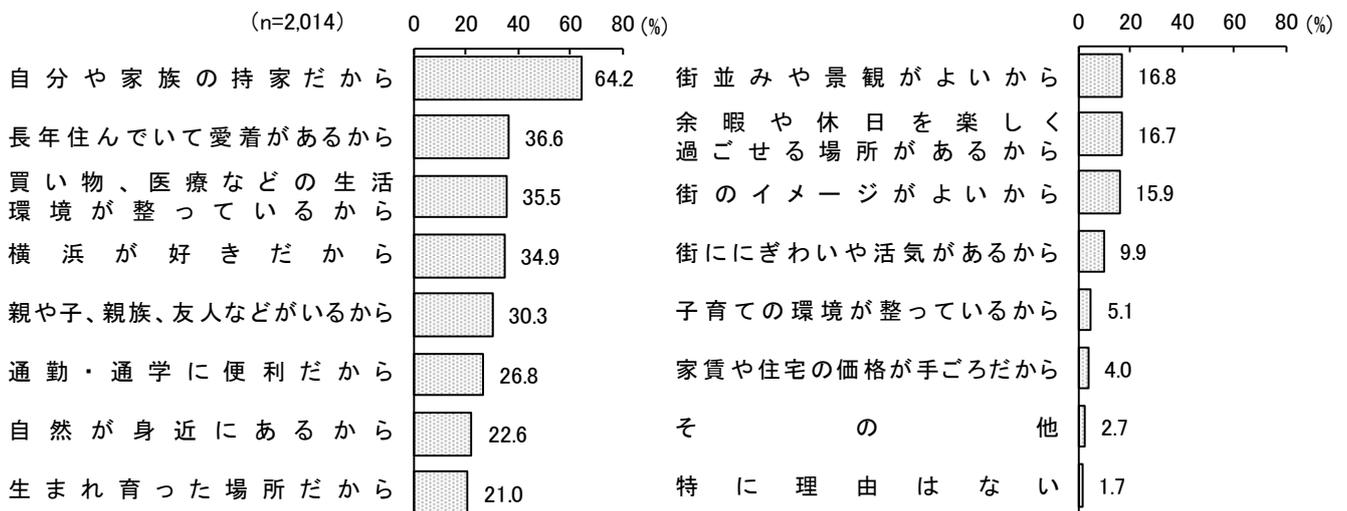
(6) 横浜に住み続ける理由

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に)
 問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

横浜に住み続ける理由は「自分や家族の持家だから」が6割半ば

現住地に「住み続ける」又は「たぶん住み続ける」と回答した人と、「転居する」又は「たぶん転居する」と回答した人で希望する転居先が横浜市内である人に、横浜に住み続ける理由を尋ねたところ、「自分や家族の持家だから」(64.2%)が6割半ばと最も多く、次いで「長年住んでいて愛着があるから」(36.6%)、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(35.5%)、「横浜が好きだから」(34.9%)の順となっている。

図2-6-1 横浜に住み続ける理由 [全体] (複数回答)

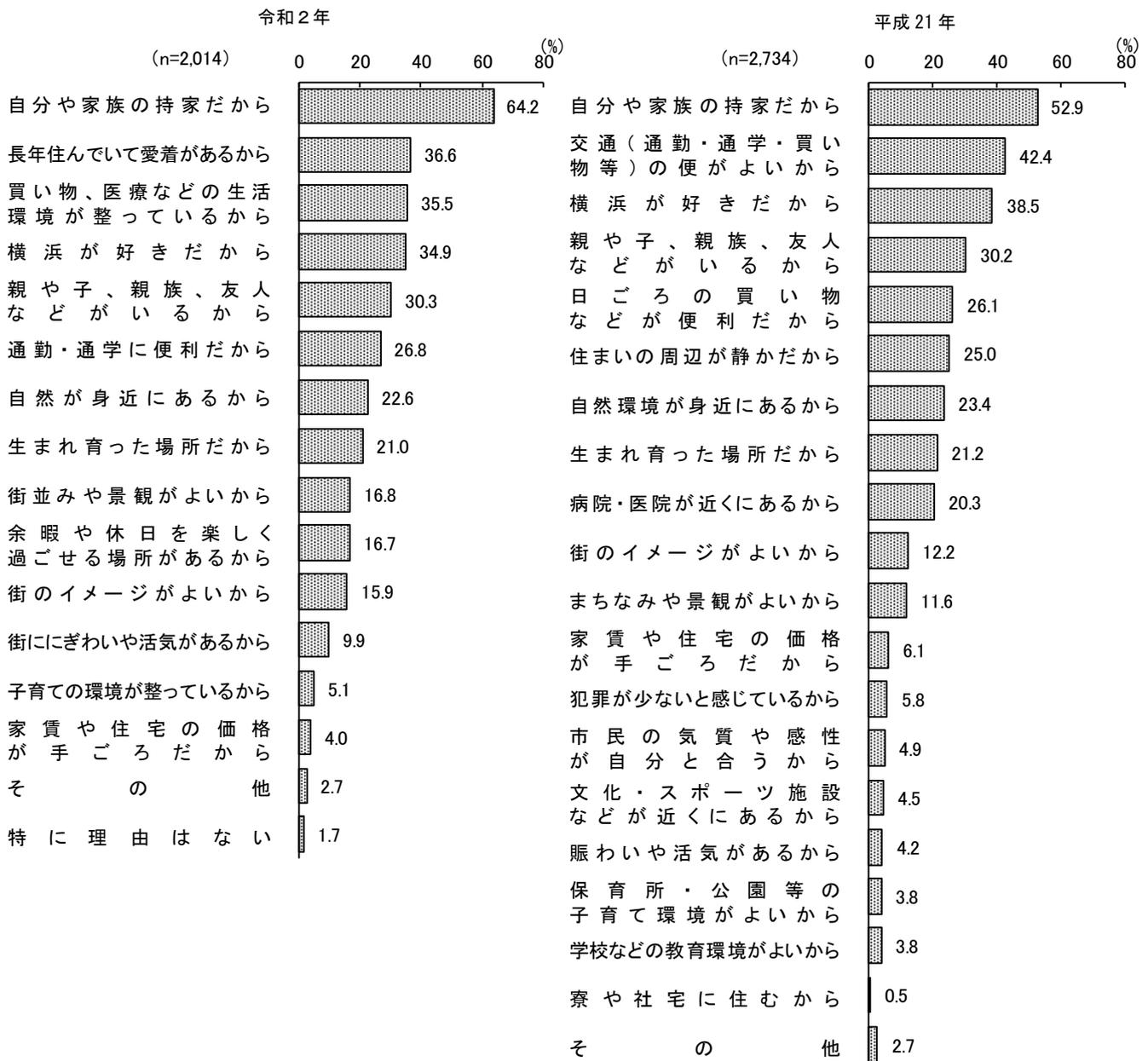


①横浜に住み続ける理由〔経年変化〕

「自分や家族の持家だから」が今回調査でも最も多い

回答の選択肢が一部異なるため単純な比較はできないが、平成21年調査と比較してみると、「自分や家族の持家だから」がいずれの調査でも最も多くなっている。また、「横浜が好きだから」がいずれも上位に入っている。

図2-6-2 横浜に住み続ける理由〔経年変化〕（複数回答）



②横浜に住み続ける理由 上位5位〔区別〕

全18区で「自分や家族の持家だから」が1位

区別に見ると、全ての区で「自分や家族の持家だから」が1位となっている。また、鶴見区で「通勤・通学に便利だから」、中区、南区、磯子区、金沢区、栄区（「長年住んでいて愛着があるから」と同率）で「横浜が好きだから」がそれぞれ2位となっている。

表2-6-1 横浜に住み続ける理由 上位5位〔区別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,014)	自分や家族の持家だから 64.2	長年住んでいて愛着があるから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	横浜が好きだから 34.9	親や子、親族、友人などがあるから 30.3
鶴見区	(n=139)	自分や家族の持家だから 65.5	通勤・通学に便利だから 32.4	親や子、親族、友人などがあるから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 28.1		長年住んでいて愛着があるから 27.3
神奈川区	(n=101)	自分や家族の持家だから 58.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 47.5	横浜が好きだから 46.5	通勤・通学に便利だから 39.6	長年住んでいて愛着があるから 37.6
西区	(n=54)	自分や家族の持家だから 63.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 50.0	横浜が好きだから 48.1	通勤・通学に便利だから 44.4	長年住んでいて愛着があるから 37.0
中区	(n=64)	自分や家族の持家だから 56.3	横浜が好きだから 51.6	長年住んでいて愛着があるから 43.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.1	街並みや景観がよいから 34.4
南区	(n=114)	自分や家族の持家だから 64.0	横浜が好きだから 42.1	長年住んでいて愛着があるから 40.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.0	親や子、親族、友人などがあるから 32.5
港南区	(n=136)	自分や家族の持家だから 62.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 43.4	長年住んでいて愛着があるから 42.6	横浜が好きだから 40.4	親や子、親族、友人などがあるから 35.3
保土ヶ谷区	(n=104)	自分や家族の持家だから 58.7	長年住んでいて愛着があるから 41.3	横浜が好きだから 40.4	親や子、親族、友人などがあるから 28.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 27.9
旭区	(n=160)	自分や家族の持家だから 72.5	長年住んでいて愛着があるから 35.0	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 29.4		買い物、医療などの生活環境が整っているから／自然が身近にあるから 28.1
磯子区	(n=92)	自分や家族の持家だから 60.9	横浜が好きだから 41.3	生まれ育った場所だから／親や子、親族、友人などがあるから 32.6		
金沢区	(n=111)	自分や家族の持家だから 71.2	横浜が好きだから 44.1	自然が身近にあるから 42.3	長年住んでいて愛着があるから 40.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.4
港北区	(n=174)	自分や家族の持家だから 65.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.2	通勤・通学に便利だから／横浜が好きだから 33.3		親や子、親族、友人などがあるから 31.0
緑区	(n=124)	自分や家族の持家だから 70.2	長年住んでいて愛着があるから 37.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.7	親や子、親族、友人などがあるから 32.3	通勤・通学に便利だから 27.4
青葉区	(n=143)	自分や家族の持家だから 66.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.6	長年住んでいて愛着があるから 37.8	街のイメージがよいから 31.5	親や子、親族、友人などがあるから 30.8
都筑区	(n=99)	自分や家族の持家だから 62.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 52.5	自然が身近にあるから 48.5	街並みや景観がよいから 41.4	横浜が好きだから 37.4
戸塚区	(n=166)	自分や家族の持家だから 61.4	長年住んでいて愛着があるから 36.1	横浜が好きだから 34.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.1	親や子、親族、友人などがあるから 28.3
栄区	(n=67)	自分や家族の持家だから 47.8	長年住んでいて愛着があるから／横浜が好きだから 37.3		自然が身近にあるから 35.8	親や子、親族、友人などがあるから 32.8
泉区	(n=86)	自分や家族の持家だから 68.6	長年住んでいて愛着があるから 39.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.2	親や子、親族、友人などがあるから 31.4	自然が身近にあるから 29.1
瀬谷区	(n=53)	自分や家族の持家だから 66.0	長年住んでいて愛着があるから 37.7	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 30.2		買い物、医療などの生活環境が整っているから 20.8

③横浜に住み続ける理由 上位5位〔年齢別、性・年齢別〕

18～29歳で「通勤・通学に便利だから」が1位

年齢別にみると、18～29歳で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。また、それ以外の年齢では「自分や家族の持家だから」が1位となっている。

性・年齢別にみると、男性18～29歳で「生まれ育った場所だから」、女性18～29歳、女性50代（「長年住んでいて愛着があるから」と同率）で「横浜が好きだから」がそれぞれ2位となっている。

表2-6-2 横浜に住み続ける理由 上位5位〔年齢別、性・年齢別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,014)	自分や家族の持家だから 64.2	長年住んでいて愛着があるから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	横浜が好きだから 34.9	親や子、親族、友人などがあるから 30.3
	18～29歳 (n=135)	通勤・通学に便利だから 47.4	横浜が好きだから 38.5	親や子、親族、友人などがあるから 36.3	生まれ育った場所だから 34.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.3
	30代 (n=222)	自分や家族の持家だから 53.6	通勤・通学に便利だから 42.8	親や子、親族、友人などがあるから 36.0	横浜が好きだから 33.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.5
	40代 (n=335)	自分や家族の持家だから 65.7	通勤・通学に便利だから 41.5	横浜が好きだから 35.5	親や子、親族、友人などがあるから 33.4	長年住んでいて愛着があるから 28.7
	50代 (n=339)	自分や家族の持家だから 67.0	横浜が好きだから 36.3	長年住んでいて愛着があるから 35.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.2	通勤・通学に便利だから 33.3
	60代 (n=342)	自分や家族の持家だから 71.6	長年住んでいて愛着があるから 44.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.5	横浜が好きだから 36.8	親や子、親族、友人などがあるから 28.1
	70歳以上 (n=617)	自分や家族の持家だから 68.9	長年住んでいて愛着があるから 43.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.2	横浜が好きだから 32.7	自然が身近にあるから 30.1
	男性計 (n=873)	自分や家族の持家だから 62.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.9	長年住んでいて愛着があるから 35.5	横浜が好きだから 34.4	通勤・通学に便利だから 31.5
女性計	18～29歳 (n=60)	通勤・通学に便利だから 51.7	生まれ育った場所だから 43.3	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 40.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.7	
	30代 (n=83)	通勤・通学に便利だから 54.2	自分や家族の持家だから 50.6	生まれ育った場所だから 31.3	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 30.1	
	40代 (n=143)	自分や家族の持家だから 61.5	通勤・通学に便利だから 47.6	横浜が好きだから 34.3	親や子、親族、友人などがあるから 29.4	生まれ育った場所だから／長年住んでいて愛着があるから 26.6
	50代 (n=145)	自分や家族の持家だから 67.6	通勤・通学に便利だから 39.3	横浜が好きだから 37.2	長年住んでいて愛着があるから 35.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.5
	60代 (n=159)	自分や家族の持家だから 64.2	長年住んでいて愛着があるから 44.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.9	横浜が好きだから 35.2	自然が身近にあるから 27.0
	70歳以上 (n=283)	自分や家族の持家だから 70.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 43.8	長年住んでいて愛着があるから 40.3	横浜が好きだから 32.5	自然が身近にあるから 30.0
	女性計 (n=1,108)	自分や家族の持家だから 65.4	長年住んでいて愛着があるから 37.4	横浜が好きだから 35.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.4	親や子、親族、友人などがあるから 34.2
	18～29歳 (n=75)	通勤・通学に便利だから 44.0	横浜が好きだから 37.3	自分や家族の持家だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.7	親や子、親族、友人などがあるから 33.3	
30代 (n=138)	自分や家族の持家だから 55.8	親や子、親族、友人などがあるから 39.9	通勤・通学に便利だから 36.2	横浜が好きだから 34.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.6	
40代 (n=191)	自分や家族の持家だから 68.6	通勤・通学に便利だから 37.2	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 36.6	長年住んでいて愛着があるから 30.4		
50代 (n=193)	自分や家族の持家だから 66.3	長年住んでいて愛着があるから／横浜が好きだから 35.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.2	親や子、親族、友人などがあるから 30.6		
60代 (n=183)	自分や家族の持家だから 78.1	長年住んでいて愛着があるから 45.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから／横浜が好きだから 38.3	親や子、親族、友人などがあるから 32.8		
70歳以上 (n=328)	自分や家族の持家だから 67.1	長年住んでいて愛着があるから 45.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.3	親や子、親族、友人などがあるから 33.5	横浜が好きだから 32.9	

④横浜に住み続ける理由 上位5位 [ライフステージ別]

単身(1)、夫婦だけ(1)で「通勤・通学に便利だから」が1位

ライフステージ別にみると、単身(1)、夫婦だけ(1)を除く全てのライフステージで「自分や家族の持家だから」が1位となっている。また、単身(1)、夫婦だけ(1)（「買い物、医療などの生活環境が整っているから」と同率）では「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。なお、「通勤・通学に便利だから」は、子どもなし計で2位となっているが、子どもあり計では上位5位までに入っていない。

表2-6-3 横浜に住み続ける理由 上位5位 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,014)		自分や家族の持家だから 64.2	長年住んでいて愛着があるから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	横浜が好きだから 34.9	親や子、親族、友人などがあるから 30.3
子どもなし計 (n=474)		自分や家族の持家だから 44.7	通勤・通学に便利だから 38.8	横浜が好きだから 35.9	長年住んでいて愛着があるから 35.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.3
単身(1) 40歳未満 (n=149)		通勤・通学に便利だから 51.0	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 34.9	長年住んでいて愛着があるから 31.5	生まれ育った場所だから 30.9	
単身(2) 40～64歳 (n=106)		自分や家族の持家だから 52.8	長年住んでいて愛着があるから 51.9	通勤・通学に便利だから 41.5	横浜が好きだから 40.6	生まれ育った場所だから 37.7
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=34)		通勤・通学に便利だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 50.0	自分や家族の持家だから 35.3	横浜が好きだから 32.4	親や子、親族、友人などがあるから 29.4	
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=101)		自分や家族の持家だから 57.4	横浜が好きだから 36.6	通勤・通学に便利だから 34.7	生まれ育った場所だから 29.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 28.7
高齢子どもなし (n=84)		自分や家族の持家だから 51.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 42.9	長年住んでいて愛着があるから 38.1	横浜が好きだから 32.1	自然が身近にあるから 28.6
子どもあり計 (n=1,437)		自分や家族の持家だから 70.9	長年住んでいて愛着があるから 37.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.9	横浜が好きだから 35.4	親や子、親族、友人などがあるから 32.1
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=122)		自分や家族の持家だから 54.1	通勤・通学に便利だから 41.8	横浜が好きだから 36.9	親や子、親族、友人などがあるから 34.4	生まれ育った場所だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.3
家族成長前期 第一子が小学生 (n=126)		自分や家族の持家だから 75.4	親や子、親族、友人などがあるから 49.2	通勤・通学に便利だから 45.2	横浜が好きだから 31.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.0
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=135)		自分や家族の持家だから 64.4	通勤・通学に便利だから 33.3	親や子、親族、友人などがあるから 31.9	横浜が好きだから 30.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 28.1
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=87)		自分や家族の持家だから 81.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから／横浜が好きだから 37.9	通勤・通学に便利だから 35.6		
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=78)		自分や家族の持家だから 73.1	横浜が好きだから 35.9	親や子、親族、友人などがあるから／通勤・通学に便利だから 29.5	長年住んでいて愛着があるから 26.9	
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=238)		自分や家族の持家だから 71.8	長年住んでいて愛着があるから 42.9	横浜が好きだから 41.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.4	親や子、親族、友人などがあるから 30.7
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=651)		自分や家族の持家だから 72.5	長年住んでいて愛着があるから 45.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 42.2	横浜が好きだから 34.3	親や子、親族、友人などがあるから 29.6

⑤横浜に住み続ける理由 上位5位〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（1）（2）で「通勤・通学に便利だから」が1位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（1）、ひとり暮らし（2）で「通勤・通学に便利だから」、親と同居（1）で「長年住んでいて愛着があるから」が1位となっている。それ以外の世帯類型では「自分や家族の持家だから」が1位となっている。また、ひとり暮らし（1）で「余暇や休日を楽しみ過ごす場所があるから」が2位（「横浜が好きだから」と同率）となっている。

表2-6-4 横浜に住み続ける理由 上位5位〔世帯類型別〕（複数回答）

属性	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2014)	自分や家族の持家だから 64.2	長年住んでいて愛着があるから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	横浜が好きだから 34.9	親や子、親族、友人などがあるから 30.3
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=54)	通勤・通学に便利だから 68.5	余暇や休日を楽しみ過ごす場所があるから／横浜が好きだから 29.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 24.1	親や子、親族、友人などがあるから 18.5	
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=69)	通勤・通学に便利だから 50.7	自分や家族の持家だから 34.8	長年住んでいて愛着があるから 30.4	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 27.5	
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=114)	自分や家族の持家だから 50.9	長年住んでいて愛着があるから 42.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.6	親や子、親族、友人などがあるから 33.3	横浜が好きだから 27.2
夫婦のみ(1) 子なし (n=168)	自分や家族の持家だから 53.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.7	横浜が好きだから 35.1	通勤・通学に便利だから 33.3	長年住んでいて愛着があるから 26.8
夫婦のみ(2) 子あり (n=361)	自分や家族の持家だから 70.9	長年住んでいて愛着があるから 48.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 44.3	横浜が好きだから 36.6	自然が身近にあるから 34.1
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=455)	自分や家族の持家だから 69.2	通勤・通学に便利だから 40.9	親や子、親族、友人などがあるから 35.8	横浜が好きだから 34.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.3
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=324)	自分や家族の持家だから 74.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから／長年住んでいて愛着があるから 41.0	横浜が好きだから 35.2	親や子、親族、友人などがあるから 25.3	
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=82)	長年住んでいて愛着があるから 46.3	生まれ育った場所だから／親や子、親族、友人などがあるから 45.1	自分や家族の持家だから 43.9	通勤・通学に便利だから 42.7	
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=66)	自分や家族の持家だから 66.7	長年住んでいて愛着があるから 62.1	生まれ育った場所だから 56.1	横浜が好きだから 50.0	親や子、親族、友人などがあるから 36.4
祖父母と親と子 3世代 (n=115)	自分や家族の持家だから 80.9	横浜が好きだから 40.0	長年住んでいて愛着があるから 37.4	親や子、親族、友人などがあるから 32.2	生まれ育った場所だから 30.4

⑥横浜に住み続ける理由 上位5位〔住居形態別〕

借家（計）では「通勤・通学に便利だから」が1位

住居形態別にみると、持家（計）では「自分や家族の持家だから」、借家（計）では「通勤・通学に便利だから」がそれぞれ1位となっている。

表2-6-5 横浜に住み続ける理由 上位5位〔住居形態別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2014)	自分や家族の持家だから 64.2	長年住んでいて愛着があるから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	横浜が好きだから 34.9	親や子、親族、友人などがあるから 30.3
持家（計）	(n=1,614)	自分や家族の持家だから 77.3	長年住んでいて愛着があるから 38.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.2	横浜が好きだから 35.1	親や子、親族、友人などがあるから 29.8
持家（一戸建て）	(n=1,017)	自分や家族の持家だから 81.4	長年住んでいて愛着があるから 38.2	横浜が好きだから 34.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.2	親や子、親族、友人などがあるから 29.4
持家（マンション・共同住宅）	(n=597)	自分や家族の持家だから 70.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 42.0	長年住んでいて愛着があるから 38.2	横浜が好きだから 36.7	親や子、親族、友人などがあるから 30.5
借家（計）	(n=351)	通勤・通学に便利だから 41.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.9	横浜が好きだから 35.3	親や子、親族、友人などがあるから 32.8	長年住んでいて愛着があるから 30.5
借家（一戸建て）	(n=23)	自分や家族の持家だから 30.4	親や子、親族、友人などがあるから 26.1	通勤・通学に便利だから 26.1	長年住んでいて愛着があるから 21.7	生まれ育った場所だから 21.7
借家（県営・市営の共同住宅）	(n=44)	家賃や住宅の価格が手ごろだから 54.5	長年住んでいて愛着があるから 50.0	横浜が好きだから 45.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.9	親や子、親族、友人などがあるから 34.1
借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	(n=37)	横浜が好きだから 56.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 48.6	長年住んでいて愛着があるから 45.9	親や子、親族、友人などがあるから 37.8	街並みや景観がよいから ／自然が身近にあるから 35.1
借家（社宅、公務員住宅）	(n=17)	通勤・通学に便利だから 47.1	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから 23.5	街のイメージがよいから 17.6	親や子、親族、友人などがあるから 11.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 11.8
借家（民間アパート、民間賃貸マンション）	(n=230)	通勤・通学に便利だから 49.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.6	親や子、親族、友人などがあるから 33.9	横浜が好きだから 33.5	長年住んでいて愛着があるから 26.5

3. 生活意識

(1) 生活満足度

問5 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

『満足(計)』は7割を超える

生活満足度については、「満足しているほう」(24.6%)と「まあ満足しているほう」(47.8%)を合わせた『満足(計)』(72.4%)は7割を超えている。一方、「不満があるほう」(3.8%)と「やや不満があるほう」(7.9%)を合わせた『不満(計)』(11.7%)は1割を超えている。

図3-1-1 生活満足度 [全体]

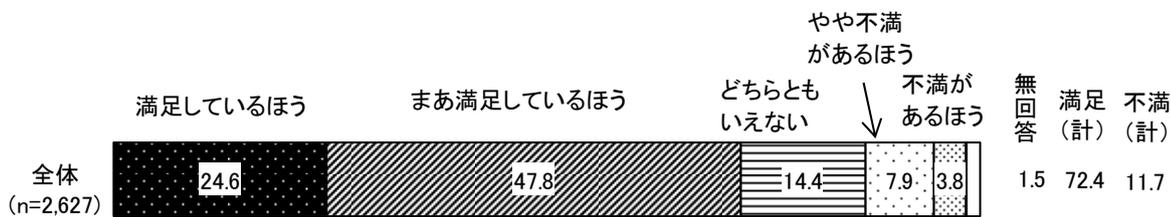
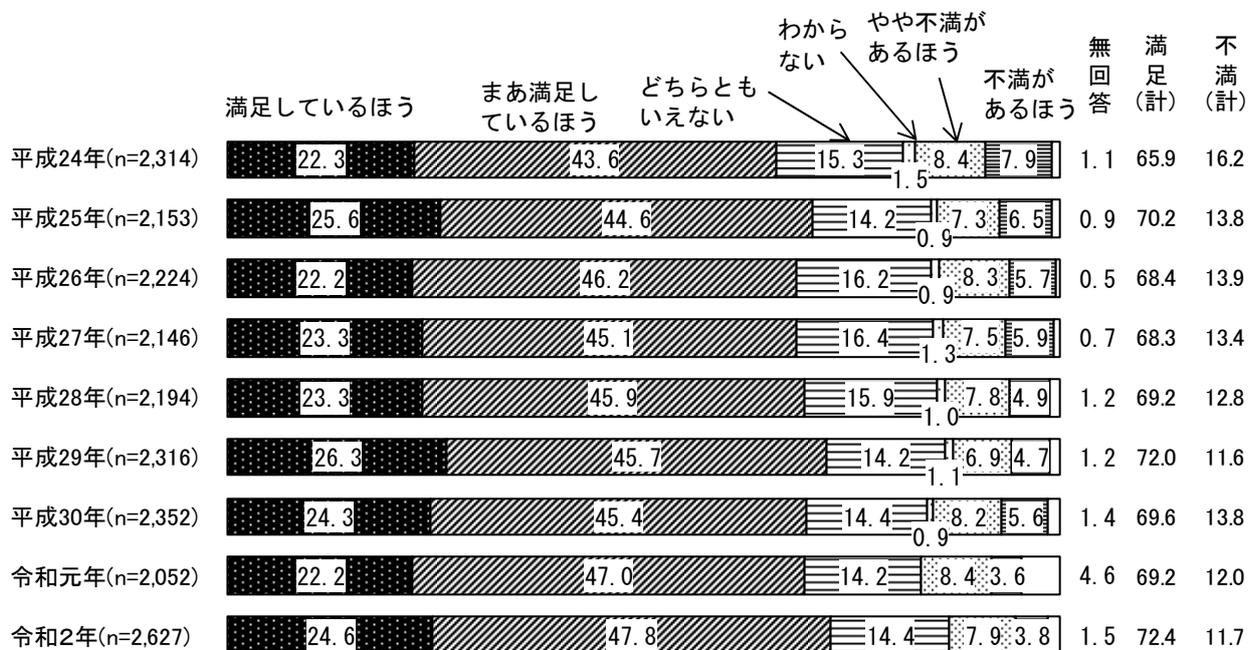


図3-1-2 生活満足度 [経年変化]



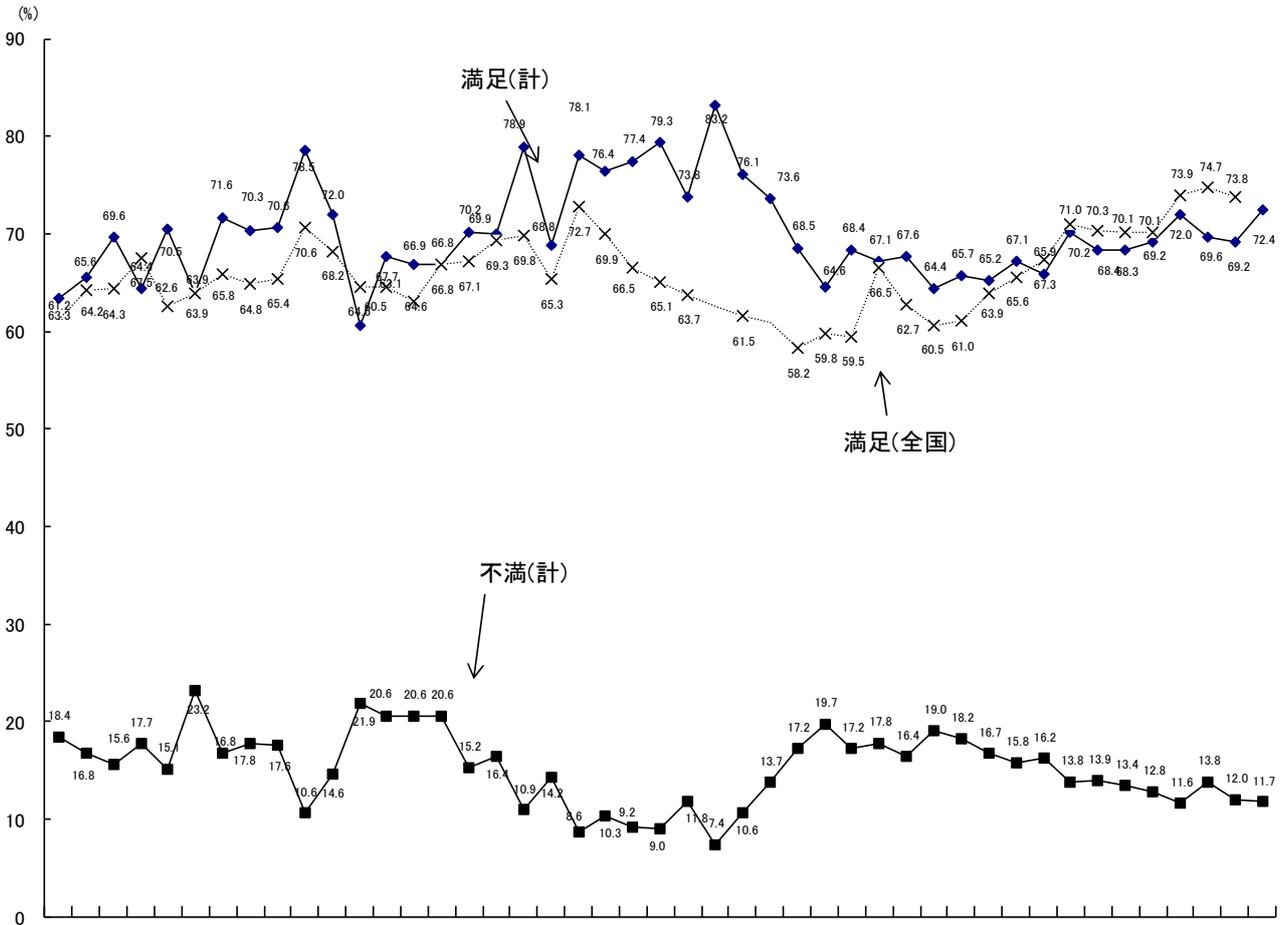
(注) 平成30年以前の調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

①生活満足度〔経年変化〕

生活満足度は前回調査から3.2ポイント増加

経年変化をみると、前回調査に比べ『満足（計）』は3.2ポイント増加、『不満（計）』は0.3ポイントの減少となっている。

図3-1-3 生活満足度〔経年変化〕



昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 平成3 平成4 平成5 平成6 平成7 平成8 平成9 平成10 平成11 平成12 平成13 平成14 平成15 平成16 平成17 平成18 平成19 平成20 平成21 平成22 平成23 平成24 平成25 平成26 平成27 平成28 平成29 平成30 令和2

(注) 令和2年度は、内閣府「国民生活に関する世論調査」は中止となっている。

②生活満足度 [年齢別]

『満足 (計)』は70歳以上で8割近く

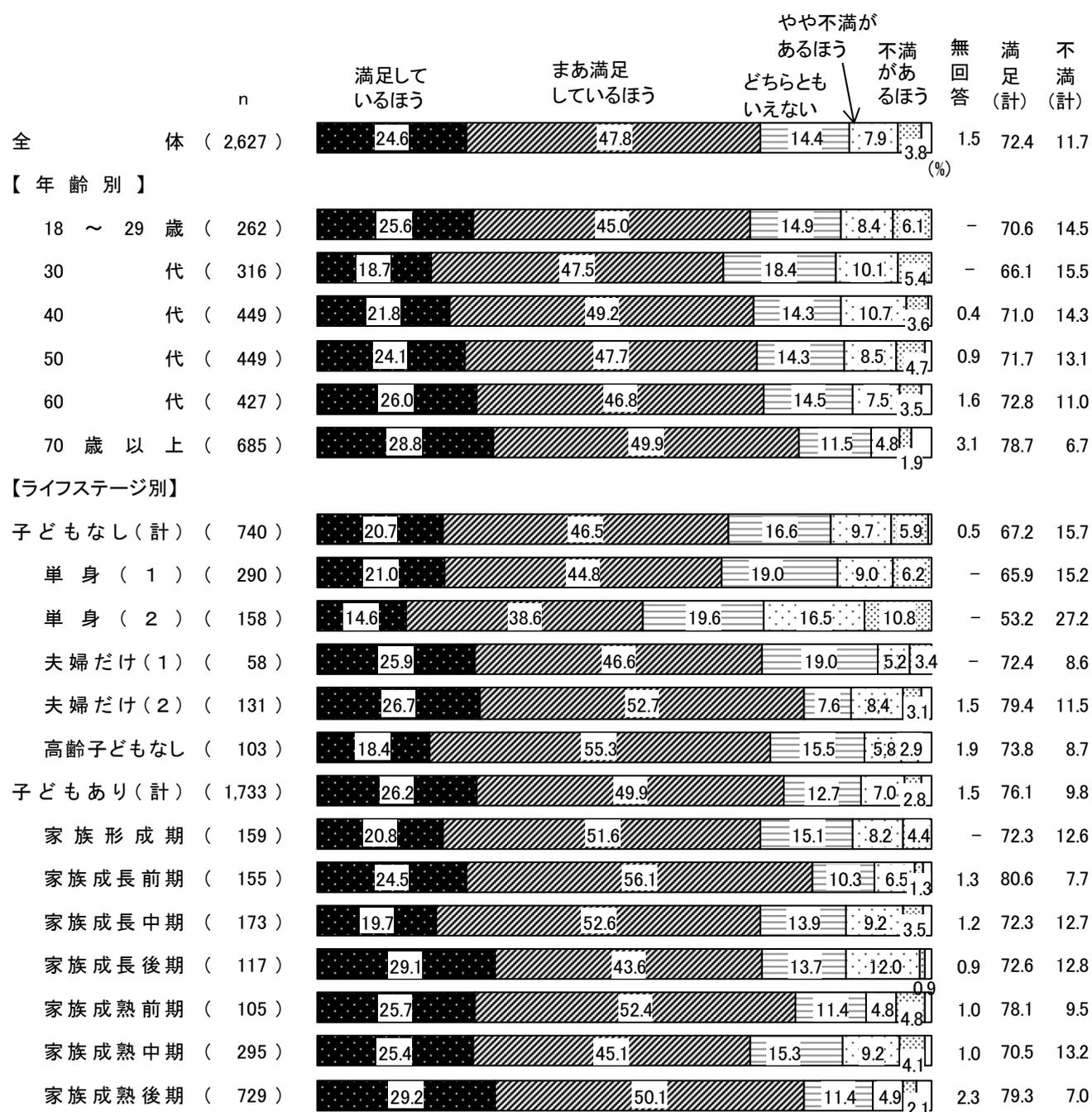
年齢別にみると、『満足 (計)』は70歳以上 (78.7%) で8割近くと最も多く、30代を除く全ての年齢で7割を超えている。

③生活満足度 [ライフステージ別]

『満足 (計)』は家族成長前期で8割を超える

ライフステージ別にみると、『満足 (計)』は家族成長前期 (80.6%) で8割を超えて最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は単身 (2) (27.2%) で2割半ばと最も多くなっている。

図3-1-4 生活満足度 [年齢別、ライフステージ別]



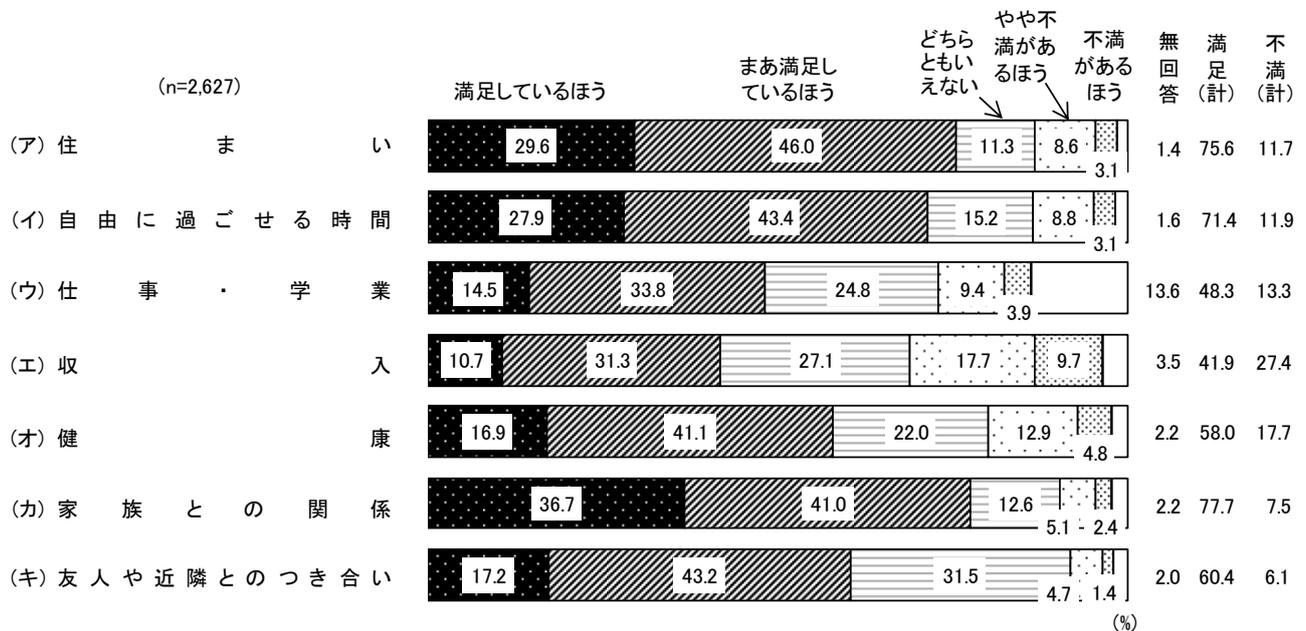
(2) 項目別生活満足度

問6 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇はそれぞれ1つ)

『満足(計)』は「家族との関係」と「住まい」で7割半ば

項目別生活満足度について、(ア)「住まい」から(キ)「友人や近隣とのつき合い」までの7項目をみると、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」を合わせた『満足(計)』は、「家族との関係」(77.7%)、「住まい」(75.6%)で7割半ばと多くなっている。一方、「不満があるほう」と「やや不満があるほう」を合わせた『不満(計)』は、「収入」(27.4%)で最も多くなっている。

図3-2-1 項目別生活満足度[全体]



①項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で8割半ば

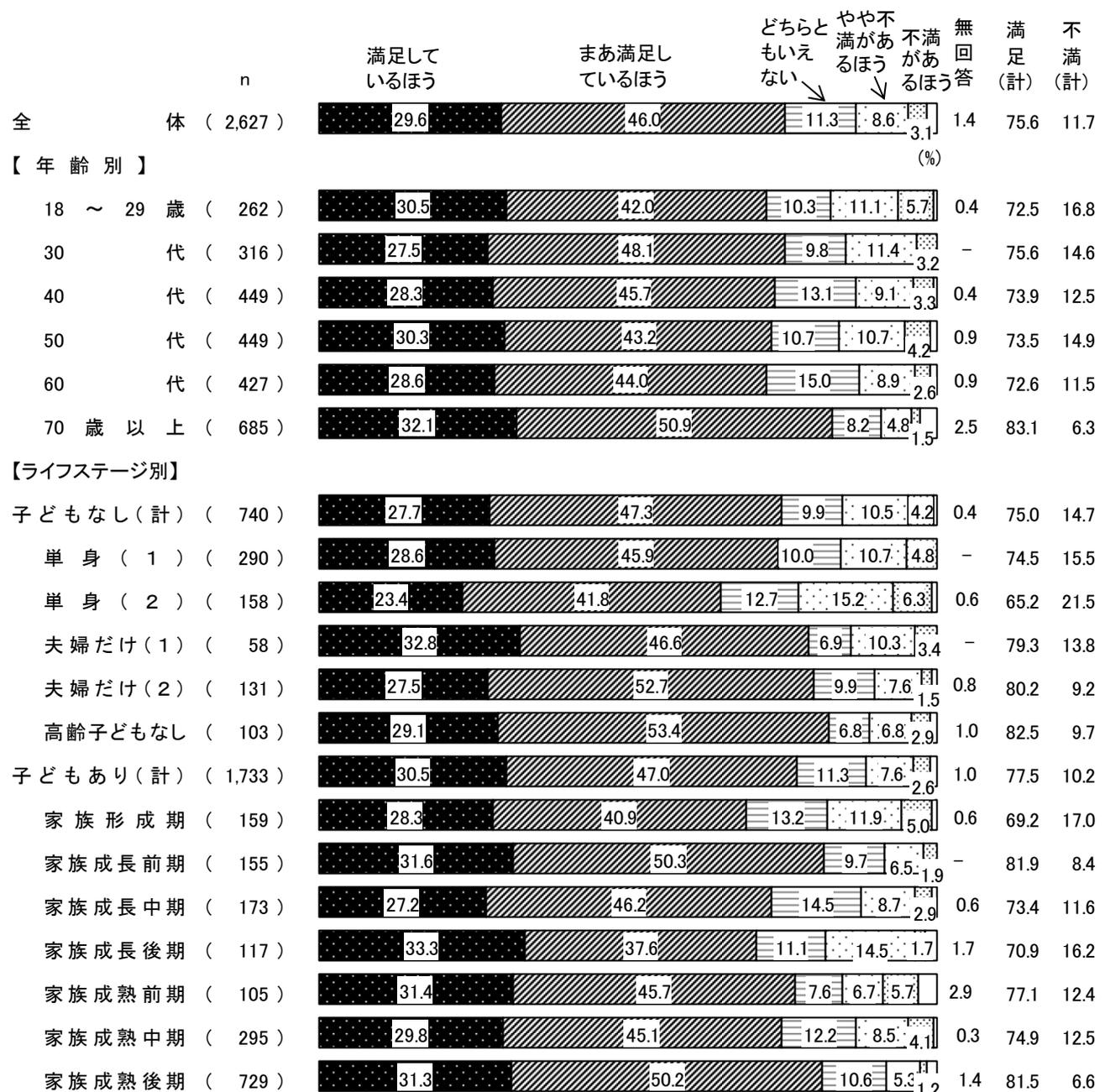
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（83.1%）で8割半ばと最も多く、いずれの年齢も7割を超えている。一方、『不満（計）』は18～29歳（16.8%）で1割半ばとやや多くなっている。

②項目別生活満足度（ア）住まい〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は高齢子どもなし、家族成長前期、家族成熟後期、夫婦だけ（2）で8割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は高齢子どもなし（82.5%）、家族成長前期（81.9%）、家族成熟後期（81.5%）、夫婦だけ（2）（80.2%）で8割を超えて多い。

図3-2-2 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別、ライフステージ別〕



③項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で8割半ば

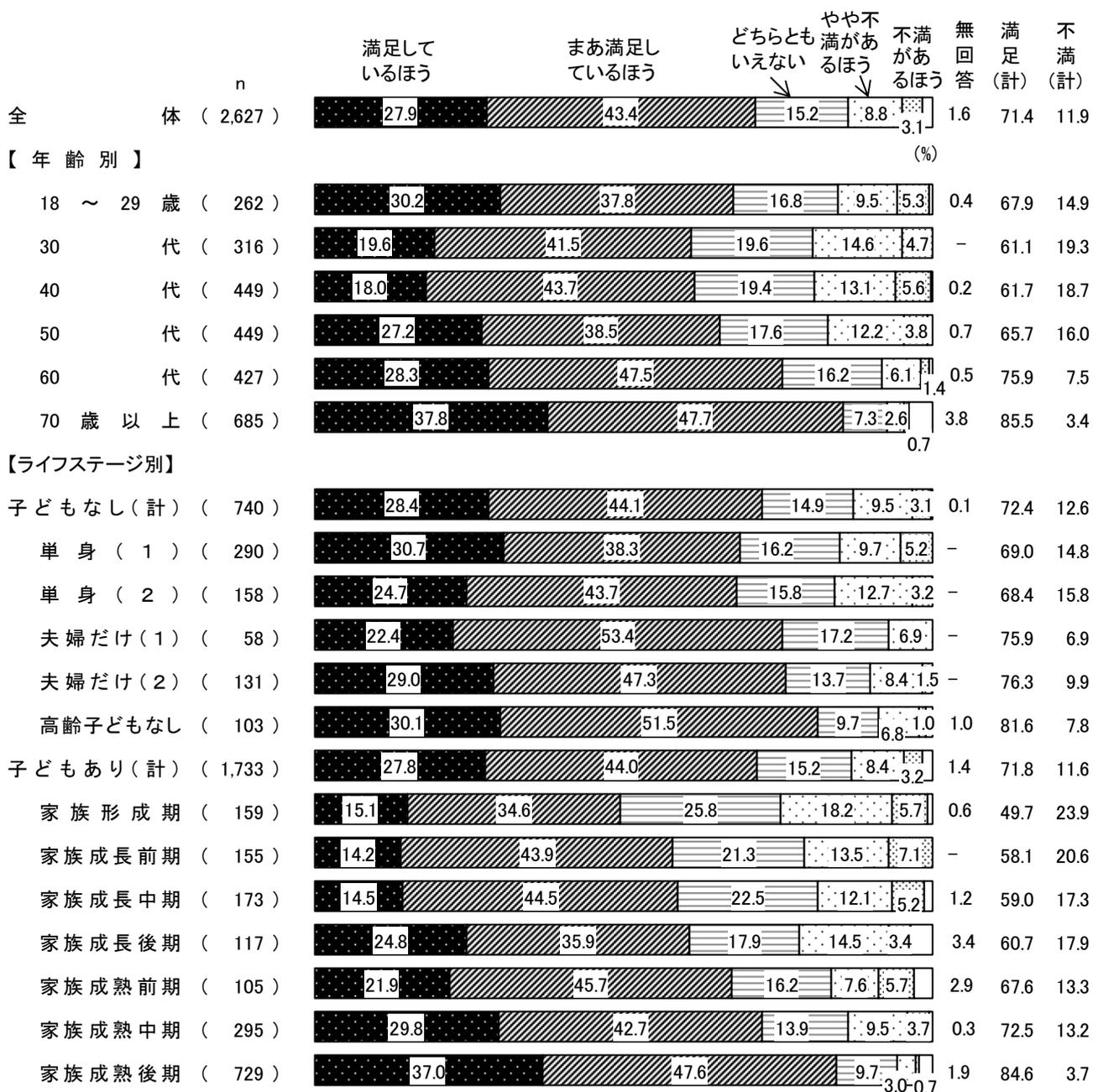
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（85.5%）で8割半ばと最も多くなっている。30代以降は年齢が高くなるにつれて『満足（計）』は増加し、『不満（計）』は減少している。

④項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は家族形成期で2割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成熟後期（84.6%）、高齢子どもなし（81.6%）で8割を超えて多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（23.9%）で2割半ばと最も多い。

図3-2-3 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間〔年齢別、ライフステージ別〕



⑤項目別生活満足度（ウ）仕事・学業〔年齢別〕

『不満（計）』は年齢が高いほど少ない

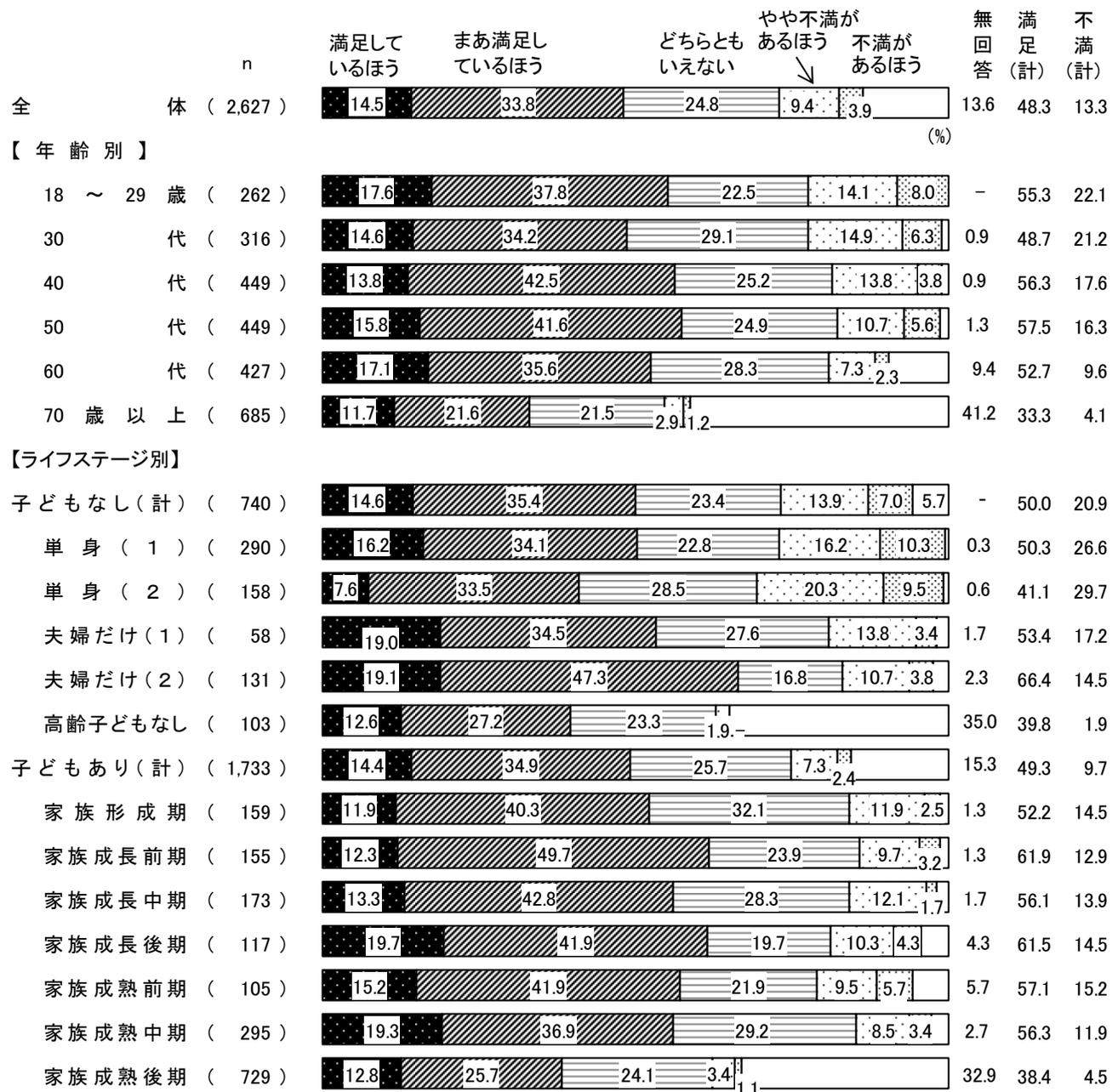
年齢別にみると、『不満（計）』は年齢が高いほど少なくなっている。『満足（計）』は50代（57.5%）、40代（56.3%）、18～29歳（55.3%）、60代（52.7%）で5割を超えている。

⑥項目別生活満足度（ウ）仕事・学業〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（2）、家族成長前期、家族成長後期で6割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（2）（66.4%）、家族成長前期（61.9%）、家族成長後期（61.5%）で6割を超えて多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（29.7%）で3割近くと最も多い。

図3-2-4 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業〔年齢別、ライフステージ別〕



⑦項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別〕

『不満（計）』は18～29歳で3割半ば

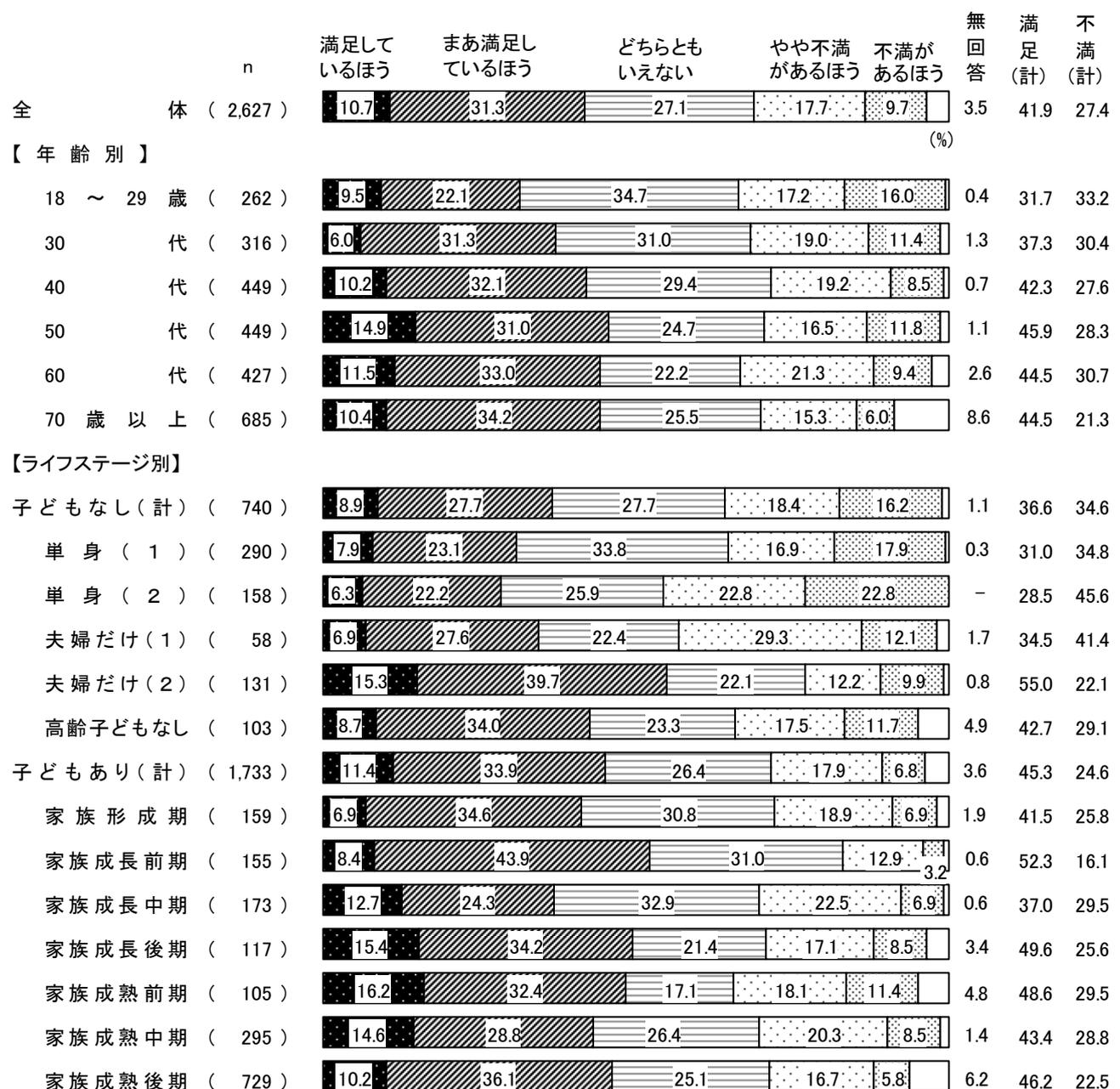
年齢別にみると、『満足（計）』は50代（45.9%）、60代（44.5%）、70歳以上（44.5%）で4割半ばと多く、『不満（計）』は18～29歳（33.2%）で3割半ばと最も多くなっている。

⑧項目別生活満足度（エ）収入〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（2）で5割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（2）（55.0%）で最も多く、単身（2）（28.5%）で最も少ない。一方、『不満（計）』は単身（2）（45.6%）で4割半ばと最も多い。

図3-2-5 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別、ライフステージ別〕



⑨項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で約7割、70歳以上で約5割

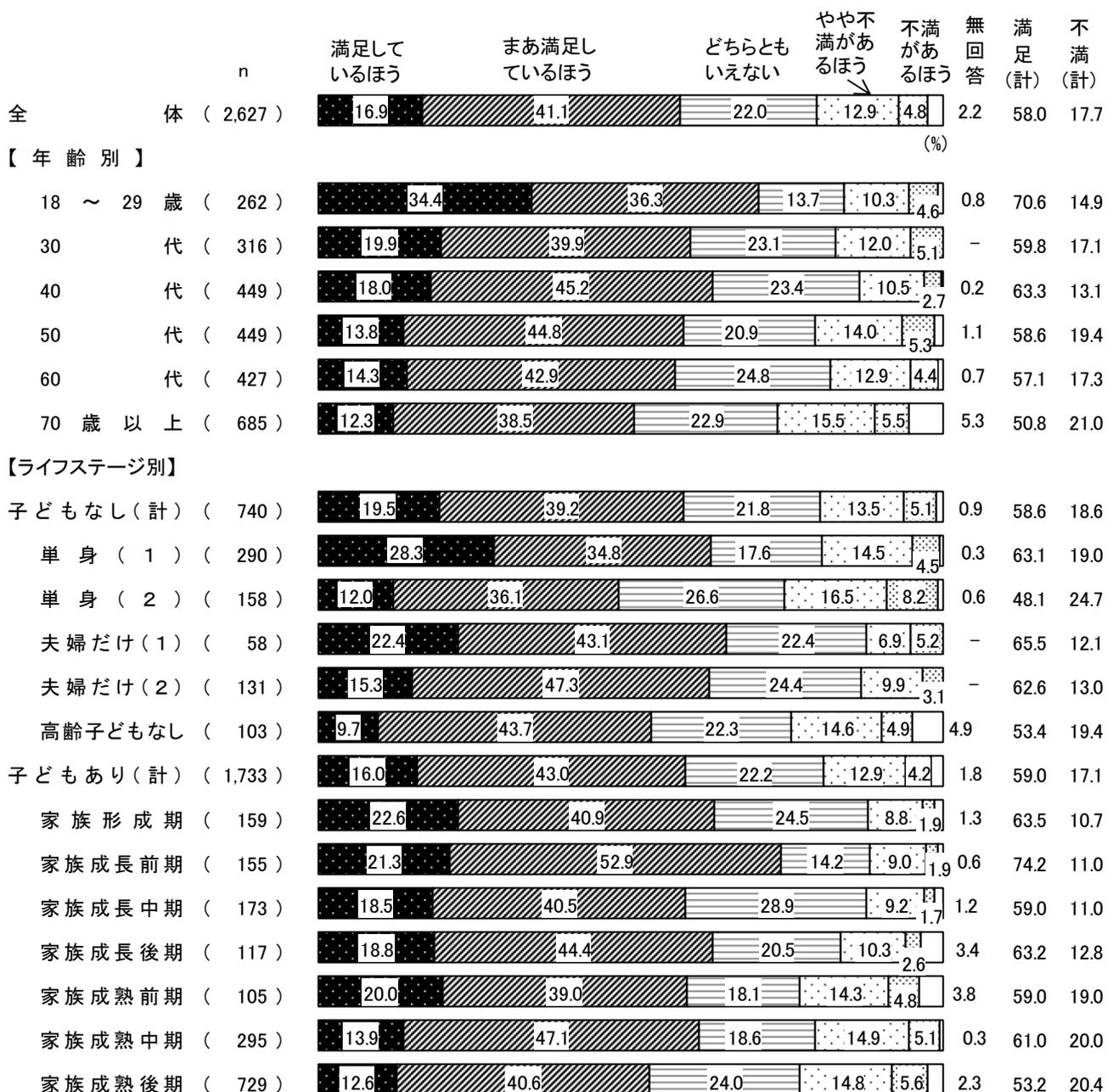
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（70.6%）で約7割、70歳以上（50.8%）で約5割と、おおむね年齢が高くなるにつれて少しずつ少なくなっている。一方、『不満（計）』は70歳以上（21.0%）で2割を超えている。

⑩項目別生活満足度（オ）健康〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成長前期で7割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（74.2%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（24.7%）で2割半ばと最も多い。

図3-2-6 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別、ライフステージ別〕



⑪項目別生活満足度（カ）家族との関係 [年齢別]

『満足（計）』は60代で8割を超える

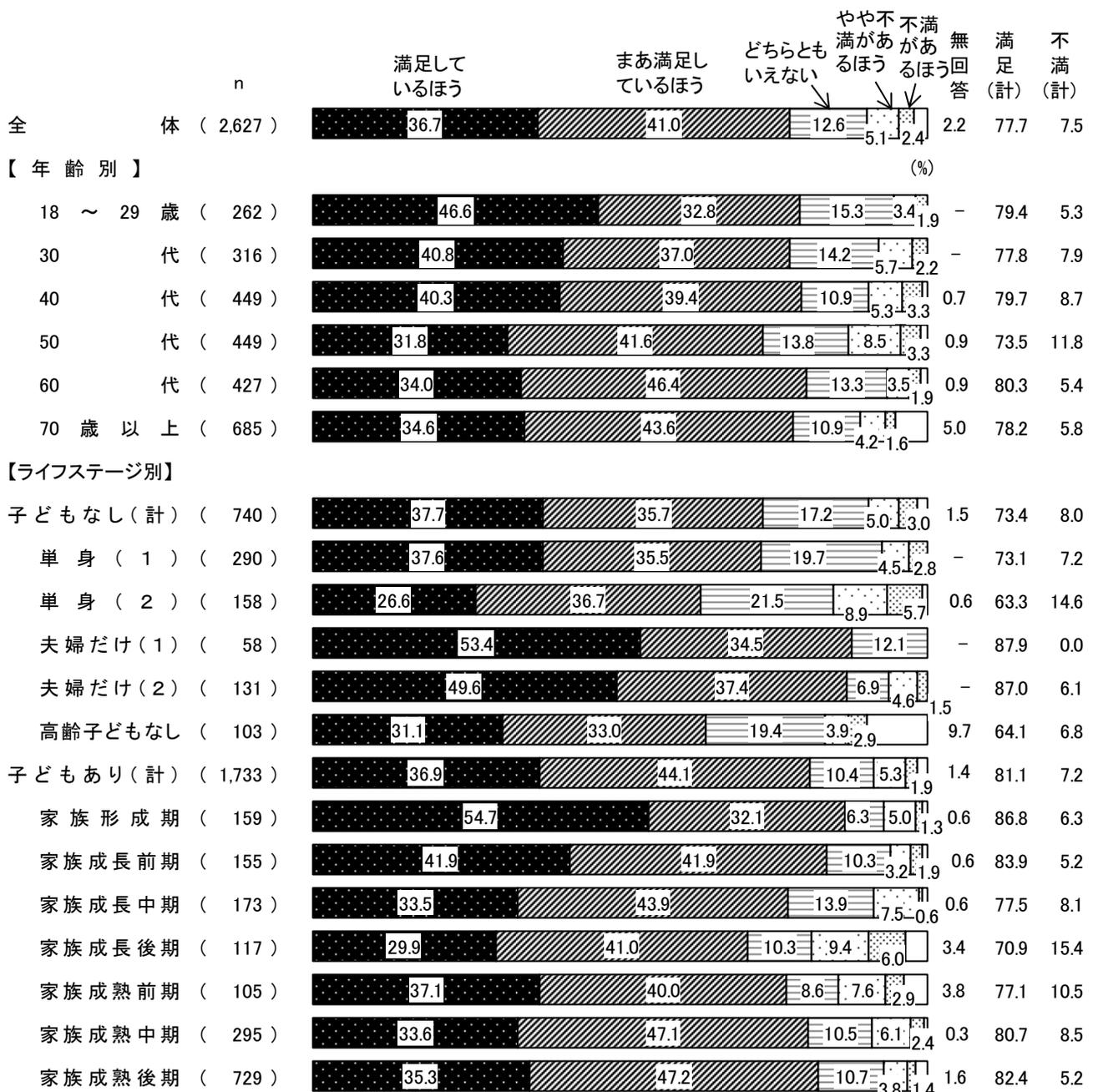
年齢別にみると、『満足（計）』は60代（80.3%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は50代（11.8%）で1割を超えている。

⑫項目別生活満足度（カ）家族との関係 [ライフステージ別]

『満足（計）』は夫婦だけ（1）（2）で8割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（87.9%）、夫婦だけ（2）（87.0%）、家族形成期（86.8%）の順で多く、単身（2）（63.3%）で6割半ばと少なくなっている。

図3-2-7 項目別生活満足度（カ）家族との関係 [年齢別、ライフステージ別]



⑬項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で6割半ば

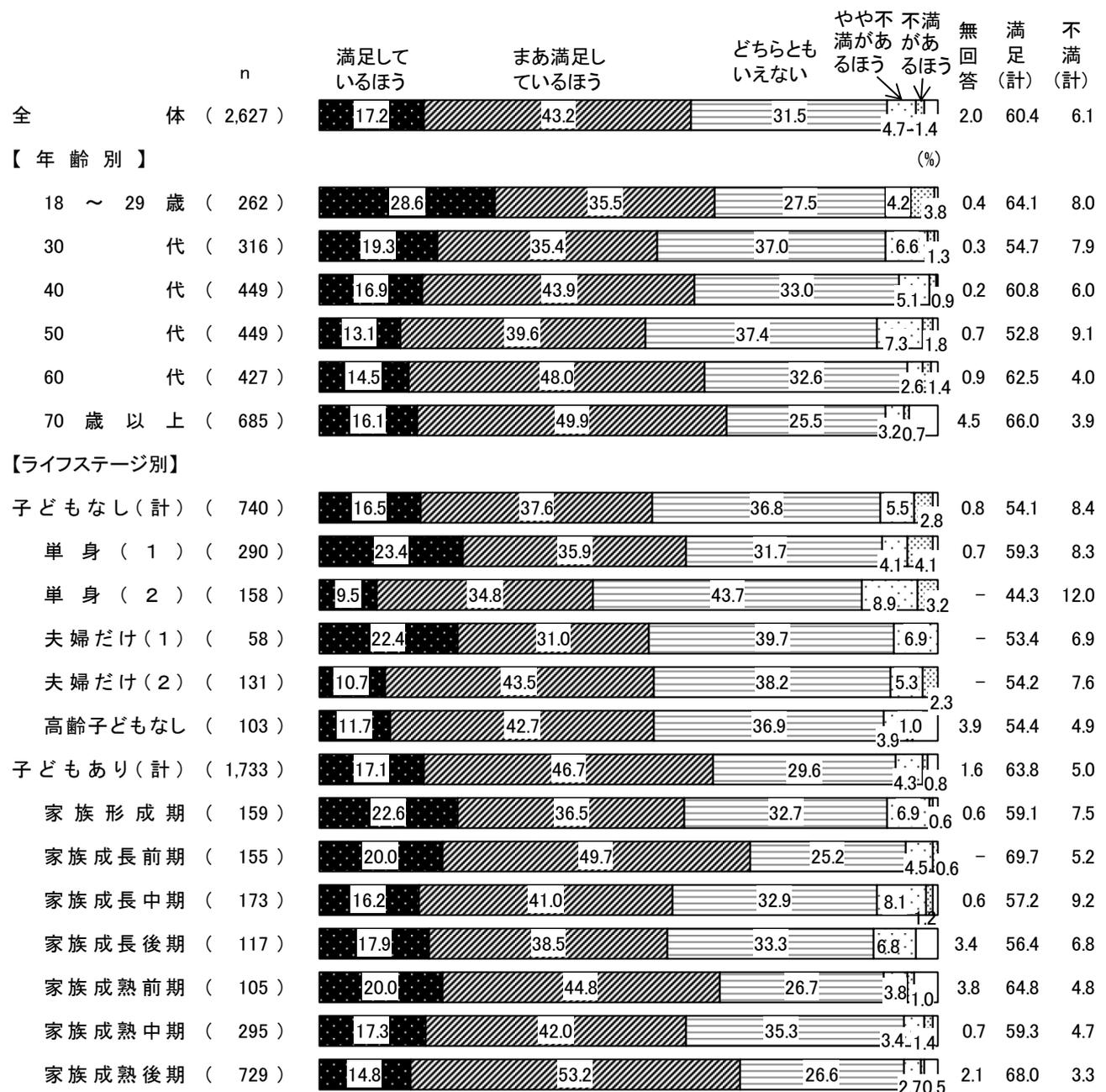
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（66.0%）で6割半ばとやや多くなっている。一方、『不満（計）』はいずれの年齢でも1割未満となっている。

⑭項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成長前期で7割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（69.7%）で7割近くと最も多い。一方、『不満（計）』は単身（2）（12.0%）で1割を超えている。

図3-2-8 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別、ライフステージ別〕



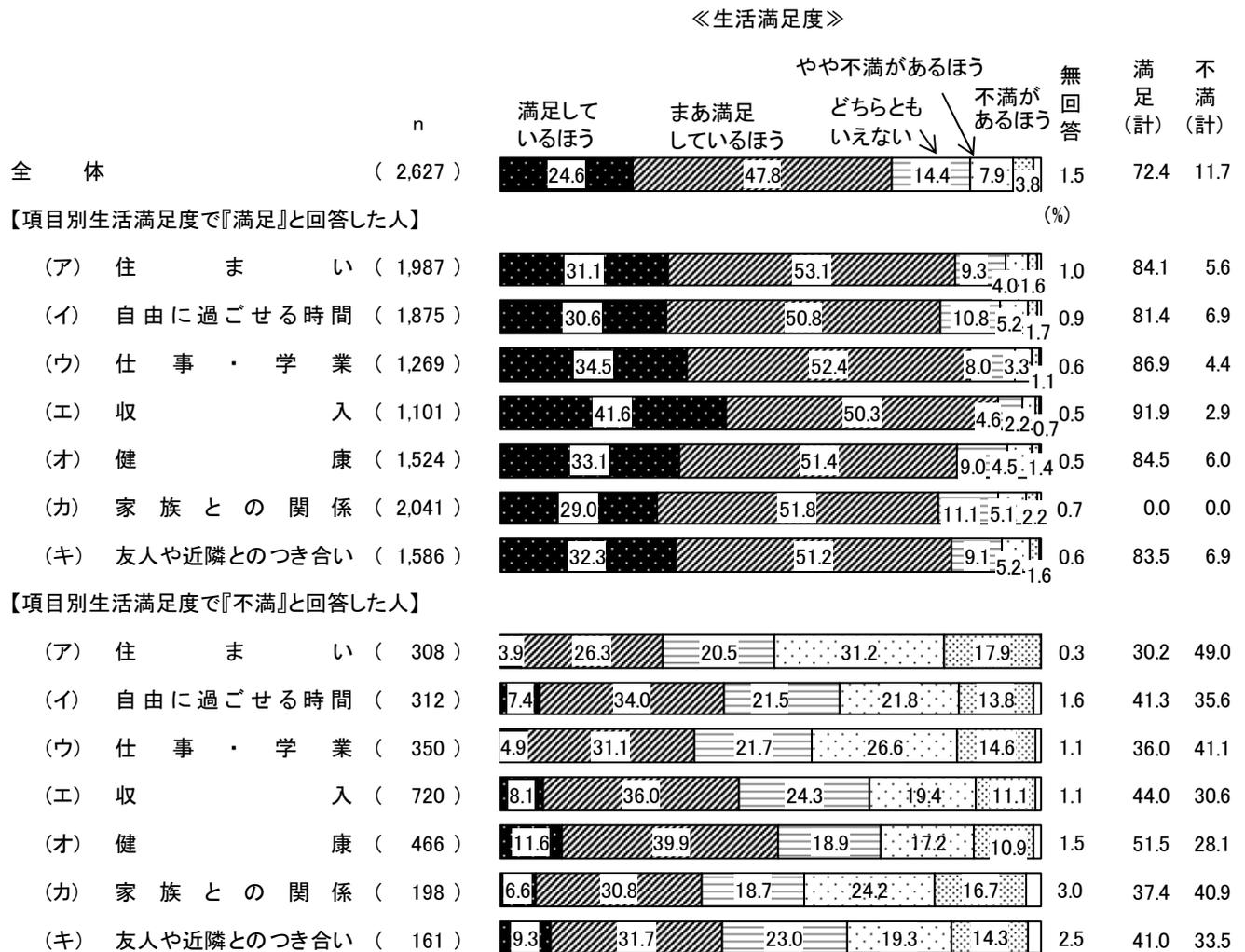
(3) 生活満足度と項目別生活満足度のまとめ

(ア)「住まい」から(キ)「友人や近隣とのつき合い」までのそれぞれの項目別生活満足度について、「満足しているほう」又は「まあ満足しているほう」（合わせて『満足』）と回答した人と、「不満があるほう」又は「やや不満があるほう」（合わせて『不満』）と回答した人に分けて、生活満足度をみてみた。

「収入」に満足と回答した人の9割以上が生活満足度に『満足』

各項目別生活満足度で『満足』と回答した人について、それぞれ生活満足度を確認したところ、7項目の中で「収入」が、生活満足度に『満足』と回答した人の割合が最も高かった（91.9%）。また、各項目別生活満足度で『不満』と回答した人について、生活満足度を確認したところ、7項目の中で「住まい」が、生活満足度に『不満』と回答した人の割合が最も高かった（49.0%）。

図3-3-1 生活満足度 [項目別生活満足度『満足』・『不満』別]



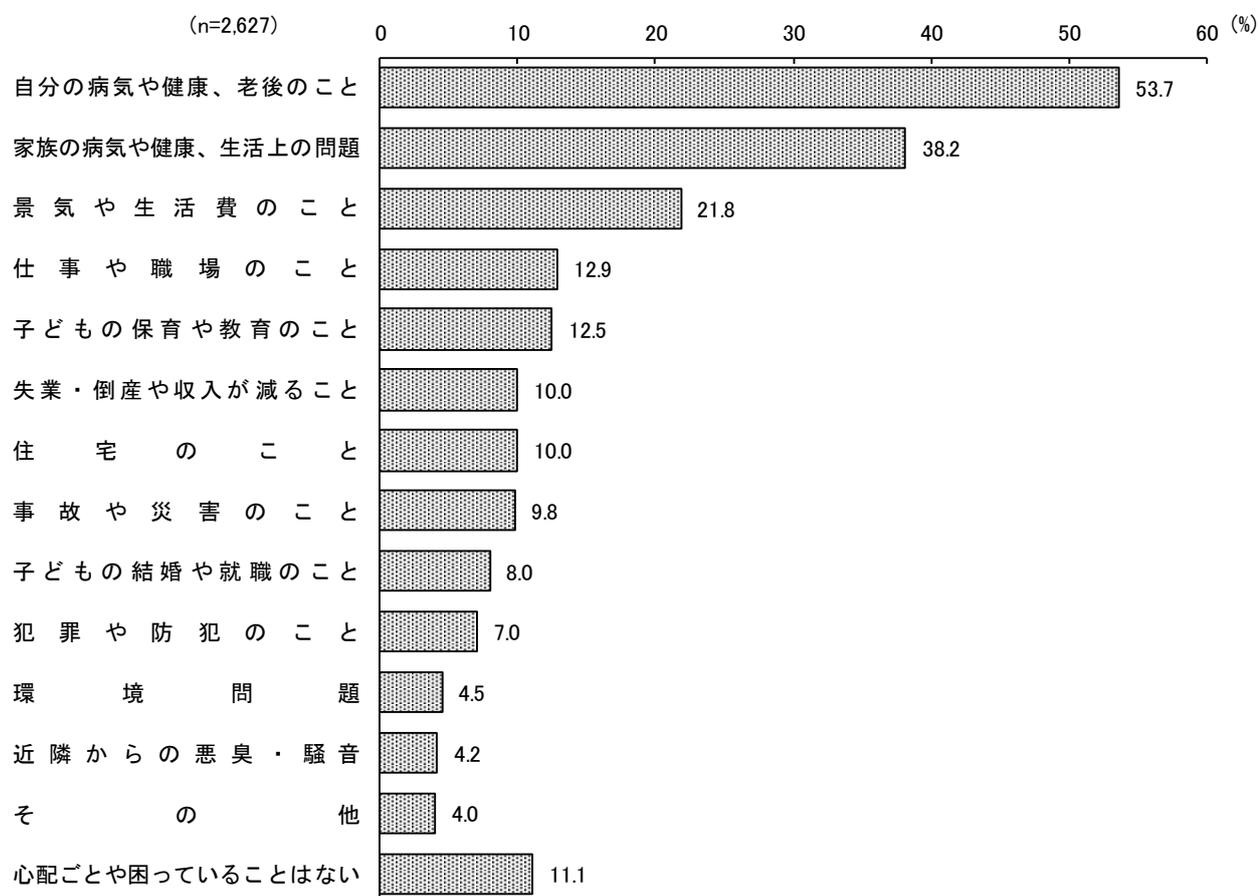
(4) 心配ごとや困っていること

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(〇は3つまで)

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割半ば

心配ごとや困っていることについては、「自分の病気や健康、老後のこと」(53.7%)が5割半ばで最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(38.2%)、「景気や生活費のこと」(21.8%)となっている。

図3-4-1 心配ごとや困っていること [全体] (3つまでの複数回答)

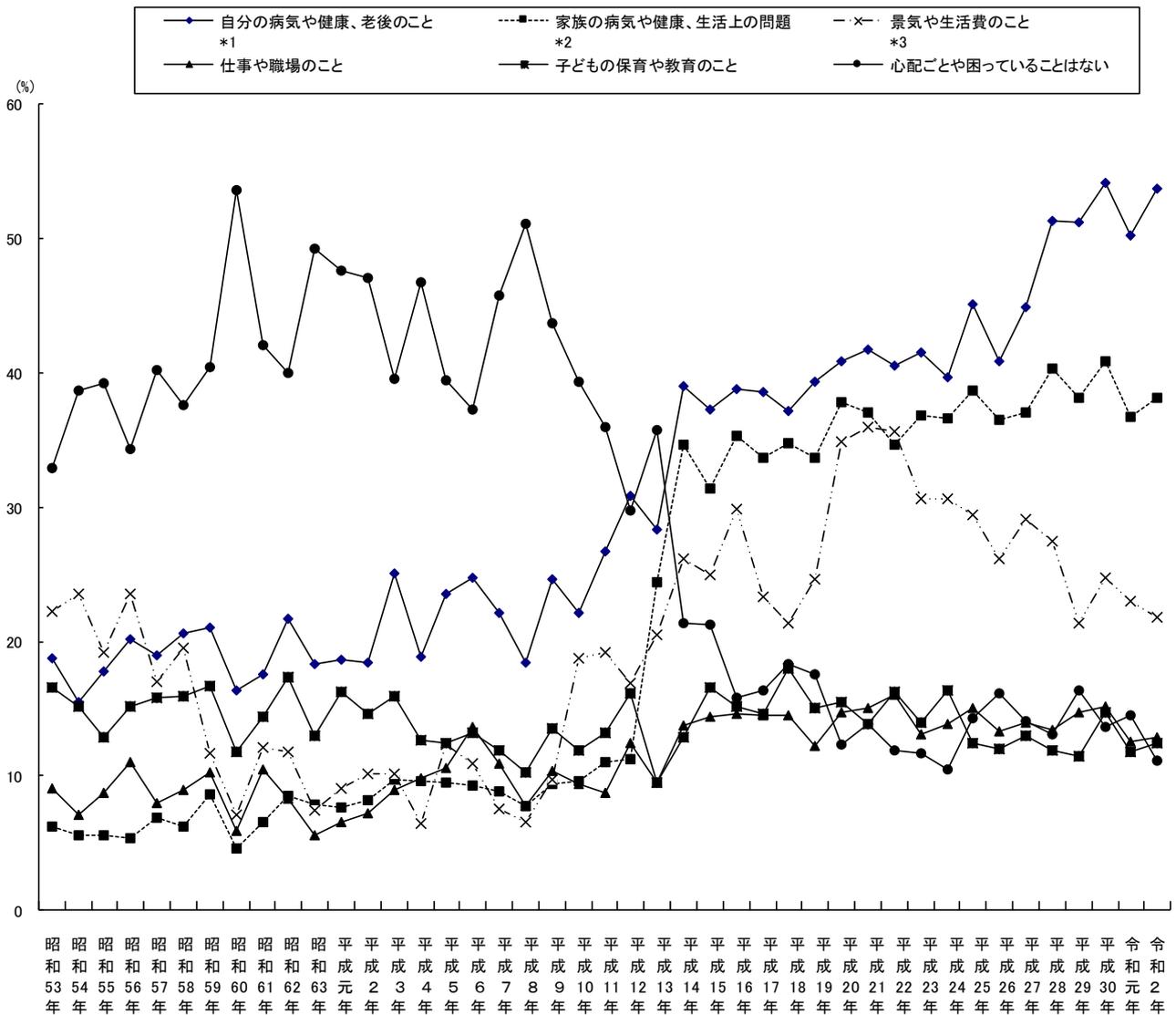


①心配ごとや困っていること [経年変化]

「自分の病気や健康、老後のこと」は増加傾向

経年変化をみると、「自分の病気や健康、老後のこと」は、この20年ほど増加傾向にある。「心配ごとや困っていることはない」は、平成20（2008）年以降、おおむね10%台前半で推移している。

図3-4-2 心配ごとや困っていること [経年変化]（3つまでの複数回答、上位5項目と「心配ごとや困っていることはない」の割合）



* 1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

* 2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

* 3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

表3-4-1 心配ごとや困っていること〔経年変化〕（3つまでの複数回答）

調査時期	心配ごとや困っていること												
	自分の病気や健康、老後のこと*1	家族の病気や健康、生活上の問題*2	景気や生活費のこと*3	事故や災害のこと*4	環境問題*4	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	住宅のこと	犯罪や防犯のこと	近隣からの悪臭・騒音	子どもの結婚や就職のこと	心配ごとや困っていることはない
昭和53年	18.7	6.2	22.2		11.2	16.6	9.1	5.2	17.6	-	-	-	32.9
54年	15.5	5.6	23.5		8.7	15.2	7.1	3.0	16.5	-	-	-	38.7
55年	17.8	5.6	19.2		6.5	12.9	8.7	3.4	15.2	-	-	-	39.2
56年	20.2	5.3	23.5		8.7	15.2	11.0	2.3	19.0	-	-	-	34.3
57年	19.0	6.9	17.0		7.7	15.8	8.0	3.1	14.1	-	-	-	40.2
58年	20.6	6.2	19.5		11.0	15.9	9.0	4.0	12.4	-	-	-	37.6
59年	21.0	8.6	11.7		8.1	16.7	10.2	4.6	11.7	-	-	-	40.4
60年	16.3	4.6	7.1		4.4	11.8	5.9	2.5	6.3	-	-	-	53.6
61年	17.5	6.6	12.1		5.9	14.4	10.5	4.2	11.6	-	-	-	42.0
62年	21.7	8.5	11.8		5.8	17.3	8.3	4.7	13.7	-	-	-	40.0
63年	18.3	7.9	7.4		4.8	13.0	5.6	3.1	12.5	-	-	-	49.2
平成元年	18.6	7.6	9.1		6.3	16.2	6.5	2.2	11.6	-	-	-	47.6
2年	18.4	8.2	10.1		6.1	14.6	7.2	1.1	14.2	-	-	-	47.1
3年	25.1	9.7	10.1		8.9	15.9	9.0	2.0	12.0	-	-	-	39.5
4年	18.9	9.6	6.4		5.7	12.7	9.8	3.0	12.7	-	-	-	46.7
5年	23.5	9.5	12.3		8.7	12.4	10.6	5.3	6.0	-	-	-	39.4
6年	24.7	9.3	10.9		6.0	13.2	13.6	7.6	14.7	-	-	-	37.3
7年	22.1	8.8	7.5		6.8	11.9	10.9	4.0	9.6	-	-	-	45.8
8年	18.4	7.7	6.5		4.9	10.2	7.7	3.2	9.4	-	-	-	51.1
9年	24.6	9.4	9.7		7.6	13.5	10.4	4.6	7.8	-	-	-	43.7
10年	22.1	9.6	18.8		7.7	11.9	9.4	6.8	8.3	-	-	-	39.3
11年	26.7	11.0	19.2		11.5	13.2	8.7	7.2	6.9	-	-	-	36.0
12年	30.8	11.2	16.9		11.8	16.1	12.4	6.5	9.0	-	-	-	29.7
13年	28.3	24.4	20.5	11.6	12.4	9.5	9.5	12.6	6.9	-	-	-	35.7
14年	39.0	34.6	26.2	6.8	12.7	12.9	13.7	16.3	6.2	-	3.0	-	21.4
15年	37.3	31.4	25.0	9.0	9.5	16.6	14.4	12.5		-	4.7	-	21.2
16年	38.8	35.3	29.9	7.6	10.0	15.2	14.6	13.3	13.5	-	4.4	-	15.8
17年	38.6	33.7	23.3	14.9	13.4	14.6	14.5	8.5	10.7	25.6	3.7	-	16.3
18年	37.2	34.8	21.4	11.5	10.7	18.0	14.5	7.9	9.7	25.0	3.3	-	18.3
19年	39.3	33.7	24.6	11.0	14.8	15.0	12.2	8.7	9.0	24.6	3.8	-	17.6
20年	40.8	37.8	34.9	3.8	12.3	15.5	14.7	8.8	11.5	16.6	3.5	-	12.3
21年	41.7	37.0	36.0	4.6	5.3	13.8	15.0	15.1	10.1	11.4	3.5	-	13.9
22年	40.5	34.7	35.6	6.3	4.5	16.2	16.0	13.5	10.5	10.9	4.1	-	11.9
23年	41.5	36.8	30.6	16.0	11.5	14.0	13.1	10.7	10.7	7.4	3.6	-	11.7
24年	39.7	36.6	30.6	20.7	7.7	16.4	13.9	11.2	8.8	8.0	3.2	-	10.5
25年	45.1	38.7	29.4	13.0	4.8	12.4	15.0	10.0	10.1	7.9	3.9	-	14.3
26年	40.8	36.5	26.2	8.9	3.8	12.0	13.3	8.4	9.0	7.6	3.5	-	16.1
27年	44.9	37.0	29.1	10.4	4.3	13.0	14.0	8.5	10.1	8.9	4.1	-	14.1
28年	51.3	40.3	27.5	13.4	2.8	11.9	13.4	8.0	10.5	7.6	4.3	-	13.1
29年	51.2	38.1	21.4	8.6	3.7	11.4	14.7	6.5	10.9	6.7	3.3	-	16.4
30年	54.1	40.8	24.7	7.5	3.0	14.7	15.2	6.5	11.6	7.8	4.8	-	13.6
令和元年	50.2	36.7	23.0	10.9	3.5	11.8	12.5	7.4	8.7	8.7	4.1	6.8	14.5
2年	53.7	38.2	21.8	9.8	4.5	12.5	12.9	10.0	10.0	7.0	4.2	8.0	11.1

*1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

*2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

*3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

*4 平成9年までは「公害や交通事故のこと」、平成10年から平成12年までは「環境問題や事故・災害のこと」としていた。

②心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別]

上位3位までは全てのブロックで同じ順位

ブロック別にみると、上位1位から3位までは全てのブロックで同じ順位となっている。

区別にみると、西区で「景気や生活費のこと」が2位となっている。

表3-4-2 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答) (%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,827)	自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 21.8	仕事や職場のこと 12.9	子どもの保育や教育のこと 12.5
ブロック別	東部 (n=621)	自分の病気や健康、老後のこと 52.2	家族の病気や健康、生活上の問題 35.3	景気や生活費のこと 23.2	仕事や職場のこと 15.1	子どもの保育や教育のこと 12.2
	西部 (n=724)	自分の病気や健康、老後のこと 55.1	家族の病気や健康、生活上の問題 41.0	景気や生活費のこと 21.4	仕事や職場のこと 11.6	子どもの保育や教育のこと 11.2
	南部 (n=507)	自分の病気や健康、老後のこと 58.8	家族の病気や健康、生活上の問題 39.3	景気や生活費のこと 21.9	子どもの保育や教育のこと 12.2	仕事や職場のこと 12.0
	北部 (n=731)	自分の病気や健康、老後のこと 50.6	家族の病気や健康、生活上の問題 37.3	景気や生活費のこと 21.2	子どもの保育や教育のこと 14.8	仕事や職場のこと 13.1
区別	鶴見区 (n=187)	自分の病気や健康、老後のこと 47.1	家族の病気や健康、生活上の問題 34.2	景気や生活費のこと 21.9	仕事や職場のこと 14.4	住宅のこと 12.3
	神奈川区 (n=131)	自分の病気や健康、老後のこと 58.8	家族の病気や健康、生活上の問題 38.9	景気や生活費のこと 20.6	仕事や職場のこと 18.3	子どもの保育や教育のこと 14.5
	西区 (n=72)	自分の病気や健康、老後のこと 47.2	景気や生活費のこと 36.1	家族の病気や健康、生活上の問題 31.9	子どもの保育や教育のこと 16.7	仕事や職場のこと 15.3
	中区 (n=88)	自分の病気や健康、老後のこと 53.4	家族の病気や健康、生活上の問題 31.8	仕事や職場のこと/景気や生活費のこと	17.0	子どもの保育や教育のこと 12.5
	南区 (n=143)	自分の病気や健康、老後のこと 54.5	家族の病気や健康、生活上の問題 37.1	景気や生活費のこと 24.5	住宅のこと 14.7	仕事や職場のこと 11.9
	港南区 (n=165)	自分の病気や健康、老後のこと 53.9	家族の病気や健康、生活上の問題 39.4	景気や生活費のこと 18.8	仕事や職場のこと 12.7	子どもの保育や教育のこと 10.3
	保土ヶ谷区 (n=136)	自分の病気や健康、老後のこと 58.8	家族の病気や健康、生活上の問題 45.6	景気や生活費のこと 18.4	仕事や職場のこと 14.0	失業・倒産や収入が減ること 11.8
	旭区 (n=193)	自分の病気や健康、老後のこと 58.0	家族の病気や健康、生活上の問題 41.5	景気や生活費のこと 25.9	失業・倒産や収入が減ること/子どもの結婚や就職のこと	10.4
	磯子区 (n=111)	自分の病気や健康、老後のこと 64.0	家族の病気や健康、生活上の問題 40.5	景気や生活費のこと 25.2	子どもの保育や教育のこと 14.4	事故や災害のこと 12.6
	金沢区 (n=150)	自分の病気や健康、老後のこと 57.3	家族の病気や健康、生活上の問題 39.3	景気や生活費のこと 22.7	事故や災害のこと 13.3	仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと 12.0
	港北区 (n=233)	自分の病気や健康、老後のこと 51.1	家族の病気や健康、生活上の問題 35.6	景気や生活費のこと 21.5	子どもの保育や教育のこと 19.3	仕事や職場のこと 14.2
	緑区 (n=150)	自分の病気や健康、老後のこと 55.3	家族の病気や健康、生活上の問題 45.3	景気や生活費のこと 23.3	仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと	12.7
	青葉区 (n=205)	自分の病気や健康、老後のこと 49.3	家族の病気や健康、生活上の問題 34.1	景気や生活費のこと 18.0	仕事や職場のこと 12.7	失業・倒産や収入が減ること/子どもの結婚や就職のこと 9.8
	都筑区 (n=143)	自分の病気や健康、老後のこと 46.9	家族の病気や健康、生活上の問題 36.4	景気や生活費のこと 23.1	子どもの保育や教育のこと 17.5	仕事や職場のこと 12.6
	戸塚区 (n=209)	自分の病気や健康、老後のこと 52.6	家族の病気や健康、生活上の問題 41.6	景気や生活費のこと 20.1	子どもの保育や教育のこと 13.9	仕事や職場のこと 11.5
	栄区 (n=81)	自分の病気や健康、老後のこと 64.2	家族の病気や健康、生活上の問題 37.0	景気や生活費のこと 22.2	住宅のこと 16.0	失業・倒産や収入が減ること 14.8
泉区 (n=114)	自分の病気や健康、老後のこと 50.0	家族の病気や健康、生活上の問題 34.2	景気や生活費のこと 22.8	仕事や職場のこと 16.7	事故や災害のこと 14.9	
瀬谷区 (n=72)	自分の病気や健康、老後のこと 55.6	家族の病気や健康、生活上の問題 40.3	子どもの保育や教育のこと 18.1	景気や生活費のこと 16.7	事故や災害のこと 12.5	

③心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別]

18～29歳で「仕事や職場のこと」が1位

年齢別にみると、18～29歳で「仕事や職場のこと」が1位となっている。それ以外の年齢では「自分の病気や健康、老後のこと」が1位となっている。

性・年齢別にみると、男女ともに18～29歳で「仕事や職場のこと」、女性30代で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-3 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体		(n=2,627)	自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 21.8	仕事や職場のこと 12.9	子どもの保育や教育のこと 12.5
年齢別	18～29歳	(n=262)	仕事や職場のこと 30.9	自分の病気や健康、老後のこと 25.6	家族の病気や健康、生活上の問題／景気や生活費のこと 25.2	失業・倒産や収入が減ること 15.3	
	30代	(n=316)	自分の病気や健康、老後のこと 39.2	家族の病気や健康、生活上の問題 33.2	子どもの保育や教育のこと 32.6	仕事や職場のこと 27.5	景気や生活費のこと 26.6
	40代	(n=449)	自分の病気や健康、老後のこと 45.7	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	子どもの保育や教育のこと 34.3	景気や生活費のこと 22.0	仕事や職場のこと 14.7
	50代	(n=449)	自分の病気や健康、老後のこと 56.6	家族の病気や健康、生活上の問題 45.0	景気や生活費のこと 21.2	子どもの結婚や就職のこと 16.9	仕事や職場のこと 14.7
	60代	(n=427)	自分の病気や健康、老後のこと 63.5	家族の病気や健康、生活上の問題 40.7	景気や生活費のこと 25.3	子どもの結婚や就職のこと 15.7	住宅のこと 11.7
	70歳以上	(n=685)	自分の病気や健康、老後のこと 68.8	家族の病気や健康、生活上の問題 38.4	景気や生活費のこと 16.5	事故や災害のこと 14.9	住宅のこと 10.2
	男性計	(n=1,134)	自分の病気や健康、老後のこと 55.5	家族の病気や健康、生活上の問題 39.0	景気や生活費のこと 25.0	仕事や職場のこと 14.5	失業・倒産や収入が減ること 11.0
女性計	18～29歳	(n=117)	仕事や職場のこと 32.5	景気や生活費のこと 29.1	家族の病気や健康、生活上の問題 26.5	自分の病気や健康、老後のこと 23.9	失業・倒産や収入が減ること 13.7
	30代	(n=122)	自分の病気や健康、老後のこと 37.7	家族の病気や健康、生活上の問題／仕事や職場のこと 32.8	景気や生活費のこと 25.4	子どもの保育や教育のこと 18.0	
	40代	(n=181)	自分の病気や健康、老後のこと 44.2	家族の病気や健康、生活上の問題 33.7	子どもの保育や教育のこと 29.8	景気や生活費のこと 26.5	仕事や職場のこと 21.0
	50代	(n=188)	自分の病気や健康、老後のこと 61.7	家族の病気や健康、生活上の問題 43.1	景気や生活費のこと 25.5	失業・倒産や収入が減ること／仕事や職場のこと 16.5	
	60代	(n=208)	自分の病気や健康、老後のこと 65.4	家族の病気や健康、生活上の問題 42.8	景気や生活費のこと 31.3	子どもの結婚や就職のこと／住宅のこと 13.0	
	70歳以上	(n=318)	自分の病気や健康、老後のこと 70.1	家族の病気や健康、生活上の問題 44.0	景気や生活費のこと 17.9	事故や災害のこと 17.0	住宅のこと 9.7
	女性計	(n=1,440)	自分の病気や健康、老後のこと 52.4	家族の病気や健康、生活上の問題 38.0	景気や生活費のこと 19.6	子どもの保育や教育のこと 15.3	仕事や職場のこと 11.9
女性計	18～29歳	(n=145)	仕事や職場のこと 29.7	自分の病気や健康、老後のこと 26.9	家族の病気や健康、生活上の問題 24.1	景気や生活費のこと 22.1	失業・倒産や収入が減ること 16.6
	30代	(n=191)	子どもの保育や教育のこと 42.4	自分の病気や健康、老後のこと 39.3	家族の病気や健康、生活上の問題 33.0	景気や生活費のこと 27.7	仕事や職場のこと 24.1
	40代	(n=267)	自分の病気や健康、老後のこと 46.4	家族の病気や健康、生活上の問題 45.3	子どもの保育や教育のこと 37.5	景気や生活費のこと 19.1	失業・倒産や収入が減ること／仕事や職場のこと 10.5
	50代	(n=258)	自分の病気や健康、老後のこと 53.1	家族の病気や健康、生活上の問題 46.5	子どもの結婚や就職のこと 20.2	景気や生活費のこと 18.2	仕事や職場のこと 13.6
	60代	(n=219)	自分の病気や健康、老後のこと 61.6	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 19.6	子どもの結婚や就職のこと 18.3	住宅のこと 10.5
	70歳以上	(n=360)	自分の病気や健康、老後のこと 67.8	家族の病気や健康、生活上の問題 34.2	景気や生活費のこと 15.6	事故や災害のこと 13.1	住宅のこと 10.6

④心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]

夫婦だけ(1)で「景気や生活費のこと」が1位

ライフステージ別にみると、夫婦だけ(1)で「景気や生活費のこと」、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」、家族成長後期で「家族の病気や健康、生活上の問題」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-4 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 21.8	仕事や職場のこと 12.9	子どもの保育や教育のこと 12.5
子どもなし計 (n=740)		自分の病気や健康、老後のこと 54.3	家族の病気や健康、生活上の問題 40.0	景気や生活費のこと 24.9	仕事や職場のこと 23.8	失業・倒産や収入が減ること 16.1
単身(1) 40歳未満 (n=290)		自分の病気や健康、老後のこと 39.0	仕事や職場のこと 36.2	家族の病気や健康、生活上の問題 31.7	景気や生活費のこと 24.8	失業・倒産や収入が減ること 15.2
単身(2) 40~64歳 (n=158)		自分の病気や健康、老後のこと 69.6	家族の病気や健康、生活上の問題 48.7	景気や生活費のこと 29.1	失業・倒産や収入が減ること 25.3	仕事や職場のこと 17.7
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=58)		景気や生活費のこと 32.8	家族の病気や健康、生活上の問題 31.0	自分の病気や健康、老後のこと 29.3	仕事や職場のこと 25.9	失業・倒産や収入が減ること 19.0
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=131)		自分の病気や健康、老後のこと 62.6	家族の病気や健康、生活上の問題 51.9	仕事や職場のこと 16.8	失業・倒産や収入が減ること／景気や生活費のこと 15.3	
高齢子どもなし (n=103)		自分の病気や健康、老後のこと 77.7	家族の病気や健康、生活上の問題 39.8	景気や生活費のこと 26.2	事故や災害のこと／住宅のこと 13.6	
子どもあり計 (n=1,733)		自分の病気や健康、老後のこと 53.5	家族の病気や健康、生活上の問題 37.9	景気や生活費のこと 20.3	子どもの保育や教育のこと 18.2	子どもの結婚や就職のこと 11.8
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=159)		子どもの保育や教育のこと 61.0	自分の病気や健康、老後のこと 27.7	景気や生活費のこと 26.4	家族の病気や健康、生活上の問題 23.3	仕事や職場のこと 17.6
家族成長前期 第一子が小学生 (n=155)		子どもの保育や教育のこと 54.2	自分の病気や健康、老後のこと 29.7	家族の病気や健康、生活上の問題 26.5	仕事や職場のこと 18.7	景気や生活費のこと 17.4
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=173)		子どもの保育や教育のこと 53.8	自分の病気や健康、老後のこと 46.2	家族の病気や健康、生活上の問題 39.9	景気や生活費のこと 21.4	仕事や職場のこと 13.3
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=117)		家族の病気や健康、生活上の問題 47.0	自分の病気や健康、老後のこと 45.3	子どもの結婚や就職のこと 25.6	子どもの保育や教育のこと 18.8	景気や生活費のこと 17.9
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=105)		自分の病気や健康、老後のこと 52.4	家族の病気や健康、生活上の問題 42.9	景気や生活費のこと 24.8	子どもの結婚や就職のこと 22.9	子どもの保育や教育のこと 12.4
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=295)		自分の病気や健康、老後のこと 59.0	家族の病気や健康、生活上の問題 41.4	景気や生活費のこと 25.8	子どもの結婚や就職のこと 20.3	住宅のこと 11.2
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=729)		自分の病気や健康、老後のこと 65.3	家族の病気や健康、生活上の問題 39.4	景気や生活費のこと 16.9	事故や災害のこと 13.6	子どもの結婚や就職のこと 10.6

⑤心配ごとや困っていること 上位5位〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（1）で「仕事や職場のこと」が1位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（1）で「仕事や職場のこと」、子と同居（1）で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。それ以外の世帯類型では「自分の病気や健康、老後のこと」が1位となっている。

表3-4-5 心配ごとや困っていること 上位5位〔世帯類型別〕（3つまでの複数回答）

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 21.8	仕事や職場のこと 12.9	子どもの保育や教育のこと 12.5
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=100)		仕事や職場のこと 44.0	自分の病気や健康、老後のこと 36.0	景気や生活費のこと 34.0	家族の病気や健康、生活上の問題 29.0	失業・倒産や収入が減ること 18.0
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=103)		自分の病気や健康、老後のこと 63.1	景気や生活費のこと 33.0	家族の病気や健康、生活上の問題 31.1	失業・倒産や収入が減ること 27.2	仕事や職場のこと 19.4
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=139)		自分の病気や健康、老後のこと 70.5	景気や生活費のこと 17.3	家族の病気や健康、生活上の問題 16.5	事故や災害のこと 15.1	犯罪や防犯のこと 14.4
夫婦のみ(1) 子なし (n=226)		自分の病気や健康、老後のこと 58.8	家族の病気や健康、生活上の問題 46.0	景気や生活費のこと 22.6	仕事や職場のこと 17.7	事故や災害のこと 12.8
夫婦のみ(2) 子あり (n=414)		自分の病気や健康、老後のこと 63.5	家族の病気や健康、生活上の問題 41.3	景気や生活費のこと 15.2	住宅のこと 10.9	事故や災害のこと 10.1
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=599)		子どもの保育や教育のこと 45.4	自分の病気や健康、老後のこと 37.2	家族の病気や健康、生活上の問題 34.9	景気や生活費のこと 21.7	仕事や職場のこと 15.0
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=370)		自分の病気や健康、老後のこと 60.3	家族の病気や健康、生活上の問題 42.4	子どもの結婚や就職のこと 24.6	景気や生活費のこと 23.5	事故や災害のこと 10.0
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=159)		自分の病気や健康、老後のこと 39.0	家族の病気や健康、生活上の問題 34.0	仕事や職場のこと 30.8	景気や生活費のこと 20.8	失業・倒産や収入が減ること 14.5
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=86)		自分の病気や健康、老後のこと 74.4	家族の病気や健康、生活上の問題 69.8	景気や生活費のこと 20.9	仕事や職場のこと 19.8	失業・倒産や収入が減ること 18.6
祖父母と親と子 3世代 (n=140)		自分の病気や健康、老後のこと 49.3	家族の病気や健康、生活上の問題 43.6	景気や生活費のこと 20.0	子どもの保育や教育のこと 16.4	仕事や職場のこと 14.3

4. 地域におけるつながり

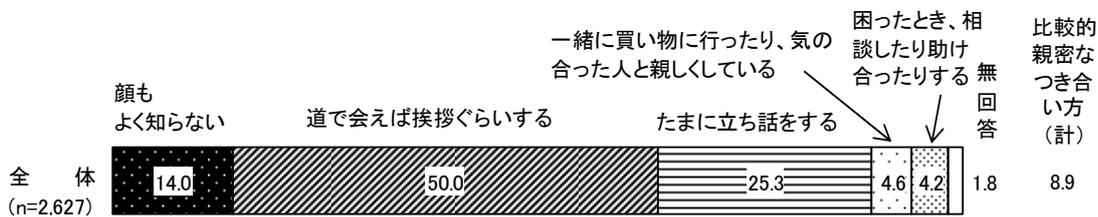
(1) 隣近所とのつき合い方

問 11 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割

隣近所とのつき合い方は、「道で会えば挨拶ぐらいする」(50.0%)が5割と最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(25.3%)となっている。「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」(4.6%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(4.2%)の2つを合わせた、『比較的親密なつき合い方』(8.9%)をしている人は1割未満である。

図 4-1-1 隣近所とのつき合い方 [全体]

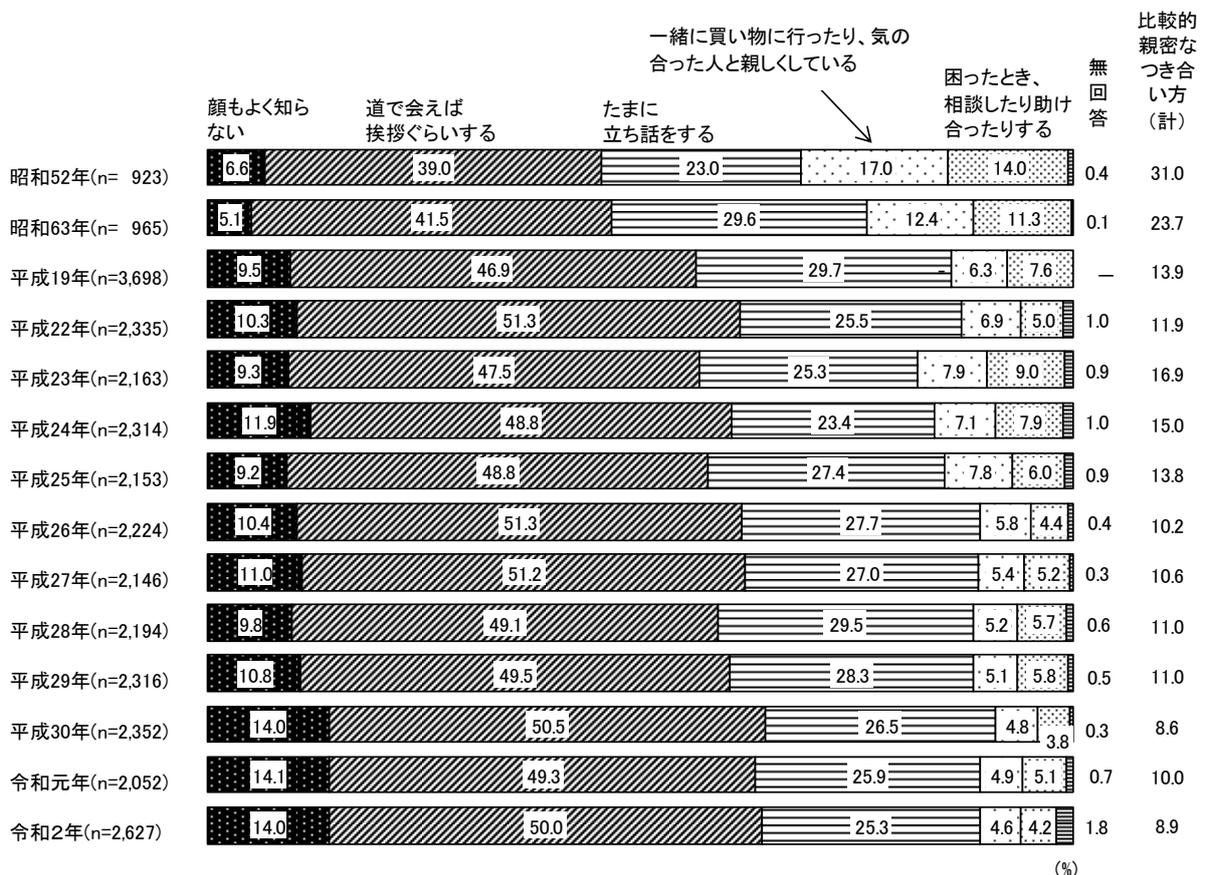


①隣近所とのつき合い方 [経年変化]

つき合い方はここ数年横ばい傾向

経年変化をみると、「顔もよく知らない」、「道で会えば挨拶ぐらいする」、「たまに立ち話をする」、『比較的親密なつき合い方』など、全体としてここ数年は横ばい傾向となっている。

図 4-1-2 隣近所とのつき合い方 [経年変化]



(%)

②隣近所とのつき合い方 [ブロック別]

東部で「顔もよく知らない」が2割を超える

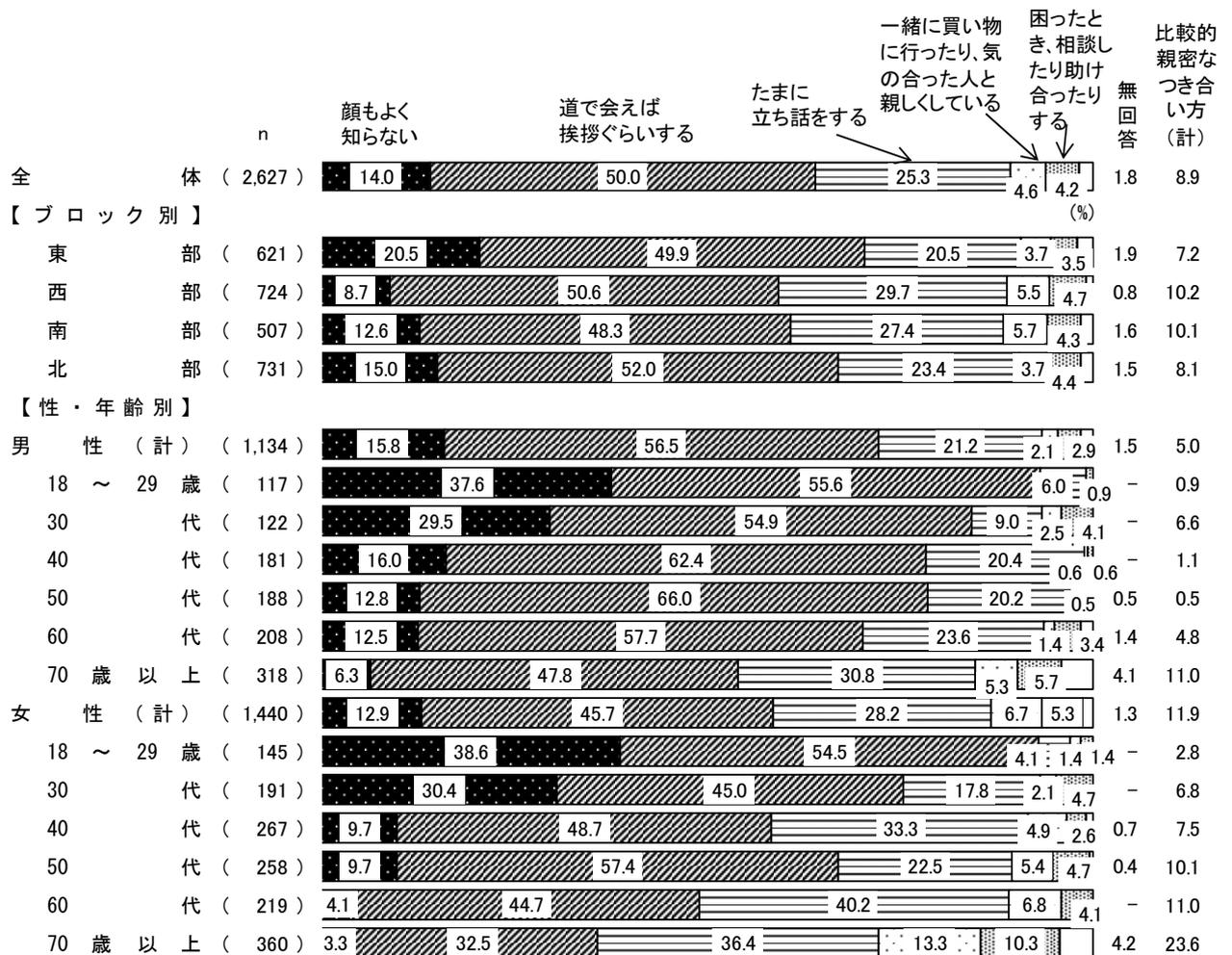
ブロック別にみると、東部で「顔もよく知らない」(20.5%)が2割を超えて最も多く、西部(8.7%)で最も少なくなっている。また、「たまに立ち話をする」は、西部(29.7%)で3割近くと最も多く、東部(20.5%)で約2割と最も少なくなっている。

③隣近所とのつき合い方 [性・年齢別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は女性70歳以上で2割半ば

性・年齢別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、女性は70歳以上(23.6%)で2割半ばと最も多く、男性は70歳以上(11.0%)で1割を超えて最も多い。一方、「顔もよく知らない」は女性18~29歳(38.6%)、男性18~29歳(37.6%)で多くなっている。

図4-1-3 隣近所とのつき合い方 [ブロック別、性・年齢別]



④隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は、家族成熟後期で1割半ば

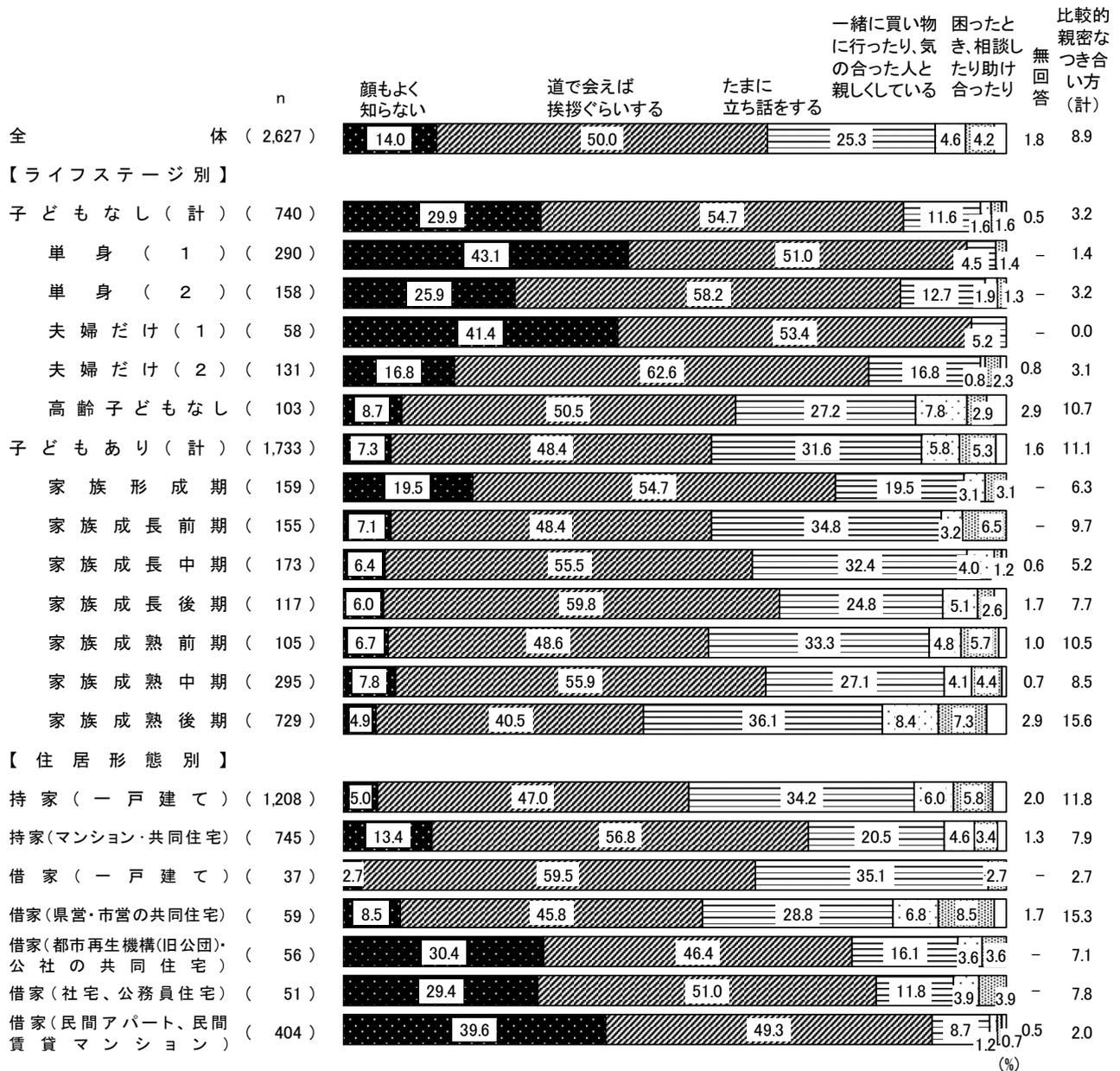
ライフステージ別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は家族成熟後期（15.6%）で1割半ばと最も多くなっている。「顔もよく知らない」は単身（1）（43.1%）、夫婦だけ（1）（41.4%）で4割台と多くなっている。

⑤隣近所とのつき合い方 [住居形態別]

「顔もよく知らない」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で4割近く

住居形態別にみると、「顔もよく知らない」は借家（民間アパート・民間賃貸マンション）（39.6%）で4割近くと最も多くなっている。

図4-1-4 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別、住居形態別]



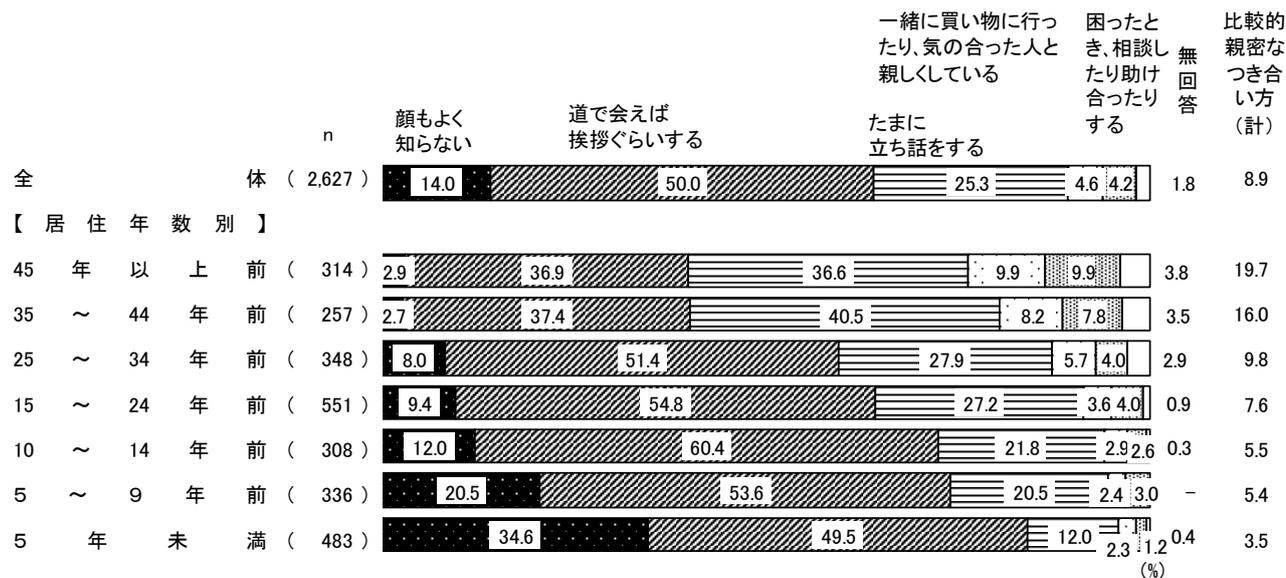
⑥隣近所とのつき合い方〔居住年数別〕

居住年数が長いほど『比較的親密なつき合い方』は多い

居住年数別にみると、『比較的親密なつき合い方』は、『45年以上前』（19.7%）で2割近くと最も多く、居住年数が長いほど多くなっている。一方、「顔もよく知らない」はおおむね居住年数が短いほど多く、「5年未満」（34.6%）で3割半ばとなっている。

図4-1-5 隣近所とのつき合い方〔居住年数別〕

（注）45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



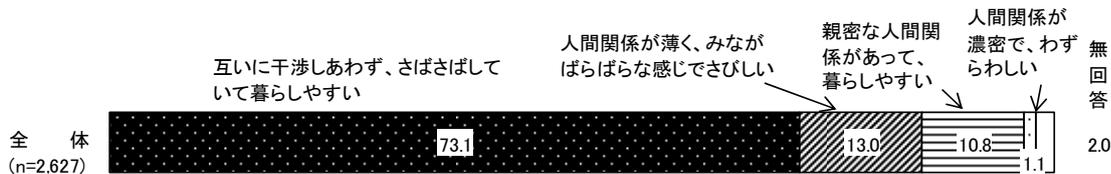
(2) 隣近所とのつき合いの感じ方

問 12 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は7割半ば

隣近所とのつき合いの感じ方については、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」(73.1%)が7割半ばと最も多く、次いで「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(13.0%)、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(10.8%)、「人間関係が濃密で、わずらわしい」(1.1%)となっている。

図 4-2-1 隣近所とのつき合いの感じ方 [全体]

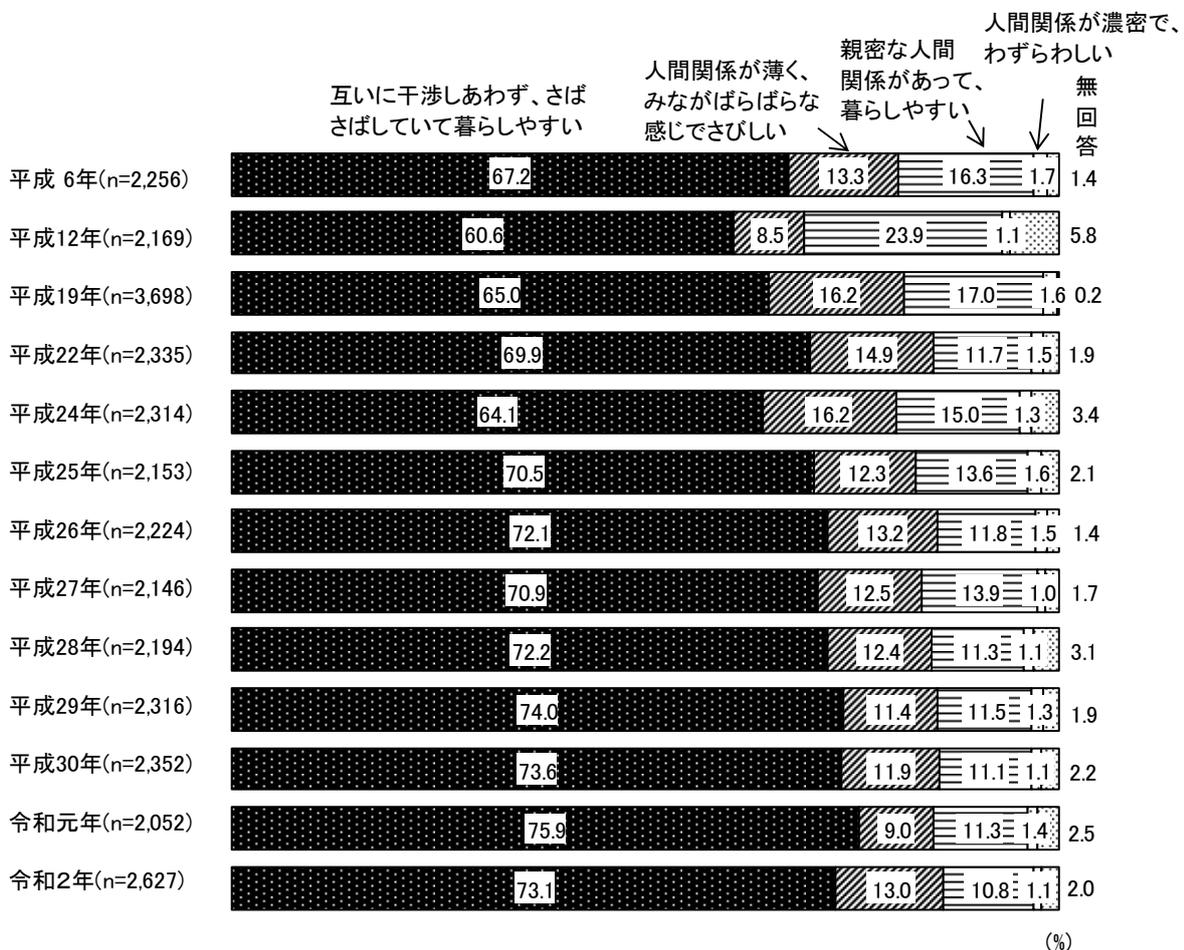


①隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は2.8ポイント減少

経年変化をみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は前回調査から2.8ポイントの減少、平成25(2013)年以降は70%台で推移している。

図 4-2-2 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]



(%)

②隣近所とのつき合いの感じ方〔ブロック別〕

ブロック別では大きな違いはみられない

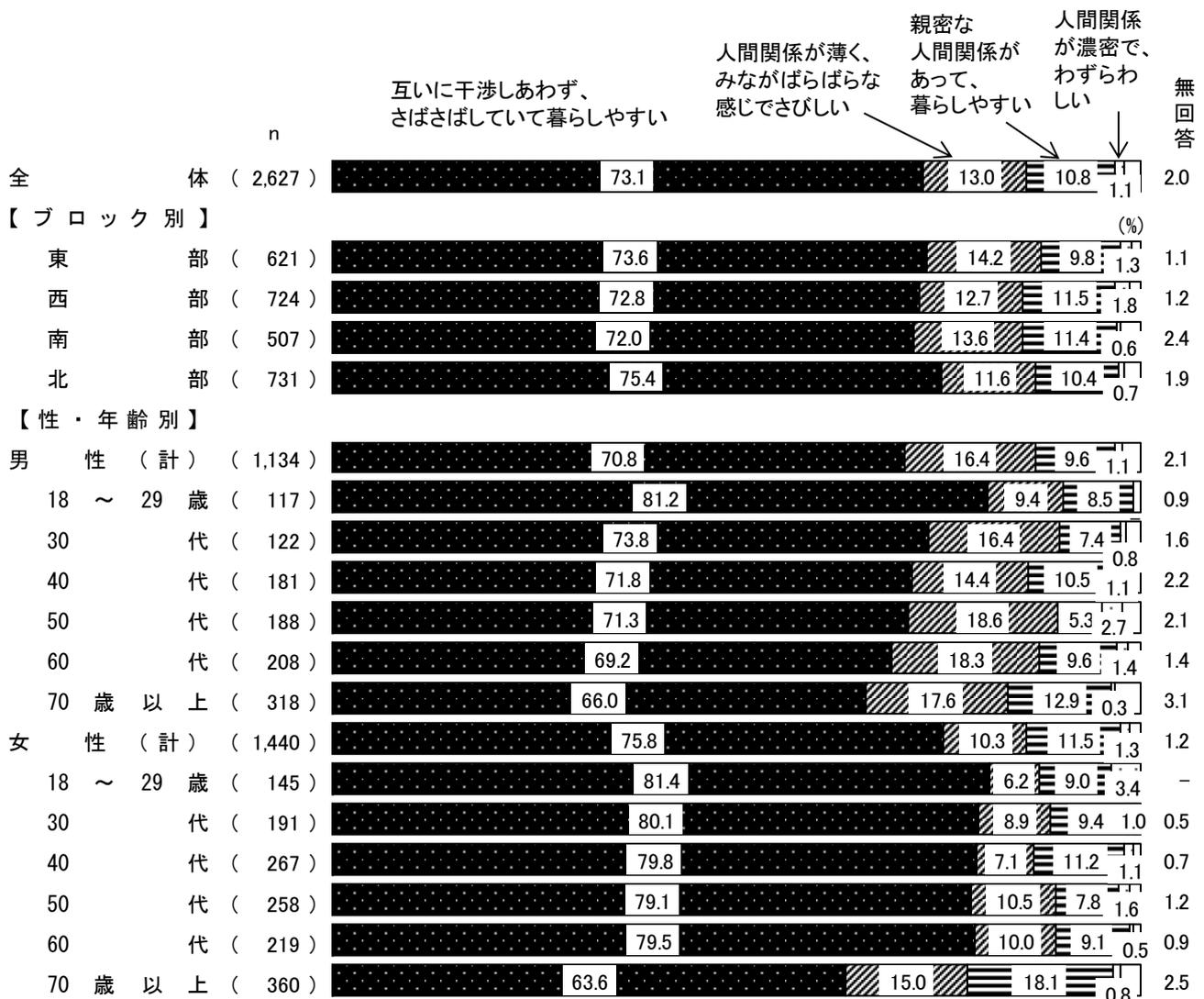
ブロック別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は全てのブロックで7割を超え、全体として大きな違いはみられない。

③隣近所とのつき合いの感じ方〔性・年齢別〕

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は女性70歳以上で6割半ば

性・年齢別にみると、女性70歳以上で、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」(63.6%)は6割半ばと最も少なく、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(18.1%)は2割近くと最も多い。

図4-2-3 隣近所とのつき合いの感じ方〔ブロック別、性・年齢別〕



④隣近所とのつき合いの感じ方〔住居形態別〕

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家（社宅、公務員住宅）などで8割を超える

住居形態別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家（社宅、公務員住宅）（82.4%）、借家（民間アパート、民間賃貸マンション）（80.4%）でそれぞれ8割を超えて多くなっている。

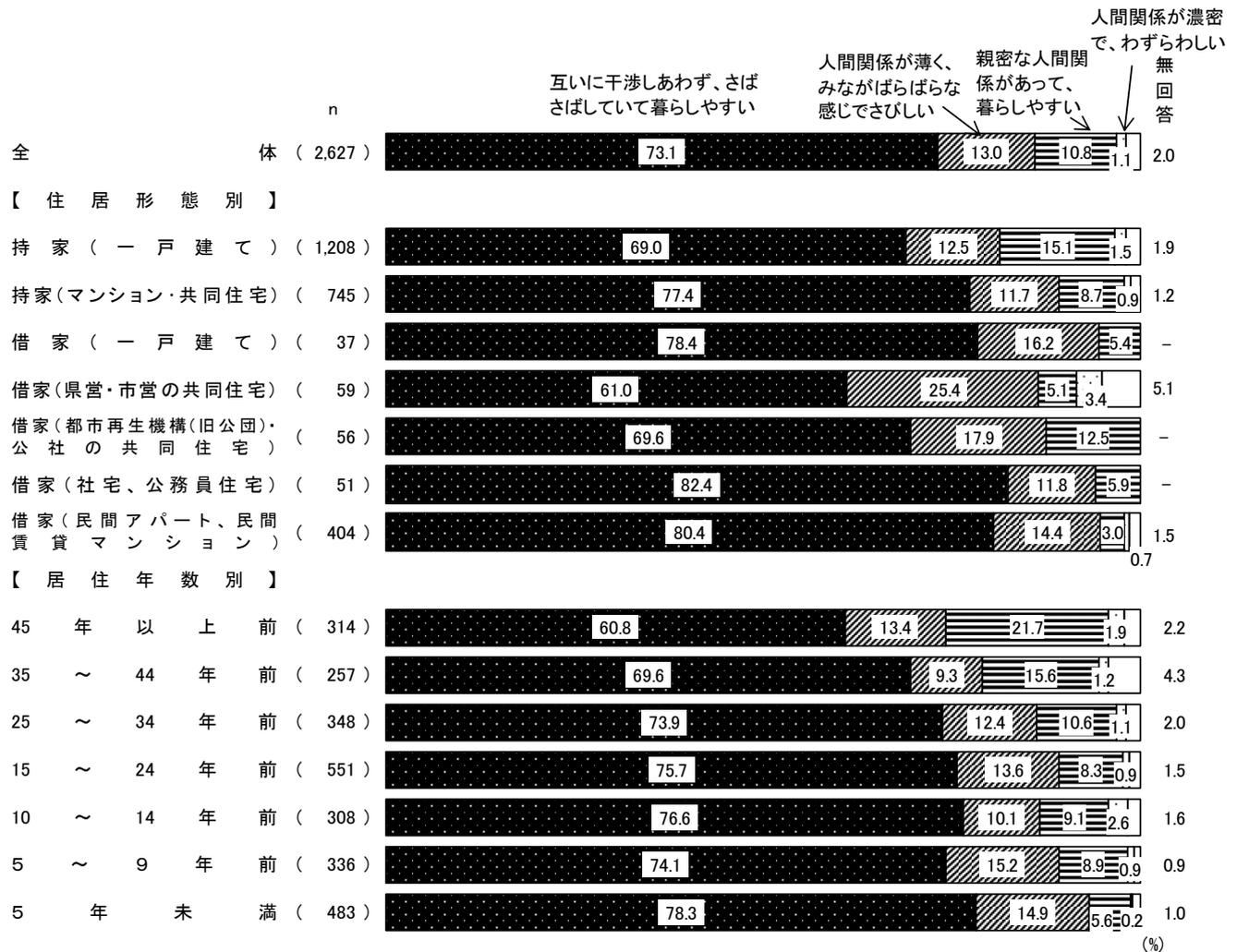
⑤隣近所とのつき合いの感じ方〔居住年数別〕

「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は『45年以上前』で2割を超える

居住年数別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は『45年以上前』（21.7%）で2割を超えて最も多い。

図4-2-4 隣近所とのつき合いの感じ方〔住居形態別、居住年数別〕

（注）45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。

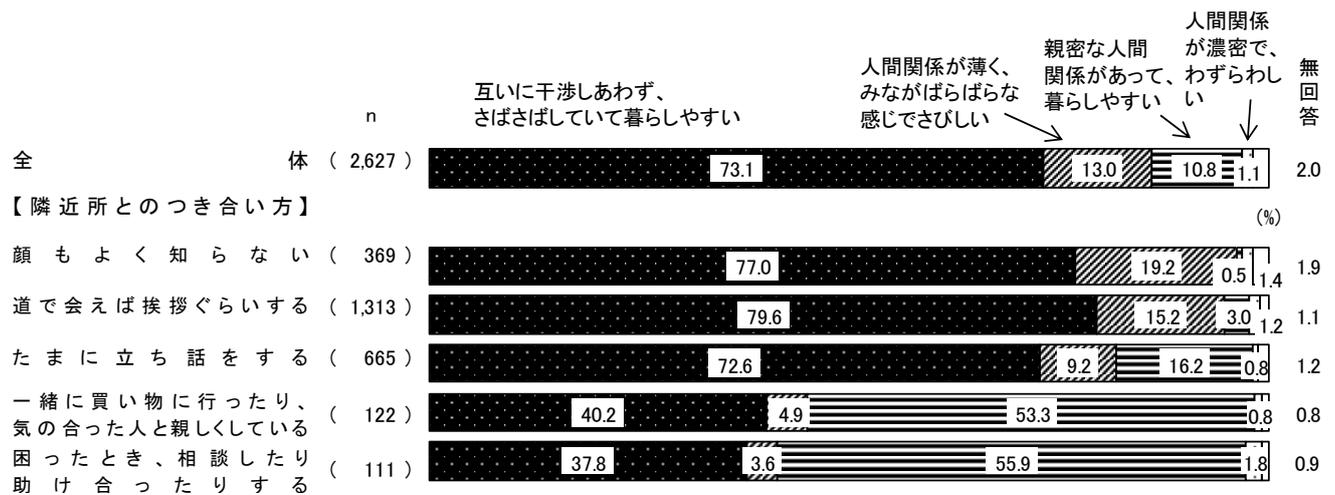


⑥隣近所とのつき合いの感じ方 [隣近所とのつき合い方別]

『困ったとき、相談したり助け合ったりする』人では「親密な人間関係があって暮らしやすい」が5割半ば

隣近所とのつき合い方別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は、『困ったとき、相談したり助け合ったりする』（55.9%）、『一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている』（53.3%）人で、それぞれ5割半ばと多くなっている。また、『顔もよく知らない』人では、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」（19.2%）が2割近くと多くなっている。

図4-2-5 隣近所とのつき合いの感じ方 [隣近所とのつき合い方別]



5. 人口減少について

(1) 人口減少の認知

問 13 全国の人口は10年以上前から減少傾向にあります。横浜市においても、近い将来、人口減少に転じることが見込まれています。このことを知っていますか。(○は1つ)

「知っている」が6割半ば

横浜市の人口減少の見通しについて、「知っている」(63.8%)が6割半ば、「知らない」(34.8%)が3割半ばとなっている。

図5-1-1 人口減少の認知 [全体]

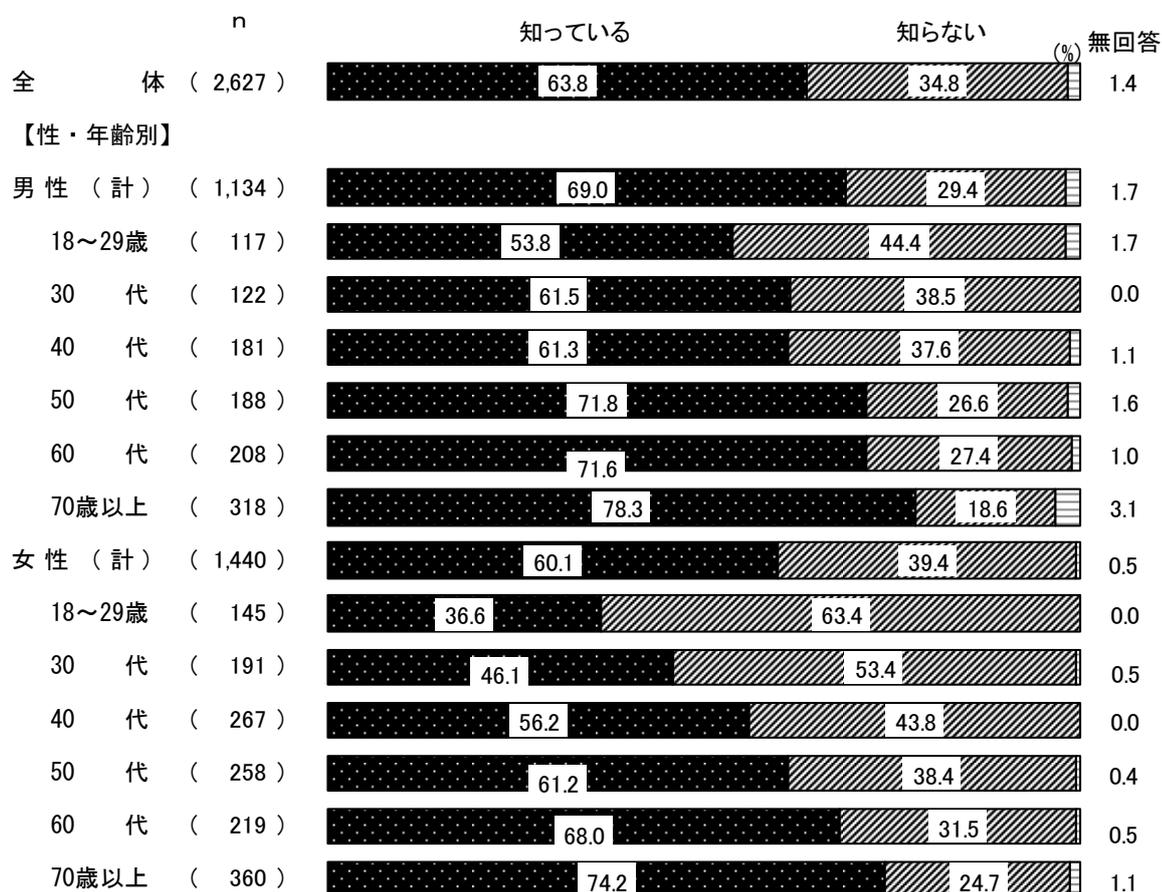


①人口減少の認知 [性・年齢別]

男性70歳以上で「知っている」が8割近く

性・年齢別にみると、男性70歳以上で「知っている」(78.3%)が8割近くと最も多く、男女ともにおおむね年齢が高いほど多くなっている。

図5-1-2 人口減少の認知 [性・年齢別]



(2) 人口減少についてのとらえ方

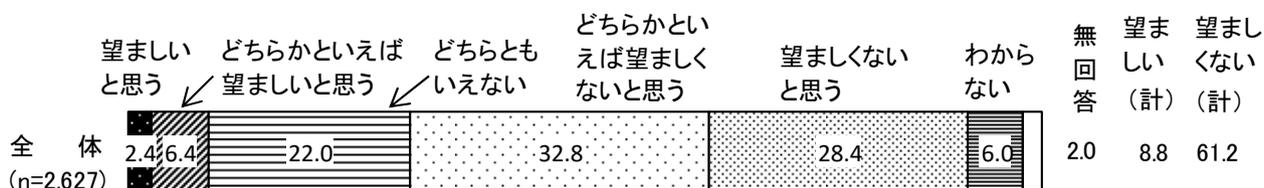
問 14 人口が減少することについて、あなたはどのように感じていますか。あなたのお考えに最も近いと思うものを選んでください。(〇は1つ)

『望ましくない(計)』が約6割

人口減少のとらえ方については、「どちらかといえば望ましくないと思う」(32.8%)が3割を超えて最も多く、次いで、「望ましくないと思う」(28.4%)が3割近くとなっている。

「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」を合わせた『望ましい(計)』(8.8%)は1割未満、「望ましくないと思う」と「どちらかといえば望ましくないと思う」を合わせた『望ましくない(計)』(61.2%)は6割を超えている。

図5-2-1 人口減少についてのとらえ方 [全体]



①人口減少についてのとらえ方 [ブロック別]

『望ましくない(計)』は6割近くから6割半ば

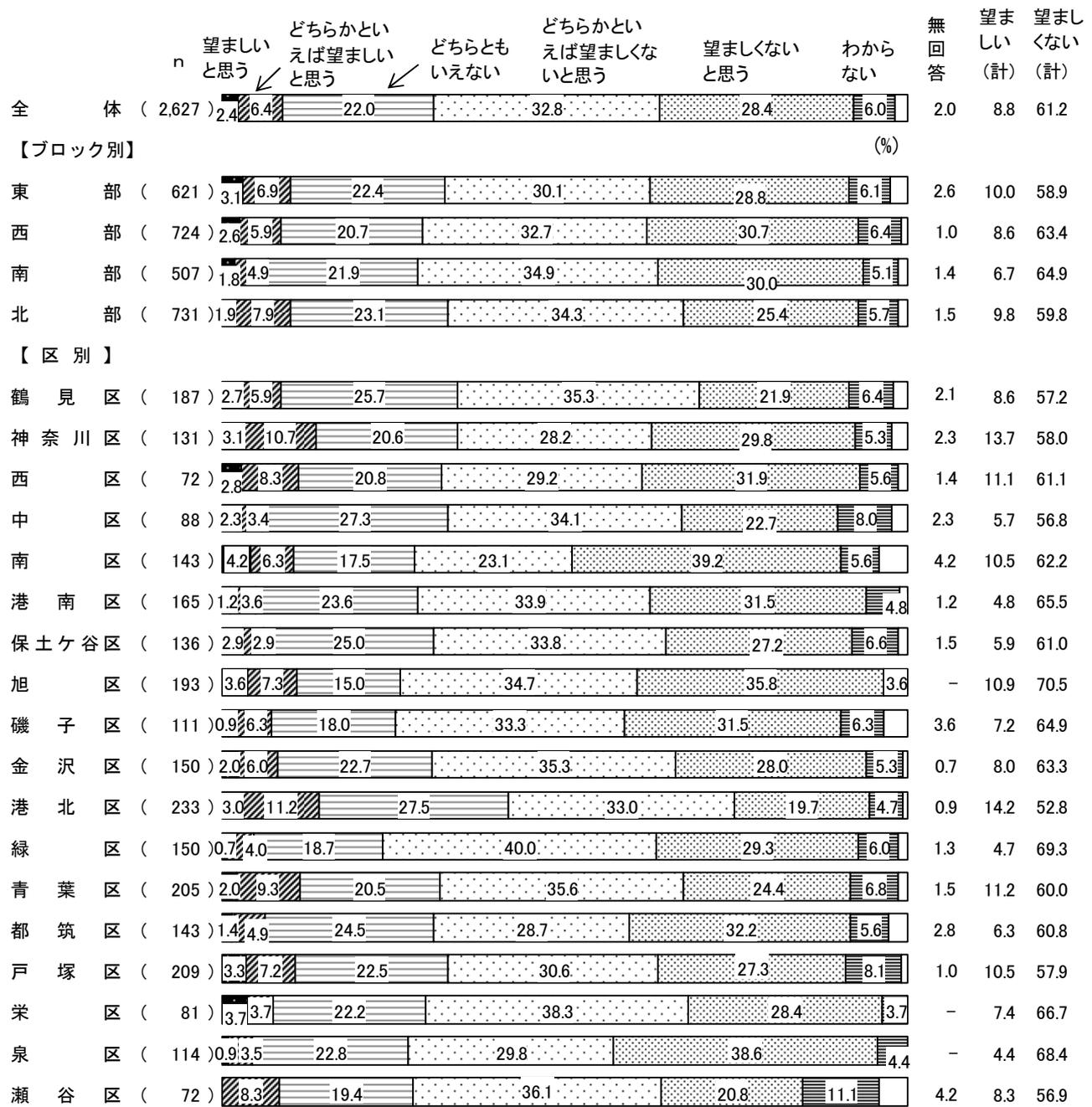
ブロック別にみると、『望ましくない(計)』は全てのブロックで6割近くから6割半ばの範囲内となっている。南部(64.9%)、西部(63.4%)で6割を超えてやや多い。

②人口減少についてのとらえ方 [区別]

『望ましくない(計)』は旭区で7割を超える

区別にみると、『望ましくない(計)』は旭区(70.5%)で7割を超えて最も多くなっている。一方、『望ましい(計)』は港北区(14.2%)で1割半ばと最も多くなっている。

図5-2-2 人口減少についてのとらえ方〔ブロック別、区別〕



③人口減少についてのとらえ方 [年齢別]

『望ましい(計)』は18~29歳、30代で1割を超える

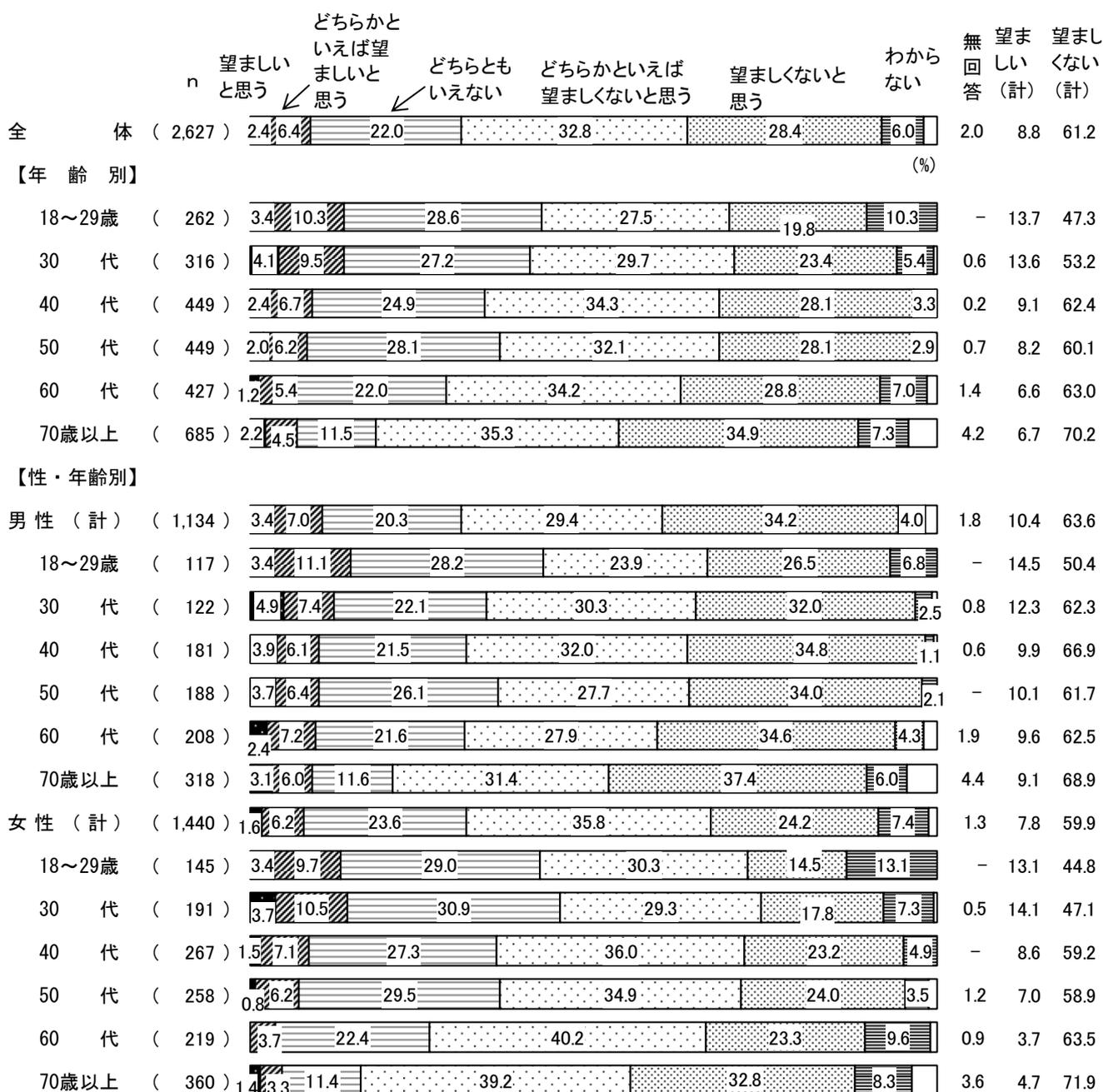
年齢別にみると、『望ましい(計)』は18~29歳(13.7%)、30代(13.6%)で1割を超えて多く、おおむね年齢が高くなるにつれて少なくなっている。

④人口減少についてのとらえ方 [性・年齢別]

『望ましくない(計)』は女性70歳以上で7割を超える

性・年齢別にみると、『望ましくない(計)』は女性70歳以上(71.9%)で7割を超えて最も多くなっている。一方、『望ましい(計)』は男性18~29歳(14.5%)、女性30代(14.1%)、女性18~29歳(13.1%)で1割半ばと多くなっている。

図5-2-3 人口減少についてのとらえ方 [年齢別、性・年齢別]



⑤人口減少についてのとらえ方〔ライフステージ別〕

『望ましくない（計）』は家族成熟後期で7割を超える

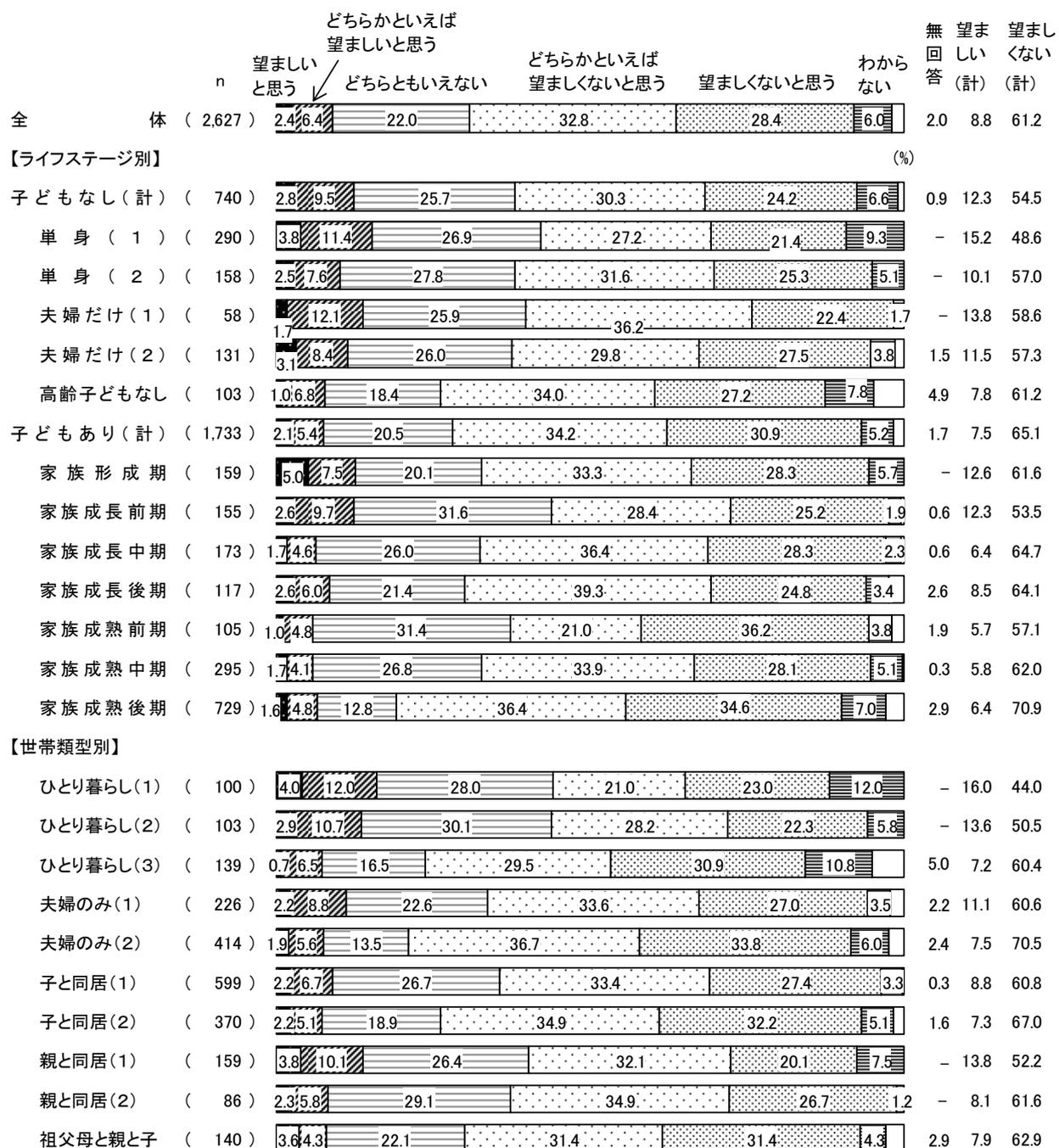
ライフステージ別にみると、『望ましくない（計）』は家族成熟後期（70.9%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『望ましい（計）』は単身（1）（15.2%）で最も多い。

⑥人口減少についてのとらえ方〔世帯類型別〕

『望ましくない（計）』は夫婦のみ（2）で7割を超える

世帯類型別にみると、『望ましくない（計）』は夫婦のみ（2）（70.5%）で7割を超えて最も多くなっている。『望ましい（計）』はひとり暮らし（1）（16.0%）で最も多くなっている。

図5-2-4 人口減少についてのとらえ方〔ライフステージ別、世帯類型別〕



(3) 人口減少が望ましいと思う理由

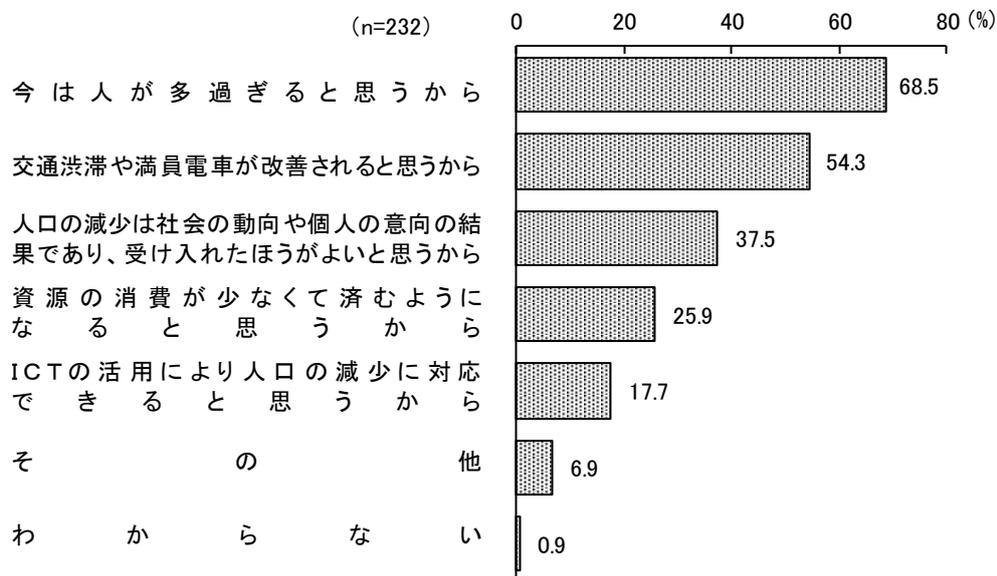
(問 14 で「1」または「2」と答えた方に)

問 14-1 人口が減少することが望ましいと思う理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「今は人が多過ぎると思うから」が7割近く

人口減少が「望ましいと思う」又は「どちらかといえば望ましいと思う」と回答した人(232人)に、人口減少が望ましいと思う理由を尋ねたところ、「今は人が多過ぎると思うから」(68.5%)が7割近くで最も多く、次いで「交通渋滞や満員電車が改善されると思うから」(54.3%)、「人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから」(37.5%)の順となっている。

図5-3-1 人口減少が望ましいと思う理由〔全体〕(複数回答)



①人口減少が望ましいと思う理由 上位5位〔年齢別〕

30代では「交通渋滞や満員電車が改善されると思うから」が1位

年齢別にみると、30代を除く全ての年齢で「今は人が多過ぎると思うから」が1位となっている。30代では「交通渋滞や満員電車が改善されると思うから」が1位となっている。

②人口減少が望ましいと思う理由 上位5位〔性・年齢別〕

男性計と女性計で上位5位までの順位は同じ

性・年齢別にみると、男性計と女性計で、1位から5位までの順位に違いはみられない。

表5-3-1 人口減少が望ましいと思う理由 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=232)	今は人が多過ぎると思うから 68.5	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 54.3	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 37.5	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 25.9	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 17.7
年齢別	18～29歳	(n=36) 今は人が多過ぎると思うから 61.1	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 55.6	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 30.6	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 22.2	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 11.1
	30代	(n=43) 交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 74.4	今は人が多過ぎると思うから 72.1	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 37.2	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 23.3	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 20.9
	40代	(n=41) 今は人が多過ぎると思うから 70.7	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 51.2	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 29.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 22.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 14.6
	50代	(n=37) 今は人が多過ぎると思うから 81.1	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 64.9	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 37.8	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 32.4	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 18.9
	60代	(n=28) 今は人が多過ぎると思うから 71.4	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 57.1	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 39.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 32.1	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 28.6
	70歳以上	(n=46) 今は人が多過ぎると思うから 58.7	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 47.8	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 28.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 26.1	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 15.2
	男性計	(n=118)	今は人が多過ぎると思うから 73.7	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 48.3	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 39.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 28.0
男性	18～29歳	(n=17) 今は人が多過ぎると思うから 76.5	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 47.1	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 47.1	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 29.4	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 23.5
	30代	(n=15) 今は人が多過ぎると思うから 73.3	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 60.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 46.7	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 26.7	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 20.0
	40代	(n=18) 今は人が多過ぎると思うから 77.8	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 50.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 16.7	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 11.1	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 11.1
	50代	(n=19) 今は人が多過ぎると思うから 84.2	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 57.9	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 47.4	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 42.1	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 21.1
	60代	(n=20) 今は人が多過ぎると思うから 70.0	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 60.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 40.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 35.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 35.0
	70歳以上	(n=29) 今は人が多過ぎると思うから 65.5	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 44.8	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 27.6	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 20.7	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 20.7
	女性計	(n=112)	今は人が多過ぎると思うから 63.4	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 60.7	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 34.8	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 23.2
女性	18～29歳	(n=19) 交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 63.2	今は人が多過ぎると思うから 47.4	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 15.8	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから -	-
	30代	(n=27) 交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 81.5	今は人が多過ぎると思うから 70.4	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 29.6	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 22.2	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 18.5
	40代	(n=23) 今は人が多過ぎると思うから 65.2	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 52.2	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 43.5	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 26.1	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 17.4
	50代	(n=18) 今は人が多過ぎると思うから 77.8	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 72.2	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 33.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 16.7	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 16.7
	60代	(n=8) 今は人が多過ぎると思うから 75.0	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 50.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 37.5	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 25.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 12.5
	70歳以上	(n=17) 人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 52.9	今は人が多過ぎると思うから 47.1	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 35.3	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 29.4	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 5.9

③人口減少が望ましいと思う理由 上位5位 [ライフステージ別]

子どもなし計と子どもあり計で上位5位までの順位は同じ

ライフステージ別にみると、子どもなし計と子どもあり計で、1位から5位までの順位に違いはみられない。

表5-3-2 人口減少が望ましいと思う理由 上位5位 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=232)		今は人が多過ぎると思うから 68.5	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 54.3	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 37.5	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 25.9	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 17.7
子どもなし計 (n=91)		今は人が多過ぎると思うから 74.7	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 59.3	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 30.8	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 22.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 14.3
単身(1) 40歳未満 (n=44)		今は人が多過ぎると思うから 72.7	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 63.6	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 31.8	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 20.5	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 18.2
単身(2) 40~64歳 (n=16)		今は人が多過ぎると思うから 81.3	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 68.8	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 25.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 18.8	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 6.3
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=8)		交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 75.0	今は人が多過ぎると思うから 62.5	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 25.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから/人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 12.5	
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=15)		今は人が多過ぎると思うから 80.0	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 40.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 33.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 26.7	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 6.7
高齢子どもなし (n=8)		今は人が多過ぎると思うから 75.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 50.0	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 37.5	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 25.0	
子どもあり計 (n=130)		今は人が多過ぎると思うから 65.4	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 53.8	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 43.8	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 30.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 20.8
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=20)		交通渋滞や満員電車が改善されると思うから/今は人が多過ぎると思うから 65.0	今は人が多過ぎると思うから 60.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 30.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 25.0	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 5.0
家族成長前期 第一子が小学生 (n=19)		今は人が多過ぎると思うから/交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 73.7	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 47.4	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 47.4	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 21.1	
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=11)		今は人が多過ぎると思うから/交通渋滞や満員電車が改善されると思うから/人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 45.5	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 27.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 27.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 27.3	
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=10)		今は人が多過ぎると思うから 70.0	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 50.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 40.0	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 40.0	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 30.0
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=6)		今は人が多過ぎると思うから/人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 83.3	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 66.7	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから/資源の消費が少なくて済むようになると思うから 66.7	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 33.3	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 33.3
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=17)		今は人が多過ぎると思うから 76.5	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 64.7	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 41.2	資源の消費が少なくて済むようになると思うから/ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 23.5	
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=47)		今は人が多過ぎると思うから 61.7	人口の減少は社会の動向や個人の意向の結果であり、受け入れたほうがよいと思うから 46.8	交通渋滞や満員電車が改善されると思うから 38.3	資源の消費が少なくて済むようになると思うから 31.9	ICTの活用により人口の減少に対応できると思うから 19.1

(4) 人口減少が望ましくないと思う理由

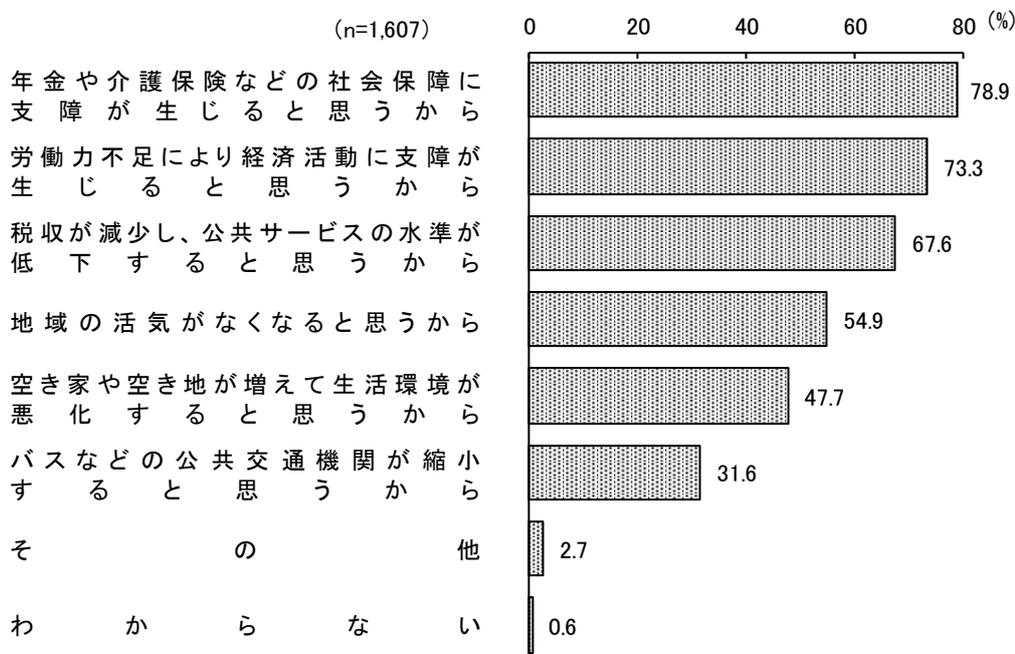
(問 14 で「4」または「5」と答えた方に)

問 14-2 人口が減少することが望ましくないと思う理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから」が8割近く

人口減少が「望ましくないと思う」又は「どちらかといえば望ましくないと思う」と回答した人(1,607人)に、人口減少が望ましくないと思う理由を尋ねたところ、「年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから」(78.9%)が8割近くで最も多く、次いで「労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから」(73.3%)、「税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから」(67.6%)の順となっている。

図5-4-1 人口減少が望ましくないと思う理由[全体] (複数回答)



①人口減少が望ましくないと思う理由 上位5位 [年齢別]

70歳以上では「労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから」が1位

年齢別にみると、70歳以上を除く全ての年齢で「年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから」が1位となっている。また、70歳以上では「労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから」が1位となっている。60代では「税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから」が2位となっている。

②人口減少が望ましくないと思う理由 上位5位 [性・年齢別]

男性18~29歳、40代などで「労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに70歳以上のほか、男性18~29歳、男性40代で「労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから」が1位となっている。それ以外の性・年齢では「年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから」が1位となっている。

表5-4-1 人口減少が望ましくないと思う理由 上位5位〔年齢別、性・年齢別〕（複数回答）

属性		順位					(%)
		1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (n=1,607)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 78.9	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.3	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 67.6	地域の活気がなくなると思うから 54.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 47.7	
年齢別	18～29歳 (n=124)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 75.8	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 66.9	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 55.6	地域の活気がなくなると思うから 41.1	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 33.1	
	30代 (n=168)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 74.4	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 70.2	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 64.3	地域の活気がなくなると思うから 44.6	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 33.9	
	40代 (n=280)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 80.0	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 69.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 67.1	地域の活気がなくなると思うから 52.5	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 46.4	
	50代 (n=270)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 85.6	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 76.3	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 71.5	地域の活気がなくなると思うから 53.7	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 46.7	
	60代 (n=269)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 82.9	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 75.1	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 72.5	地域の活気がなくなると思うから 58.7	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 54.3	
	70歳以上 (n=481)	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 76.7	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 74.8	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 66.1	地域の活気がなくなると思うから 62.4	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 54.3	
男性計 (n=721)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 77.5	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 76.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 69.5	地域の活気がなくなると思うから 55.2	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 49.1	
年齢別	18～29歳 (n=59)	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 69.5	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 67.8	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 62.7	地域の活気がなくなると思うから 49.2	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 35.6	
	30代 (n=76)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 71.1	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 68.4	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 64.5	地域の活気がなくなると思うから 42.1	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 30.3	
	40代 (n=121)	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 81.8	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 73.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 71.1	地域の活気がなくなると思うから 52.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 47.9	
	50代 (n=116)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 87.1	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 81.9	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 76.7	地域の活気がなくなると思うから 53.4	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 50.0	
	60代 (n=130)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 80.0	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 74.6	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 71.5	地域の活気がなくなると思うから 56.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 55.4	
	70歳以上 (n=219)	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 78.5	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 78.1	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 65.3	地域の活気がなくなると思うから 62.6	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 55.7	
女性計 (n=863)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 80.1	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 70.5	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 66.0	地域の活気がなくなると思うから 55.0	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 46.7	
年齢別	18～29歳 (n=65)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 83.1	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 64.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 49.2	地域の活気がなくなると思うから 33.8	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 30.8	
	30代 (n=90)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 76.7	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 71.1	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 64.4	地域の活気がなくなると思うから 46.7	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 36.7	
	40代 (n=158)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 84.8	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 63.9	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 60.8	地域の活気がなくなると思うから 52.5	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 44.9	
	50代 (n=152)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 84.2	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 72.4	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 67.1	地域の活気がなくなると思うから 53.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 44.7	
	60代 (n=139)	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 85.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 75.5	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.4	地域の活気がなくなると思うから 60.4	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 53.2	
	70歳以上 (n=259)	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 74.9	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 72.2	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 66.4	地域の活気がなくなると思うから 62.5	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 52.9	

③人口減少が望ましくないと思う理由 上位5位 [ライフステージ別]

子どもなし計と子どもあり計で上位5位までの順位は同じ

ライフステージ別にみると、子どもなし計と子どもあり計で、1位から5位までの順位に違いはみられない。また、家族成熟後期では「労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから」が1位となっている。

表5-4-2 人口減少が望ましくないと思う理由 上位5位 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1,607)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 78.9	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.3	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 67.6	地域の活気がなくなると思うから 54.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 47.7
子どもなし計 (n=403)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 77.4	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 72.0	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 65.3	地域の活気がなくなると思うから 47.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 39.0
単身(1) 40歳未満 (n=141)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 73.0	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 70.9	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 61.0	地域の活気がなくなると思うから 40.4	バスなどの公共交通機関が縮小すると思うから 31.2
単身(2) 40～64歳 (n=90)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 85.6	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.3	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 61.1	地域の活気がなくなると思うから 57.8	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 43.3
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=34)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 76.5	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.5	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 58.8	地域の活気がなくなると思うから 29.4	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 20.6
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=75)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 78.7	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 74.7	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 72.0	地域の活気がなくなると思うから 50.7	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 50.7
高齢子どもなし (n=63)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 74.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 73.0	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 71.4	地域の活気がなくなると思うから 57.1	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 50.8
子どもあり計 (n=1,128)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 80.0	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.8	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 69.5	地域の活気がなくなると思うから 58.2	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 51.0
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=98)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 78.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 68.4	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 64.3	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 53.1	地域の活気がなくなると思うから 37.8
家族成長前期 第一子が小学生 (n=83)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 74.7	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 71.1	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 67.5	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 47.0	地域の活気がなくなると思うから 43.4
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=112)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 82.1	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 73.2	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 69.6	地域の活気がなくなると思うから 54.5	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 50.0
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=75)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 89.3	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 72.0	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 69.3	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 54.7	地域の活気がなくなると思うから 50.7
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=60)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 83.3	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 80.0	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 70.0	地域の活気がなくなると思うから 56.7	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 41.7
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=183)		年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 86.3	労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 71.0	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 69.9	地域の活気がなくなると思うから 57.9	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 49.2
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=517)		労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから 77.0	年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから 76.6	税金が減少し、公共サービスの水準が低下すると思うから 69.4	地域の活気がなくなると思うから 63.6	空き家や空き地が増えて生活環境が悪化すると思うから 55.5

6. これからの生活・社会

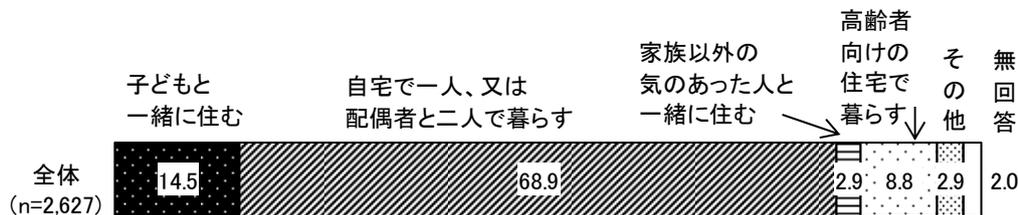
(1) 老後の暮らし方

問 15 あなたは、ご自分の老後を、誰とどのように暮らすのがよいと思いますか。現在のあなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

「自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす」が7割近く

老後の暮らし方については、「自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす」(68.9%)が7割近くと最も多く、次いで「子どもと一緒に住む」(14.5%)が1割半ばとなっている。

図6-1-1 老後の暮らし方 [全体]

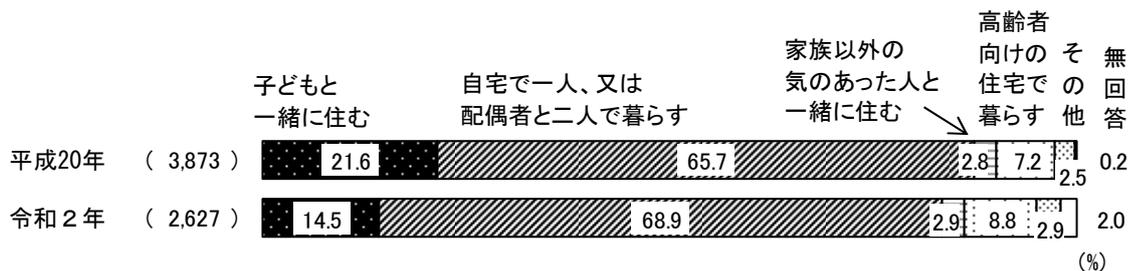


①老後の暮らし方 [経年変化]

「子どもと一緒に住む」は減少、「自分で一人、又は配偶者と二人で暮らす」は増加

平成20年調査からの変化をみると、「自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす」は3.2ポイント増加し、「子どもと一緒に住む」は7.1ポイント減少している。

図6-1-2 老後の暮らし方 [経年変化]



(注) 平成20年調査では、「自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす」は「自宅で自分(もしくは配偶者と2人)だけで暮らす」、「高齢者向けの住宅で暮らす」は「高齢者向けの住宅(生活相談などのサービスがある有料老人ホームなど)で暮らす」としていた。

②老後の暮らし方〔年齢別〕

「子どもと一緒に住む」は70歳以上で2割半ば

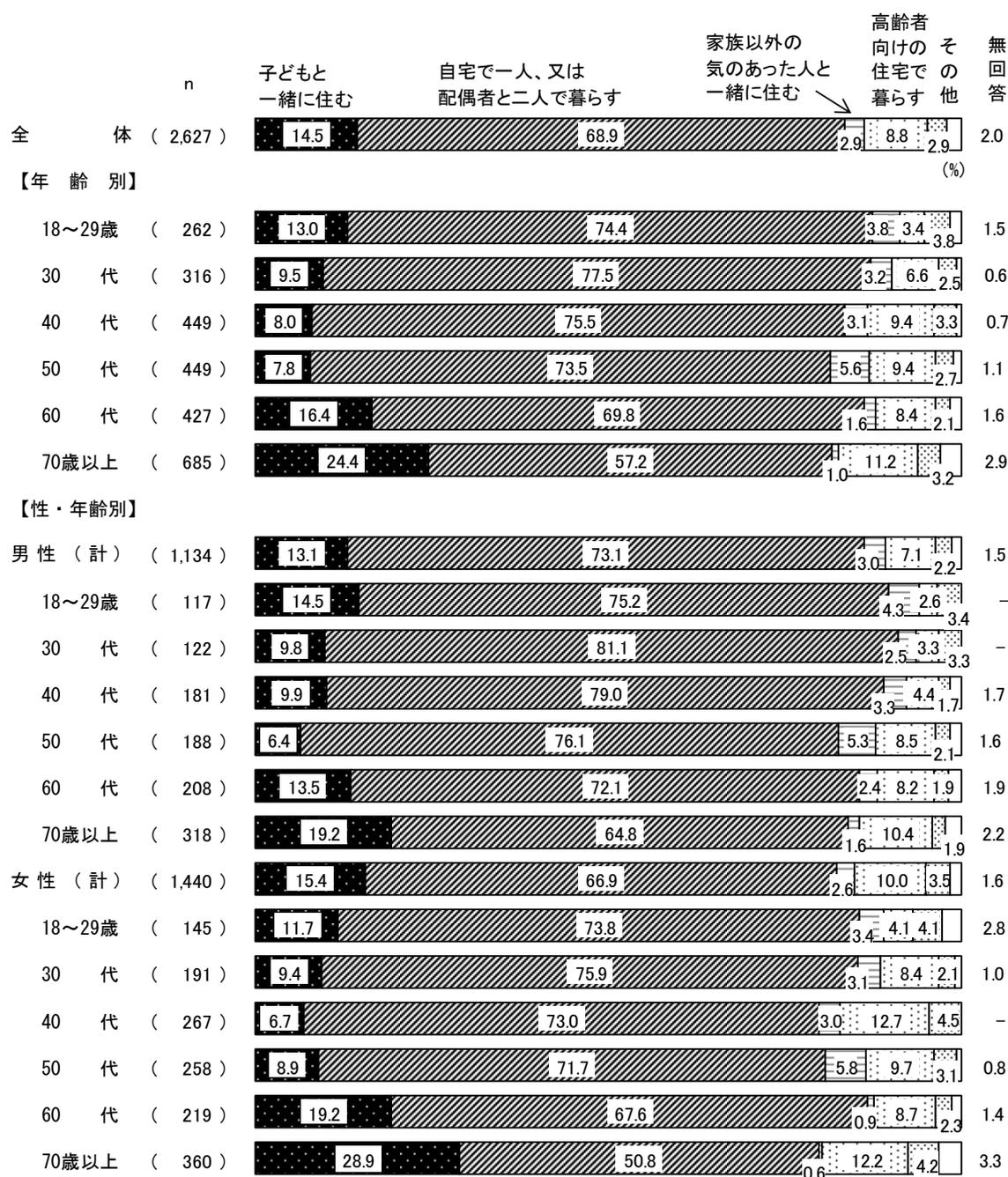
年齢別にみると、全ての年齢で「自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす」が最も多いが、70歳以上では5割半ば（57.2%）と少なく、「子どもと一緒に住む」（24.4%）が多くなっている。

③老後の暮らし方〔性・年齢別〕

「子どもと一緒に住む」は女性70歳以上で3割近く

性・年齢別にみると、女性70歳以上で「子どもと一緒に住む」（28.9%）が3割近くと最も多くなっている。また、男性30代では「自宅で一人、又は配偶者と二人で暮らす」（81.1%）が8割を超えて最も多くなっている。

図6-1-3 老後の暮らし方〔年齢別、性・年齢別〕

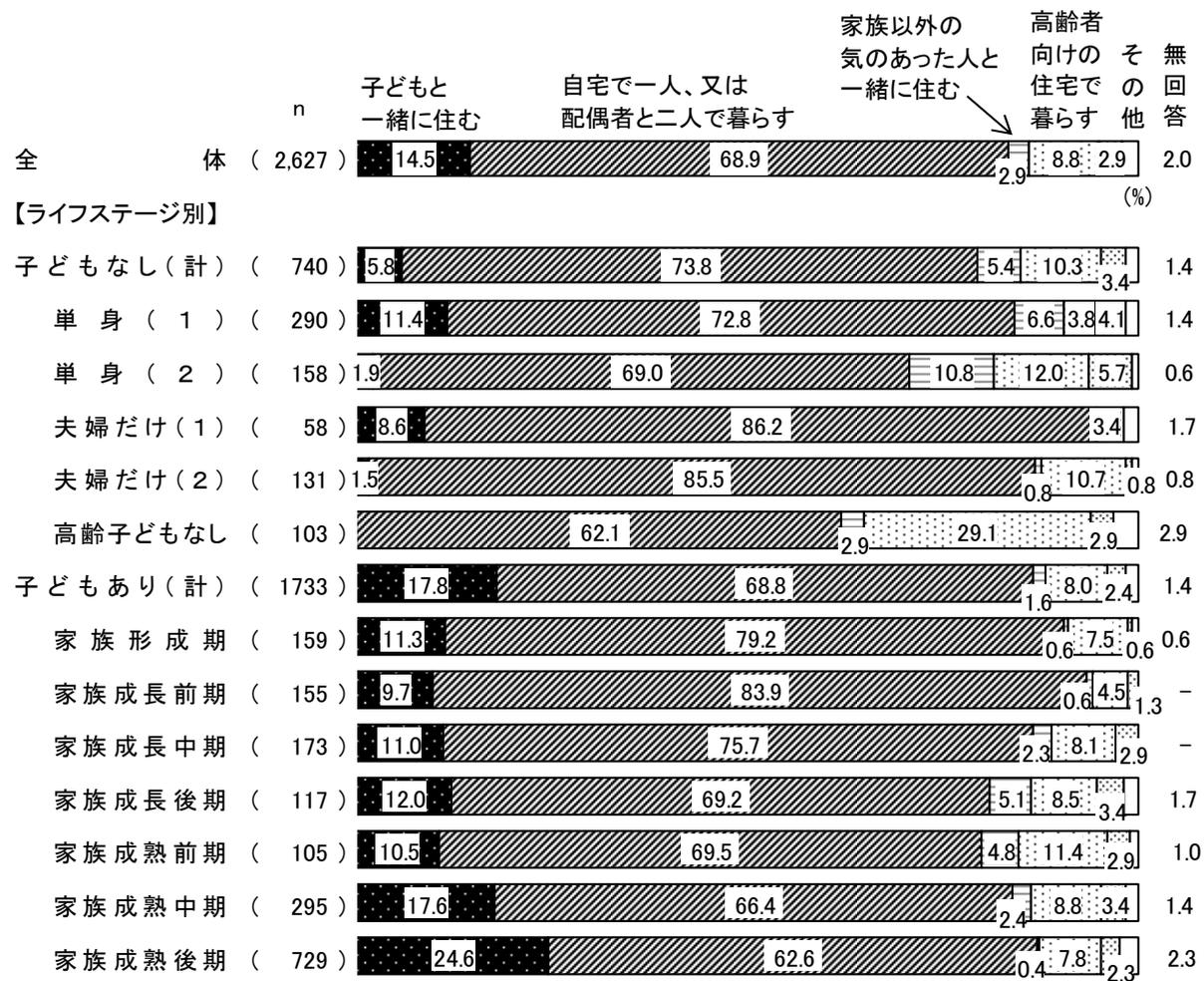


④老後の暮らし方 [ライフステージ別]

高齢子どもなしでは「家族以外の気のあった人と一緒に住む」が3割近く

ライフステージ別にみると、高齢子どもなしで「高齢者向けの住宅で暮らす」(29.1%)が3割近くと多くなっている。また、家族成熟後期で「子どもと一緒に住む」(24.6%)が2割半ばと多くなっている。

図6-1-4 老後の暮らし方 [ライフステージ別]



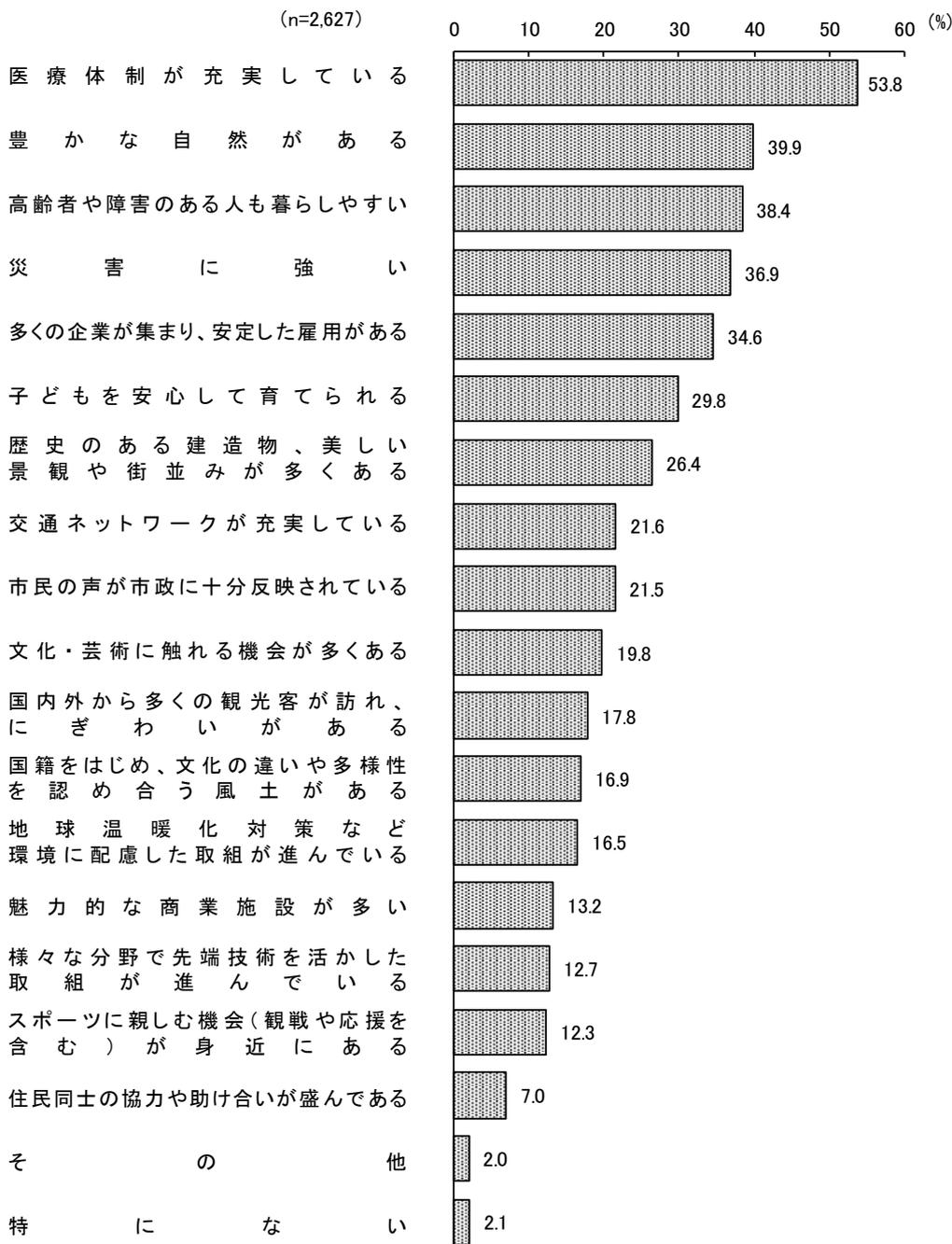
(2) 今後の横浜のまち

問 16 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

「医療体制が充実している」が5割半ば

今後そうなることよいと思う横浜のまちについては、「医療体制が充実している」(53.8%)が5割半ばと最も多く、次いで「豊かな自然がある」(39.9%)、「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」(38.4%)、「災害に強い」(36.9%)の順となっている。

図6-2-1 今後の横浜のまち [全体] (5つまでの複数回答)



①今後の横浜のまち 上位5位 [ブロック別]

東部で「災害に強い」が2位

ブロック別にみると、全てのブロックで「医療体制が充実している」が1位となっている。東部では「災害に強い」、東部以外は「豊かな自然がある」が2位となっている。

②今後の横浜のまち 上位5位 [区別]

全区で「医療体制が充実している」が1位

区別にみると、全ての区で「医療体制が充実している」が1位となっている。また、西区では「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、瀬谷区では「豊かな自然がある」がそれぞれ同率で1位となっている。

③今後の横浜のまち 上位5位 [年齢別]

18～29歳で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」が1位

年齢別にみると、18～29歳で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、30代で「子どもを安心して育てられる」がそれぞれ1位となっている。それ以外の年齢では「医療体制が充実している」が1位となっている。

④今後の横浜のまち 上位5位 [性・年齢別]

男女ともに30代で「子どもを安心して育てられる」が1位

性・年齢別にみると、男性30代、女性30代、女性18～29歳（「医療体制が充実している」と同率）で「子どもを安心して育てられる」が1位となっている。また、男性18～29歳では「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、それ以外の性・年齢では「医療体制が充実している」がそれぞれ1位となっている。

表6-2-1 今後の横浜のまち 上位5位 [ブロック別、区別] (5つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
ブロック別	東部 (n=621)	医療体制が充実している 51.4	災害に強い 38.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.5	豊かな自然がある 33.2
	西部 (n=724)	医療体制が充実している 54.0	豊かな自然がある 43.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.5	災害に強い 37.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.2
	南部 (n=507)	医療体制が充実している 57.2	豊かな自然がある 41.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.1	災害に強い 34.9
	北部 (n=731)	医療体制が充実している 53.9	豊かな自然がある 41.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.5	災害に強い 36.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.8
区別	鶴見区 (n=187)	医療体制が充実している 52.9	災害に強い 44.9	豊かな自然がある 33.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.1	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 28.3
	神奈川区 (n=131)	医療体制が充実している 57.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.9	災害に強い 36.6	子どもを安心して育てられる 32.8
	西区 (n=72)	多くの企業が集まり、安定した雇用がある／医療体制が充実している 38.9	豊かな自然がある 37.5	災害に強い 37.5	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 34.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.9
	中区 (n=88)	医療体制が充実している 51.1	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 43.2	災害に強い 38.6	豊かな自然がある 36.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.8
	南区 (n=143)	医療体制が充実している 50.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.8	災害に強い 35.0	子どもを安心して育てられる 32.2
	港南区 (n=165)	医療体制が充実している 64.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.4	豊かな自然がある 38.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.2	災害に強い 34.5
	保土ヶ谷区 (n=136)	医療体制が充実している 48.5	豊かな自然がある 44.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.0	災害に強い 38.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.8
	旭区 (n=193)	医療体制が充実している 54.9	豊かな自然がある 46.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.5	災害に強い 38.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.8
	磯子区 (n=111)	医療体制が充実している 49.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.9	災害に強い 35.1	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 33.3
	金沢区 (n=150)	医療体制が充実している 52.7	豊かな自然がある 49.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 40.7	災害に強い 35.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.3
	港北区 (n=233)	医療体制が充実している 51.9	災害に強い 43.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.6	豊かな自然がある 32.2
	緑区 (n=150)	医療体制が充実している 54.7	豊かな自然がある 40.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.0	子どもを安心して育てられる 28.7
	青葉区 (n=205)	医療体制が充実している 55.6	豊かな自然がある 50.2	災害に強い 36.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 33.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある／災害に強い 29.3
	都筑区 (n=143)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 46.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.0	災害に強い 35.0
	戸塚区 (n=209)	医療体制が充実している 52.6	豊かな自然がある 37.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.4	災害に強い 35.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.0
	栄区 (n=81)	医療体制が充実している 61.7	豊かな自然がある 49.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 39.5	子どもを安心して育てられる 38.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.0
	泉区 (n=114)	医療体制が充実している 61.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 45.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.7	豊かな自然がある 37.7	子どもを安心して育てられる 36.0
瀬谷区 (n=72)	豊かな自然がある／医療体制が充実している 54.2	災害に強い 40.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.1	子どもを安心して育てられる 34.7	子どもを安心して育てられる 34.7	

表6-2-2 今後の横浜のまち 上位5位〔年齢別、性・年齢別〕（5つまでの複数回答）

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,627)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
年齢別	18～29歳	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.8	医療体制が充実している 36.3	子どもを安心して育てられる 35.9	豊かな自然がある／災害に強い 29.4	
	30代	子どもを安心して育てられる 55.4	医療体制が充実している 46.5	豊かな自然がある 37.7	災害に強い 36.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.5
	40代	医療体制が充実している 52.3	災害に強い 44.3	子どもを安心して育てられる 39.6	豊かな自然がある 37.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.2
	50代	医療体制が充実している 58.6	災害に強い 45.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.4	豊かな自然がある 38.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.1
	60代	医療体制が充実している 65.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 52.2	豊かな自然がある 45.4	災害に強い 38.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 30.0
	70歳以上	医療体制が充実している 55.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.0	豊かな自然がある 43.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.9	災害に強い 29.6
	(うち80歳以上)	医療体制が充実している 56.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 48.2	豊かな自然がある 42.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.1	災害に強い 28.1
男性計	(n=1,134)	医療体制が充実している 51.9	豊かな自然がある 39.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 33.2	災害に強い 31.9
	18～29歳	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 41.9	豊かな自然がある 35.0	医療体制が充実している 34.2	子どもを安心して育てられる 33.3	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある 29.1
	30代	子どもを安心して育てられる 47.5	医療体制が充実している 43.4	豊かな自然がある 41.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.5	災害に強い 30.3
	40代	医療体制が充実している 44.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 40.3	災害に強い 38.1	豊かな自然がある 36.5	子どもを安心して育てられる 34.3
	50代	医療体制が充実している 54.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.8	災害に強い 38.3	豊かな自然がある 34.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 33.0
	60代	医療体制が充実している 61.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 48.1	豊かな自然がある 46.6	災害に強い 35.1	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 28.4
	70歳以上	医療体制が充実している 58.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.4	豊かな自然がある 41.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.4	災害に強い 24.5
(うち80歳以上)	医療体制が充実している 57.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 44.3	豊かな自然がある 41.2	国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある 30.9	
女性計	(n=1,440)	医療体制が充実している 56.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.2	災害に強い 41.4	豊かな自然がある 39.9	子どもを安心して育てられる 33.5
	18～29歳	医療体制が充実している／子どもを安心して育てられる 37.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.9	交通ネットワークが充実している／災害に強い 34.5		
	30代	子どもを安心して育てられる 60.7	医療体制が充実している 48.7	災害に強い 40.8	豊かな自然がある 34.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.5
	40代	医療体制が充実している 57.7	災害に強い 48.3	子どもを安心して育てられる 43.4	豊かな自然がある／高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.0	
	50代	医療体制が充実している 62.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／災害に強い 50.8	豊かな自然がある 41.5		多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.2
	60代	医療体制が充実している 68.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 56.2	豊かな自然がある 44.3	災害に強い 41.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.5
	70歳以上	医療体制が充実している 53.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 48.6	豊かな自然がある 45.6	災害に強い 34.2	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 31.4
(うち80歳以上)	医療体制が充実している 56.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 50.0	豊かな自然がある 42.7	災害に強い 37.1	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.3	

⑤今後の横浜のまち 上位5位 [ライフステージ別]

夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期で「子どもを安心して育てられる」が1位

ライフステージ別にみると、夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期で「子どもを安心して育てられる」、単身(1)で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」がそれぞれ1位となっている。

表6-2-3 今後の横浜のまち 上位5位 [ライフステージ別] (5つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)		医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
子どもなし計 (n=740)		医療体制が充実している 49.7	災害に強い 38.4	豊かな自然がある 36.5	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.0
単身(1) 40歳未満 (n=290)		多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.6	医療体制が充実している 35.9	災害に強い 31.7	豊かな自然がある 31.0	子どもを安心して育てられる 28.3
単身(2) 40~64歳 (n=158)		医療体制が充実している 56.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.7	災害に強い 40.5	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.3	豊かな自然がある 36.1
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=58)		子どもを安心して育てられる 46.6	災害に強い 44.8	医療体制が充実している 41.4	豊かな自然がある 34.5	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.8
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=131)		医療体制が充実している 61.1	災害に強い 49.6	豊かな自然がある 45.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.6
高齢子どもなし (n=103)		医療体制が充実している 68.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 59.2	豊かな自然がある 42.7	災害に強い 35.9	文化・芸術に触れる機会が多くある 28.2
子どもあり計 (n=1733)		医療体制が充実している 56.8	豊かな自然がある 41.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.4	災害に強い 37.1	子どもを安心して育てられる 35.4
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=159)		子どもを安心して育てられる 77.4	医療体制が充実している 51.6	豊かな自然がある 42.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 39.0	災害に強い 27.7
家族成長前期 第一子が小学生 (n=155)		子どもを安心して育てられる 61.9	医療体制が充実している 48.4	災害に強い 47.7	豊かな自然がある 43.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 30.3
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=173)		医療体制が充実している 60.1	子どもを安心して育てられる 48.0	災害に強い 37.0	豊かな自然がある 35.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.7
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=117)		医療体制が充実している 53.8	災害に強い 51.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 44.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.7	豊かな自然がある 36.8
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=105)		医療体制が充実している 48.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.8	災害に強い 38.1	子どもを安心して育てられる 33.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.4
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=295)		医療体制が充実している 62.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.8	災害に強い 45.8	豊かな自然がある 43.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.0
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=729)		医療体制が充実している 58.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.1	豊かな自然がある 44.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.2	災害に強い 31.0

⑥今後の横浜のまち 上位5位〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（1）で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」が1位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（1）で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、親と同居（1）で「災害に強い」がそれぞれ1位となっている。それ以外の世帯類型では「医療体制が充実している」が1位となっている。

表6-2-4 今後の横浜のまち 上位5位〔世帯類型別〕（5つまでの複数回答）

属性	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,627)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=100)	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 43.0	医療体制が充実している 36.0	豊かな自然がある 29.0	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある 26.0	国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある／災害に強い 25.0
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=103)	医療体制が充実している 52.4	災害に強い 40.8	豊かな自然がある 39.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／災害に強い 30.1
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=139)	医療体制が充実している 56.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 52.5	豊かな自然がある 39.6	災害に強い 30.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 25.2
夫婦のみ(1) 子なし (n=226)	医療体制が充実している 58.0	災害に強い 45.6	豊かな自然がある 42.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.4
夫婦のみ(2) 子あり (n=414)	医療体制が充実している 57.0	豊かな自然がある 44.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.3	災害に強い 32.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.4
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=599)	医療体制が充実している 52.4	子どもを安心して育てられる 52.1	災害に強い 39.6	豊かな自然がある 38.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.1
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=370)	医療体制が充実している 61.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 51.6	豊かな自然がある 44.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 40.5	災害に強い 39.2
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=159)	災害に強い 39.0	医療体制が充実している 37.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.3	豊かな自然がある 30.8	子どもを安心して育てられる 29.6
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=86)	医療体制が充実している 62.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 57.0	災害に強い 45.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.2	豊かな自然がある 33.7
祖父母と親と子 3世代 (n=140)	医療体制が充実している 58.6	子どもを安心して育てられる 47.1	災害に強い 45.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 43.6	豊かな自然がある 40.0

⑦今後の横浜のまち 上位5位 [職業別]

学生で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」が1位

職業別にみると、学生を除く職業で「医療体制が充実している」、学生では「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」が1位となっている。また、学生では「国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある」と「子どもを安心して育てられる」が同率で2位となっている。

表6-2-5 今後の横浜のまち 上位5位 [職業別] (5つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
職業別	全体 (n=2,627)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
	会社勤務等 (n=1,352)	医療体制が充実している 52.8	豊かな自然がある／災害に強い 39.1	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.9	
	自営業 (n=178)	医療体制が充実している 47.8	豊かな自然がある 43.8	災害に強い 39.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 30.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 29.8
	専業主婦・主夫 (n=389)	医療体制が充実している 60.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 45.2	災害に強い 42.9	豊かな自然がある 40.9	子どもを安心して育てられる 33.9
	学生 (n=75)	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 45.3	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある／子どもを安心して育てられる 37.3	豊かな自然がある／医療体制が充実している 37.3		
	無職 (n=562)	医療体制が充実している 57.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.0	豊かな自然がある 41.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.6	災害に強い 30.6

(注) 「会社勤務等」：「管理職」、「専門技術職」、「事務職」、「現業職」をまとめて「会社勤務等」としている。

⑧今後の横浜のまち 上位5位 [生活満足度別]

生活満足度にかかわらず「医療体制が充実している」が1位

生活満足度別にみると、「満足しているほう」から「不満があるほう」まで全ての生活満足度で「医療体制が充実している」が1位となっている。やや不満があるほうでは「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、不満があるほうでは「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」がそれぞれ2位となっている。

表6-2-6 今後の横浜のまち 上位5位 [生活満足度別] (5つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
生活満足度別	全体 (n=2,627)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
	満足しているほう (n=645)	医療体制が充実している 52.1	豊かな自然がある 43.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.4	災害に強い 38.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.7
	まあ満足しているほう (n=1,257)	医療体制が充実している 56.4	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.5	災害に強い 37.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.5
	どちらともいえない (n=377)	医療体制が充実している 52.0	豊かな自然がある 40.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 40.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある／災害に強い 35.3	
	やや不満があるほう (n=208)	医療体制が充実している 52.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 40.4	災害に強い 39.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.0	豊かな自然がある 35.1
	不満があるほう (n=100)	医療体制が充実している 46.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.0	災害に強い／市民の声が市政に十分反映されている 29.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 28.0	

⑨今後の横浜のまち 上位5位〔市政全体への満足度別〕

全ての市政全体への満足度で「医療体制が充実している」が1位

市政全体への満足度別にみると、「満足しているほう」から「不満があるほう」まで全ての満足度で「医療体制が充実している」が1位となっている。満足しているほうでは「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、不満があるほうでは「市民の声が市政に十分反映されている」がそれぞれ2位となっている。

表6-2-7 今後の横浜のまち 上位5位〔市政全体への満足度別〕（5つまでの複数回答）

(%)

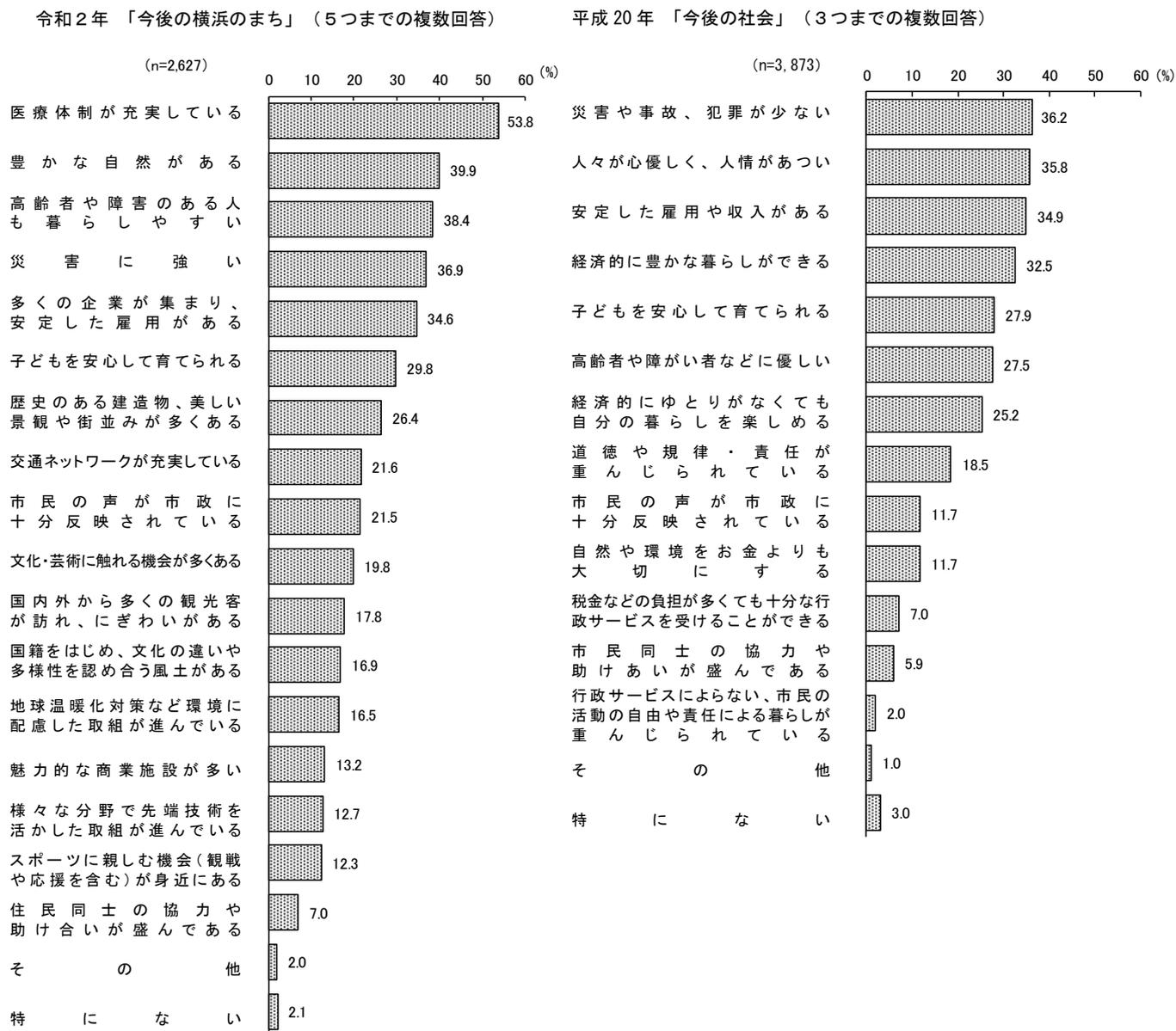
属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,627)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.4	災害に強い 36.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.6
市政全体への満足度別	満足しているほう (n=177)	医療体制が充実している 52.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 44.1	豊かな自然がある 42.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／災害に強い 33.9	
	まあ満足しているほう (n=885)	医療体制が充実している 54.0	豊かな自然がある 41.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.3	災害に強い 36.2
	どちらともいえない (n=898)	医療体制が充実している 53.7	豊かな自然がある 41.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.0	災害に強い 38.5	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.6
	やや不満があるほう (n=291)	医療体制が充実している 60.1	豊かな自然がある 38.1	災害に強い 36.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.4	市民の声が市政に十分反映されている 33.0
	不満があるほう (n=166)	医療体制が充実している 59.6	市民の声が市政に十分反映されている 44.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.8	子どもを安心して育てられる 38.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.9

⑩今後の横浜のまち [経年変化 (参考)]

過年度の類似の調査として、平成 20 年調査の「今後の社会」の結果を参考までに掲載する。

平成 20 年調査では、設問を「今後の社会について、あなたはどのような社会になるとよいと思いますか。最も優先したいものを 3 つまでお選びください。」としており、今回調査とは設問、回答の選択肢等が異なる。

図 6-2-2 今後の横浜のまち [経年変化 (参考)] (複数回答)



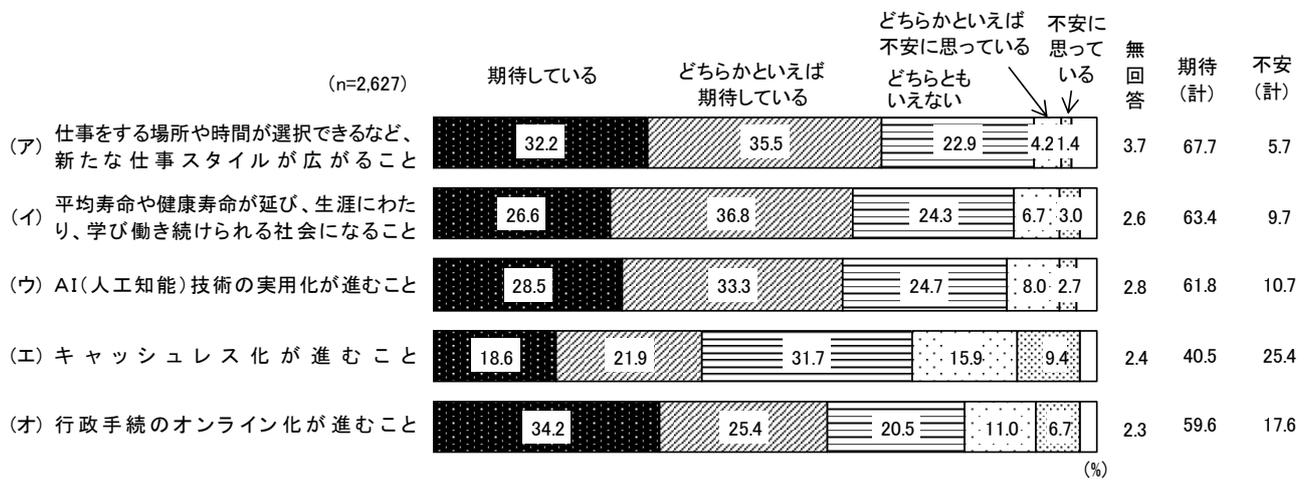
(3) 環境の変化への期待・不安

問17 私たちの生活を取り巻く環境は、今後、様々に変化していくと言われていますが、あなたは次の変化について、期待をしていますか。それとも、不安に思っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

『期待(計)』は「新たな仕事スタイル」で6割半ば

(ア)の「新たな仕事スタイル」から(オ)の「行政手続のオンライン化」までをみると、「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合わせた『期待(計)』は、5項目の中で、「新たな仕事スタイル」(67.7%)で6割半ばと最も多くなっている。一方、「不安に思っている」と「どちらかといえば不安に思っている」を合わせた『不安(計)』は、「キャッシュレス化」(25.4%)で2割半ばと最も多くなっている。

図6-3-1 環境の変化への期待・不安 [全体]



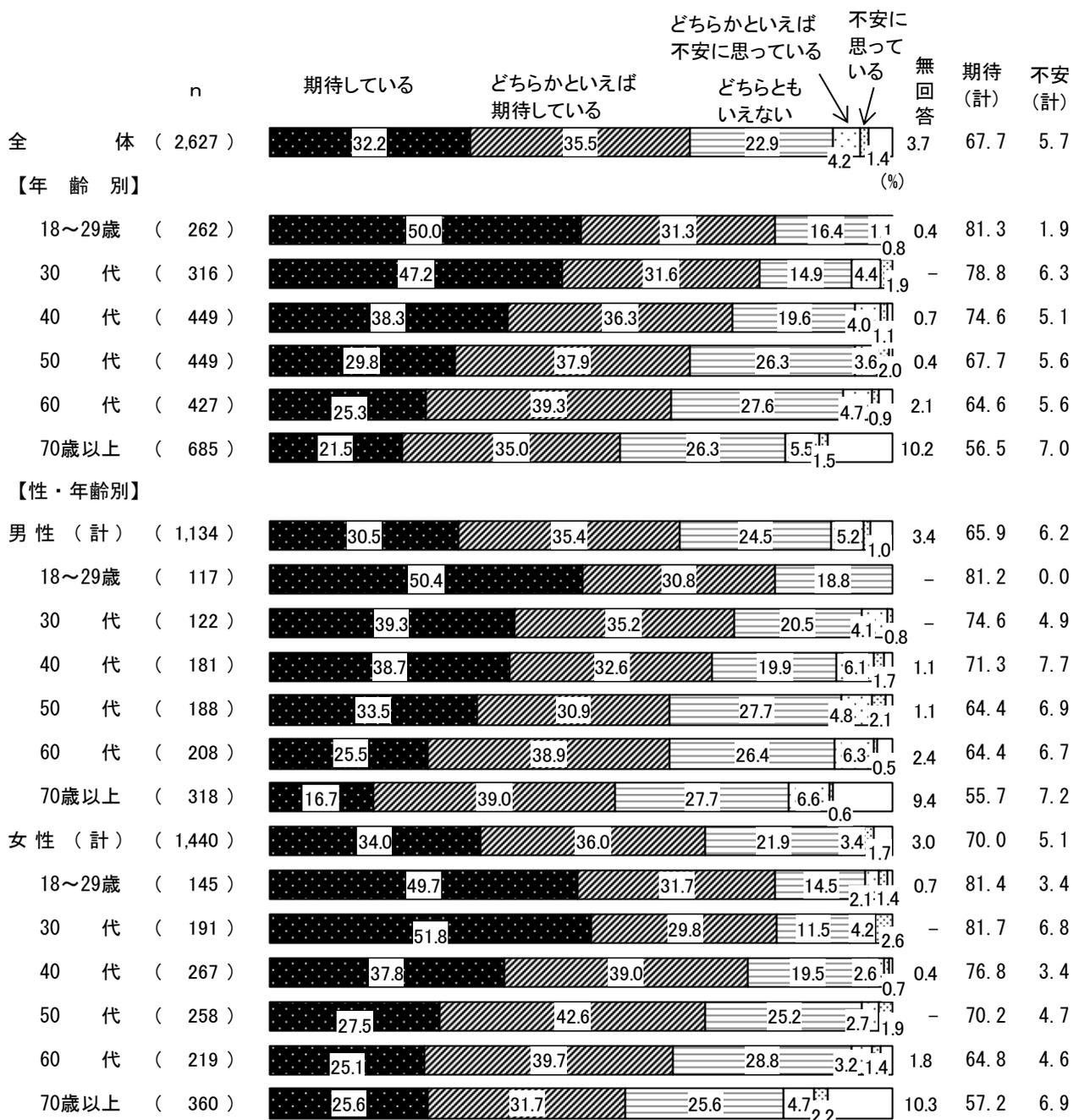
①環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル [年齢別、性・年齢別]

『期待（計）』は18～29歳で8割を超える

「新たな仕事スタイル」について、年齢別にみると、『期待（計）』は18～29歳（81.3%）で8割を超えて最も多く、年齢が低いほど多くなっている。

性・年齢別にみると、『期待（計）』は女性30代（81.7%）で8割を超えて最も多く、次いで女性18～29歳（81.4%）、男性18～29歳（81.2%）となっている。また、いずれの年齢も、『期待（計）』は男性よりも女性のほうが多くなっている。

図6-3-2 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル [年齢別、性・年齢別]

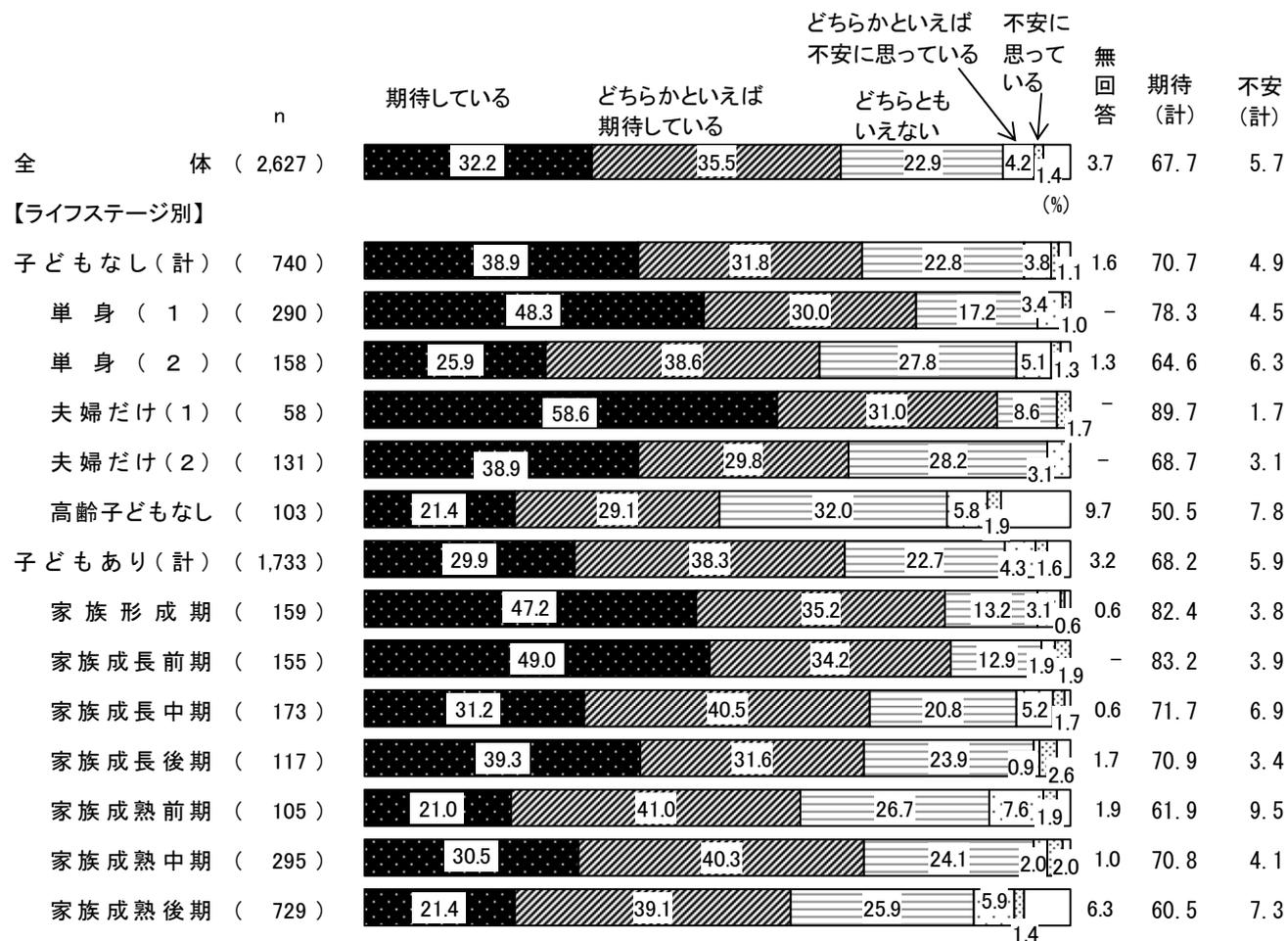


②環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル [ライフステージ別]

『期待（計）』は夫婦だけ（1）で9割近く

ライフステージ別にみると、『期待（計）』は夫婦だけ（1）（89.7%）で9割近くと最も多く、高齢子どもなし（50.5%）で約5割と最も少なくなっている。

図6-3-3 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル [ライフステージ別]

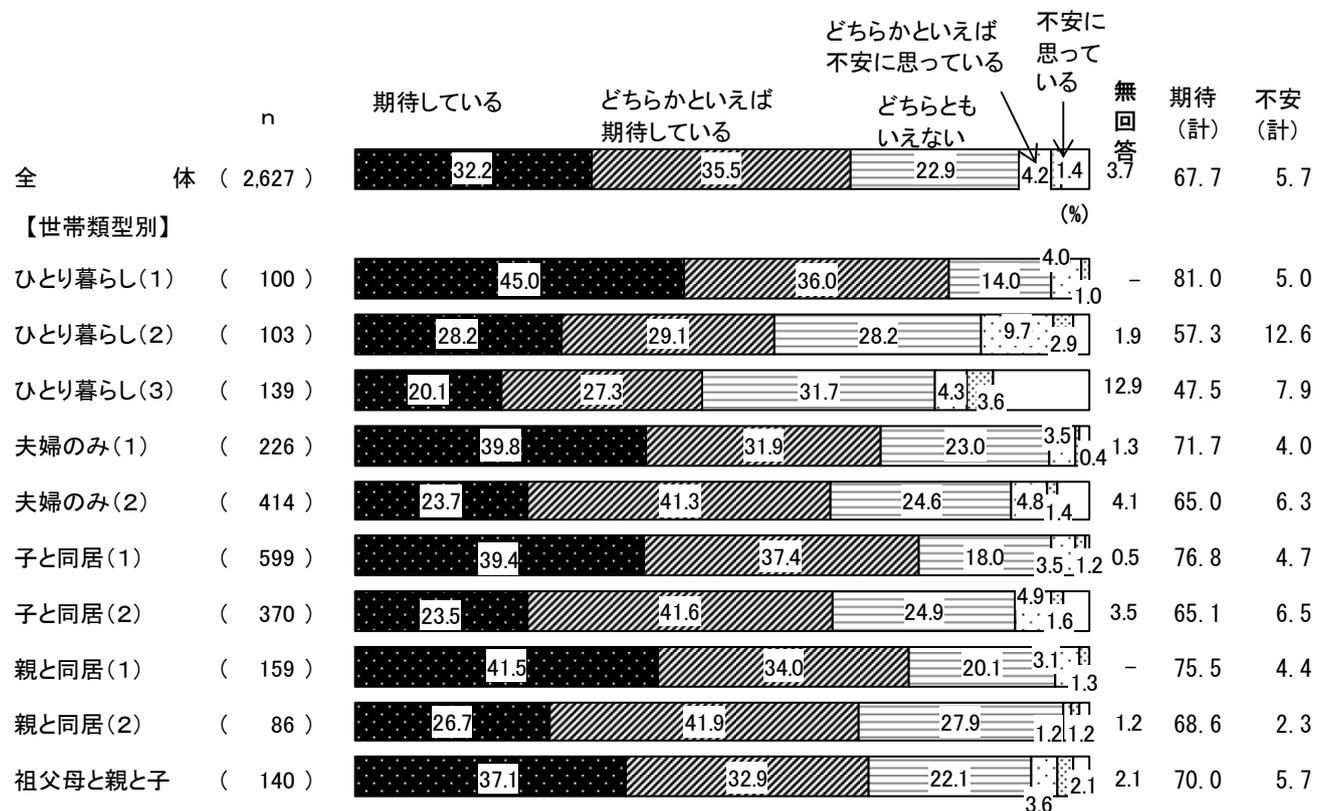


③環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル〔世帯類型別〕

『期待（計）』はひとり暮らし（1）で8割を超える

世帯類型別にみると、『期待（計）』はひとり暮らし（1）（81.0%）で8割を超えて最も多く、ひとり暮らし（3）（47.5%）で4割半ばと最も少なくなっている。

図6-3-4 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル〔世帯類型別〕

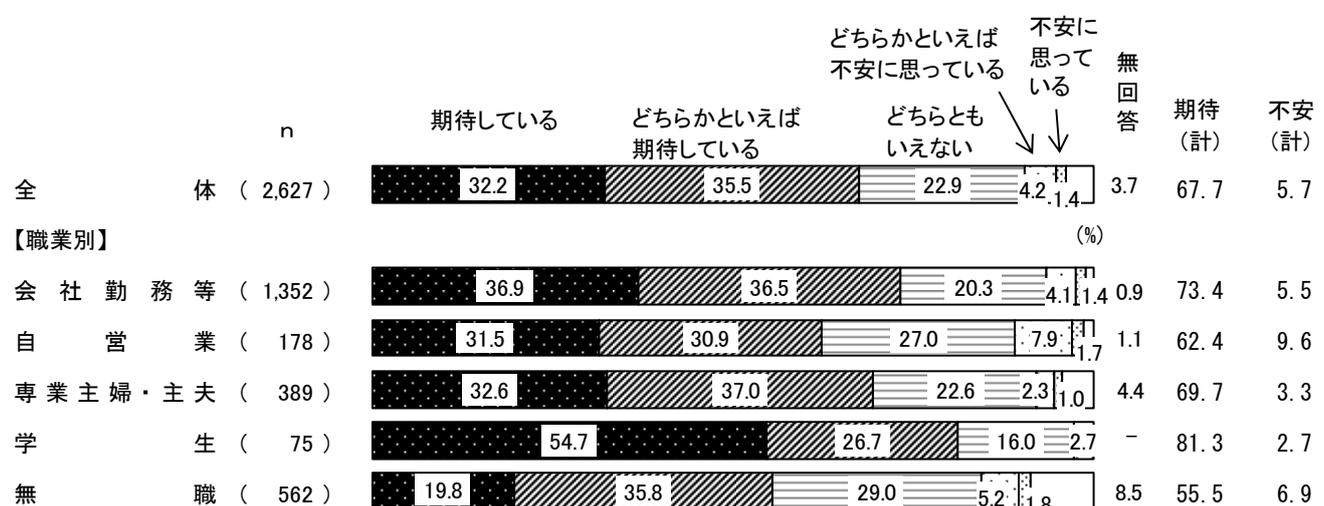


④環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル〔職業別〕

『期待（計）』は学生で8割を超える

職業別にみると、『期待（計）』は学生（81.3%）で8割を超えて最も多くなっている。

図6-3-5 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイル〔職業別〕



(注) 「会社勤務等」：「管理職」、「専門技術職」、「事務職」、「現業職」をまとめて「会社勤務等」としている。

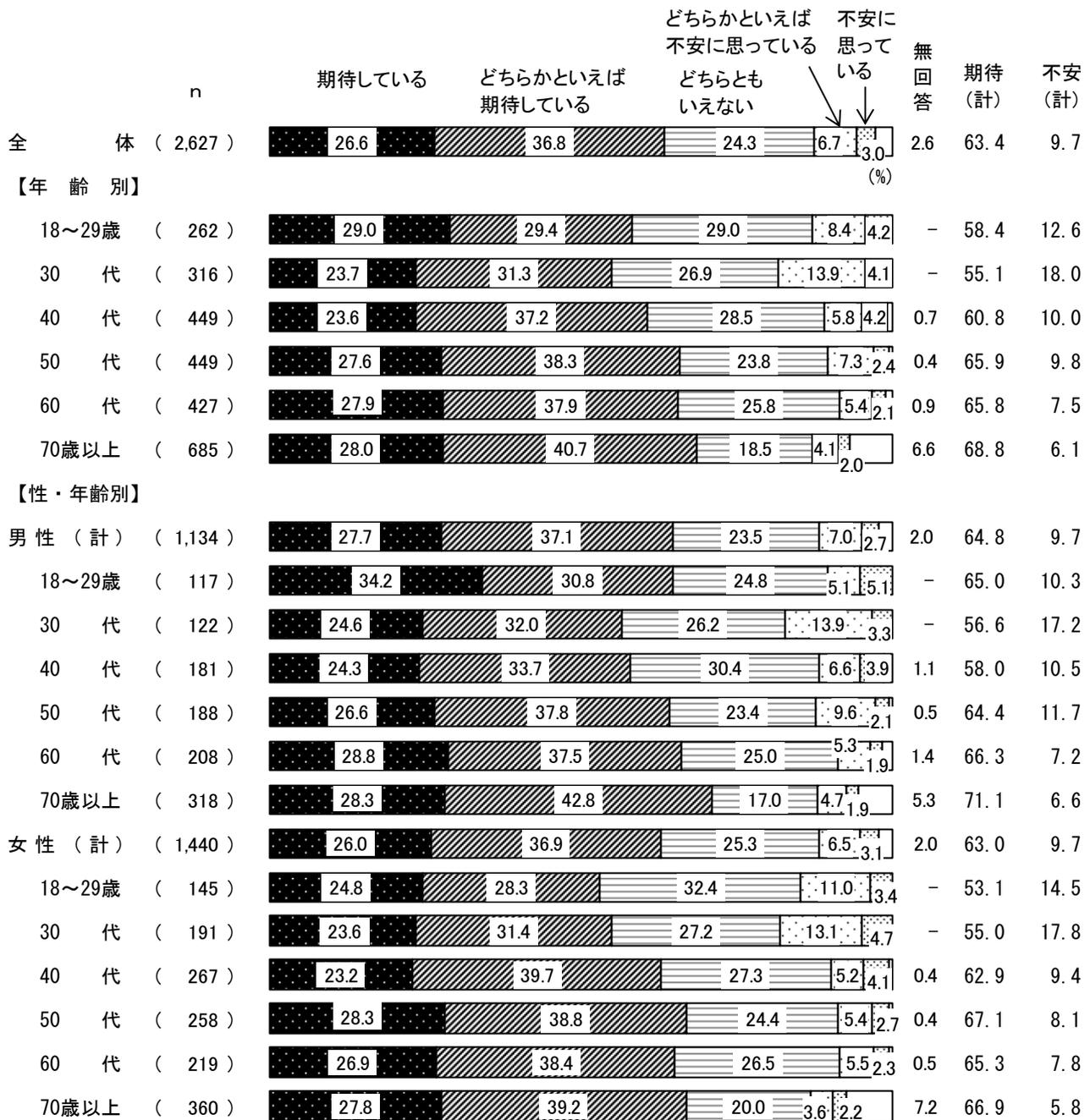
⑤環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔年齢別、性・年齢別〕

『期待（計）』は70歳以上で7割近く

「学び働き続けられる社会」について、年齢別にみると、『期待（計）』は70歳以上（68.8%）で7割近くと最も多くなっている。一方、『不安（計）』は30代（18.0%）で最も多くなっている。

性・年齢別にみると、『期待（計）』は男性70歳以上（71.1%）で7割を超えて最も多くなっている。

図6-3-6 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔年齢別、性・年齢別〕

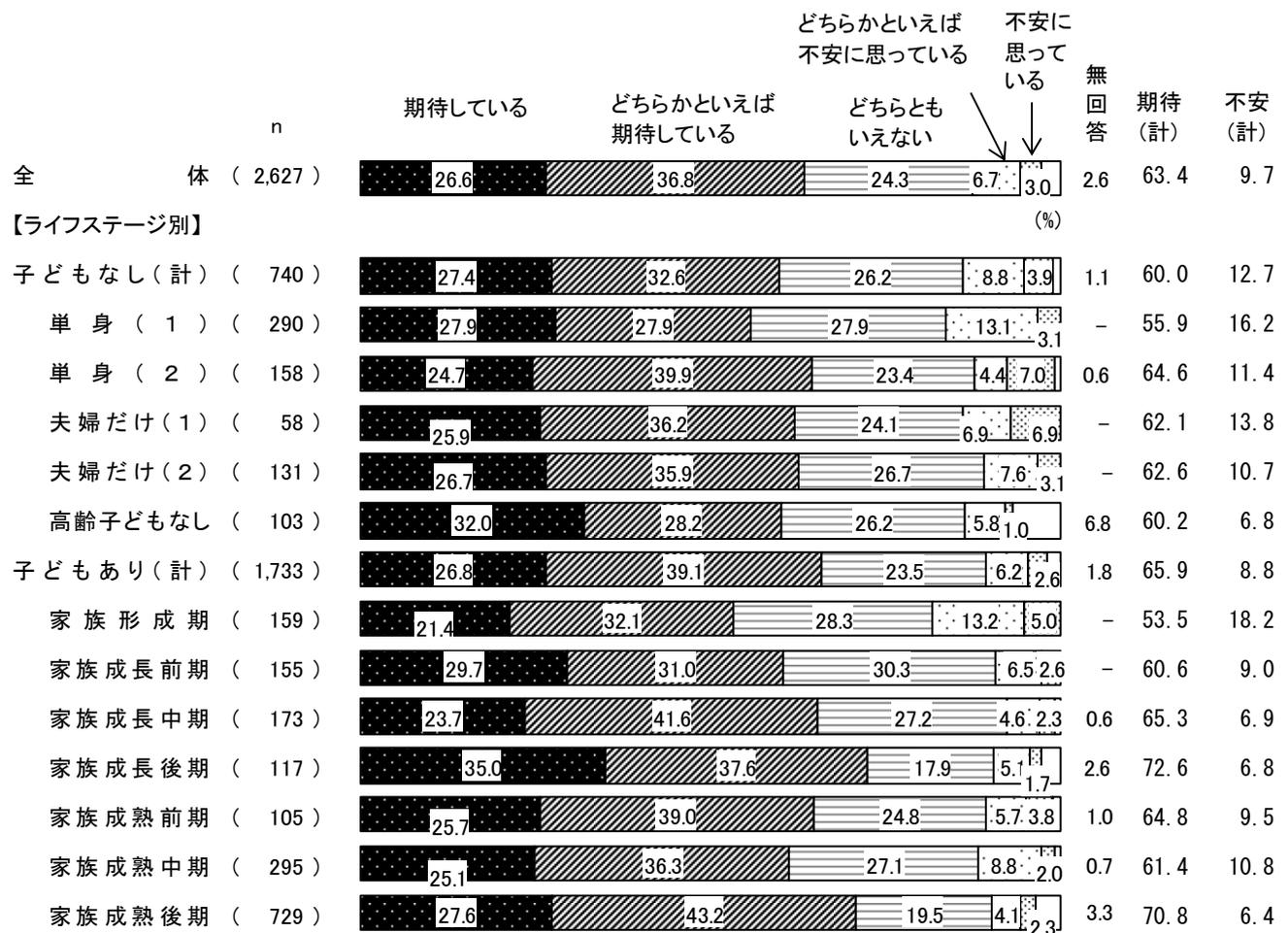


⑥環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会【ライフステージ別】

『期待（計）』は家族成長後期、家族成熟後期で7割を超える

ライフステージ別にみると、『期待（計）』は家族成長後期（72.6%）で7割を超えて最も多く、次いで家族成熟後期（70.8%）となっている。一方、『不安（計）』は家族形成期（18.2%）で2割近くと最も多くなっている。

図6-3-7 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会【ライフステージ別】

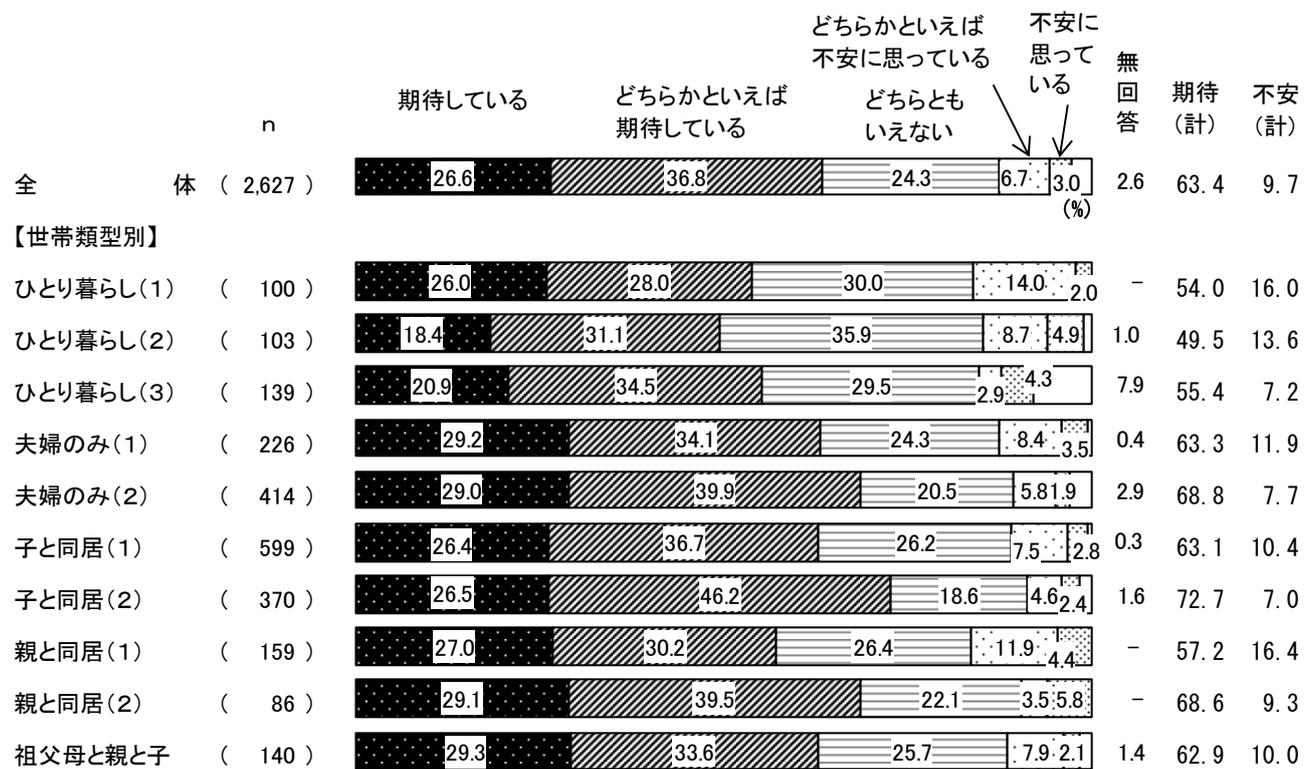


⑦環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔世帯類型別〕

『期待（計）』は子と同居（2）で7割を超える

世帯類型別にみると、『期待（計）』は子と同居（2）（72.7%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『不安（計）』は親と同居（1）（16.4%）で最も多くなっている。

図6-3-8 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔世帯類型別〕

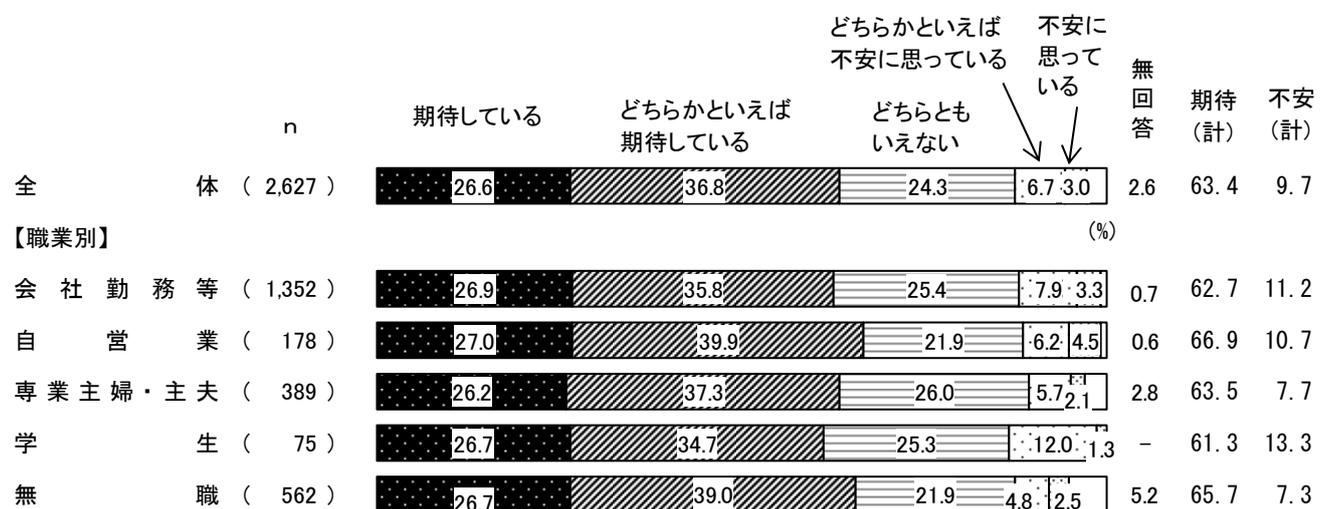


⑧環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔職業別〕

『期待（計）』は職業による大きな違いはみられない

職業別にみると、『期待（計）』は自営業（66.9%）、無職（65.7%）でやや多くなっているが、職業による大きな違いはみられない。

図6-3-9 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔職業別〕



(注) 「会社勤務等」：「管理職」、「専門技術職」、「事務職」、「現業職」をまとめて「会社勤務等」としている。

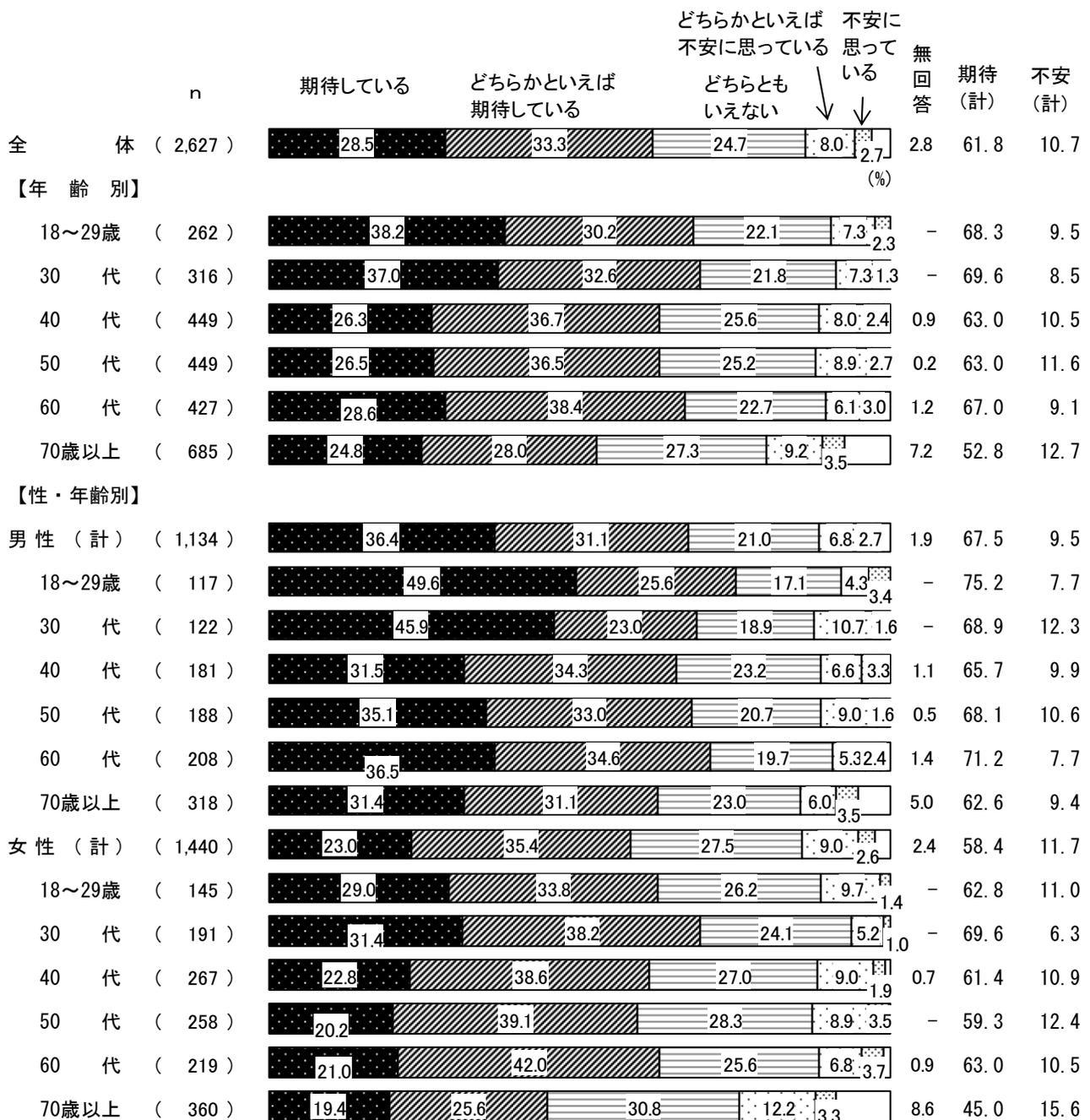
⑨環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化〔年齢別、性・年齢別〕

『期待（計）』は30代で7割近く

「AIの実用化」について、年齢別にみると、『期待（計）』は30代（69.6%）で7割近くと最も多く、70歳以上（52.8%）で最も少なくなっている。

性・年齢別にみると、『期待（計）』は男性18～29歳（75.2%）で7割半ばと最も多くなっている。また、『期待（計）』は30代を除き、女性よりも男性のほうが多くなっている。

図6-3-10 環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化〔年齢別、性・年齢別〕

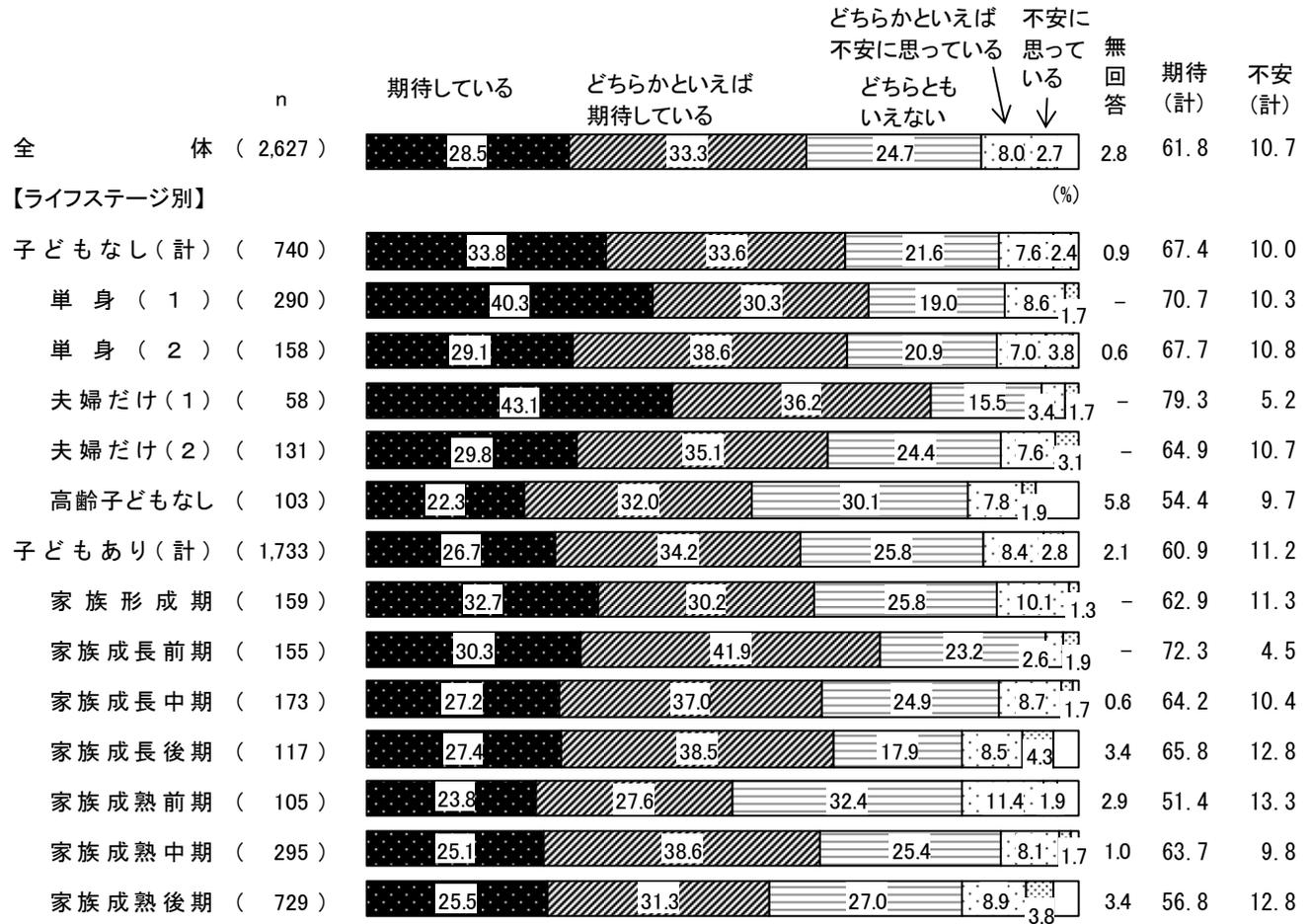


⑩環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化 [ライフステージ別]

『期待（計）』は夫婦だけ（1）で8割近く

ライフステージ別にみると、『期待（計）』は夫婦だけ（1）（79.3%）で8割近くと最も多くなっている。一方、家族成熟前期（51.4%）では約5割と少なくなっている。

図6-3-11 環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化 [ライフステージ別]

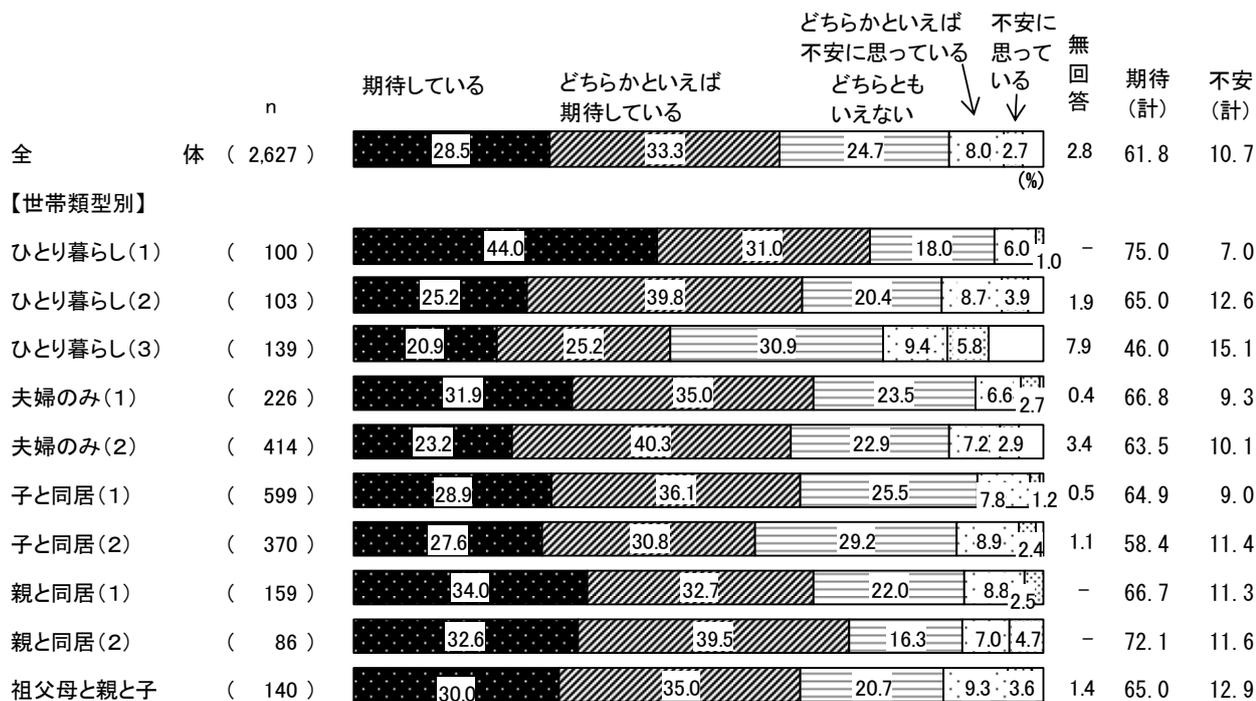


⑪環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化〔世帯類型別〕

『期待（計）』はひとり暮らし（1）で7割半ば

世帯類型別にみると、『期待（計）』はひとり暮らし（1）（75.0%）で7割半ばと最も多く、ひとり暮らし（3）（46.0%）で4割半ばと最も少なくなっている。

図6-3-12 環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化〔世帯類型別〕

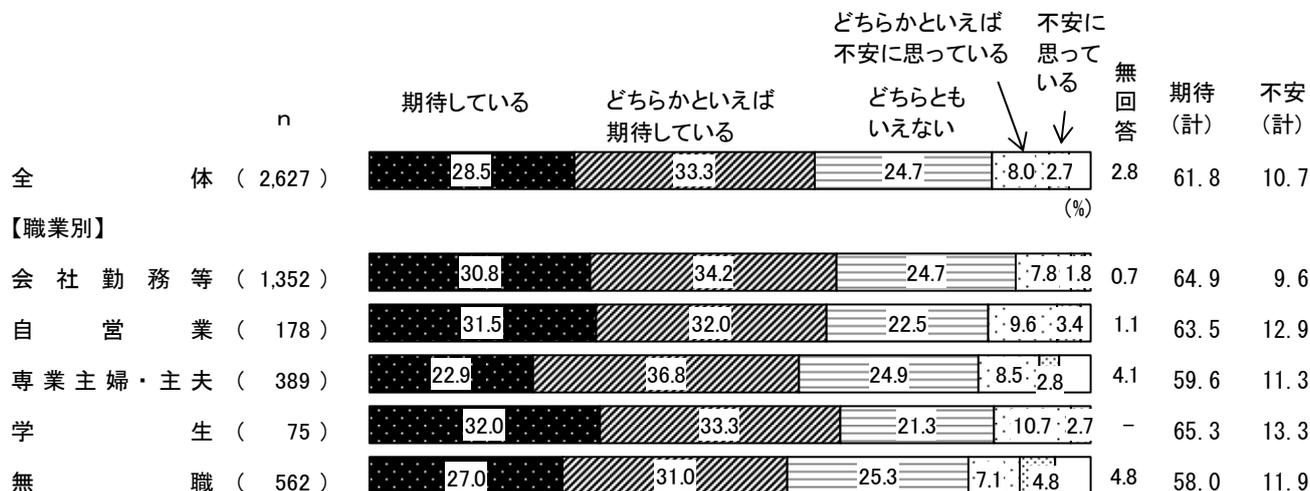


⑫環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化〔職業別〕

『期待（計）』は学生で6割半ば

職業別にみると、『期待（計）』は学生（65.3%）などで6割半ばとやや多くなっている。

図6-3-13 環境の変化への期待・不安（ウ）AIの実用化〔職業別〕



(注) 「会社勤務等」：「管理職」、「専門技術職」、「事務職」、「現業職」をまとめて「会社勤務等」としている。

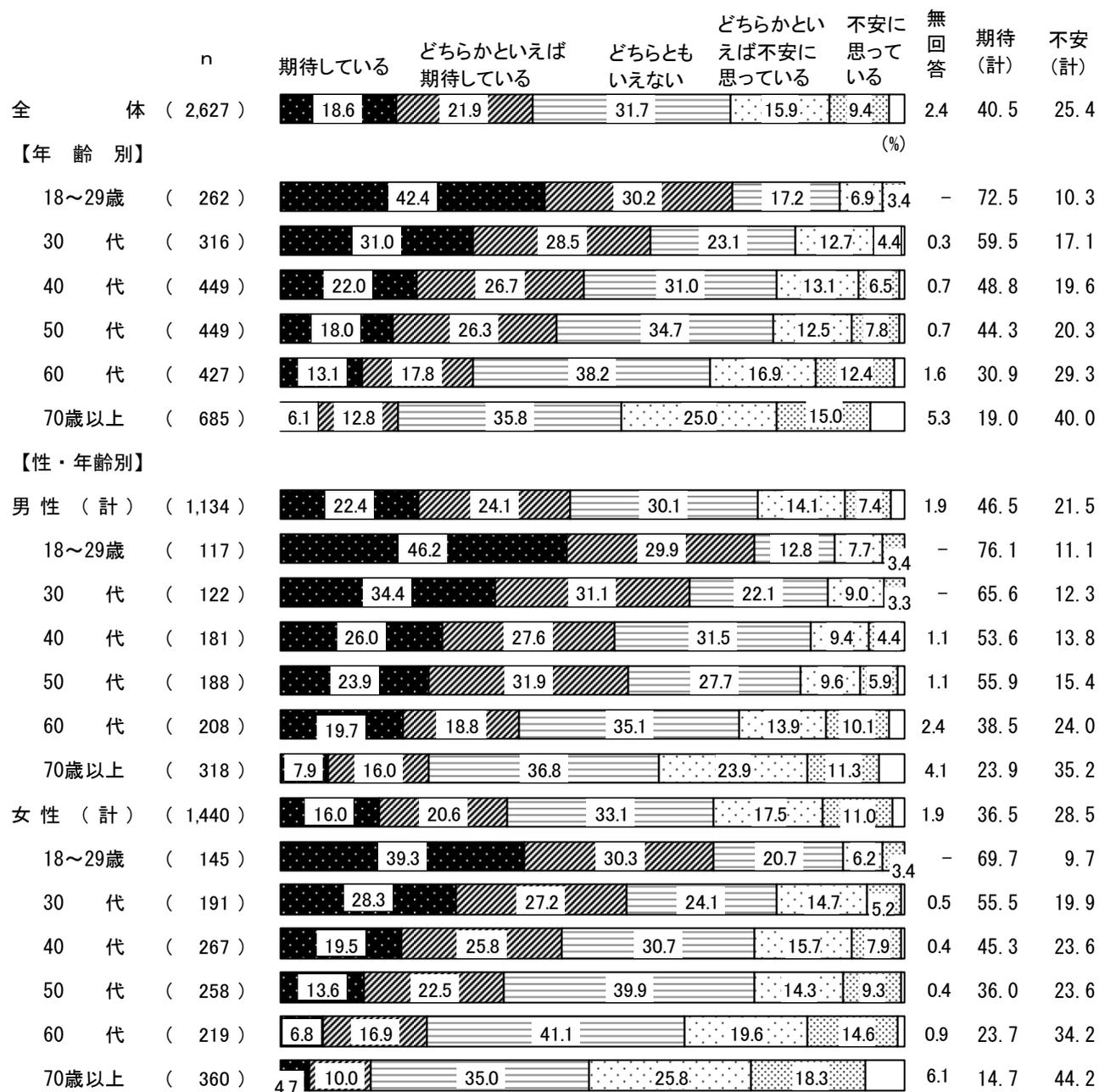
⑬環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化〔年齢別、性・年齢別〕

『期待（計）』は年齢が高いほど少なく、年代による差が大きい

「キャッシュレス化」について、年齢別にみると、『期待（計）』は18～29歳（72.5%）で7割を超えて最も多くなっている。また、年齢が高くなるにつれて少なくなっており、70歳以上では19.0%と、年代による差がかなり大きくなっている。

性・年齢別にみると、『期待（計）』は男性18～29歳（76.1%）で7割半ばと最も多く、女性70歳以上（14.7%）で1割半ばと最も少なくなっている。

図6-3-14 環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化〔年齢別、性・年齢別〕

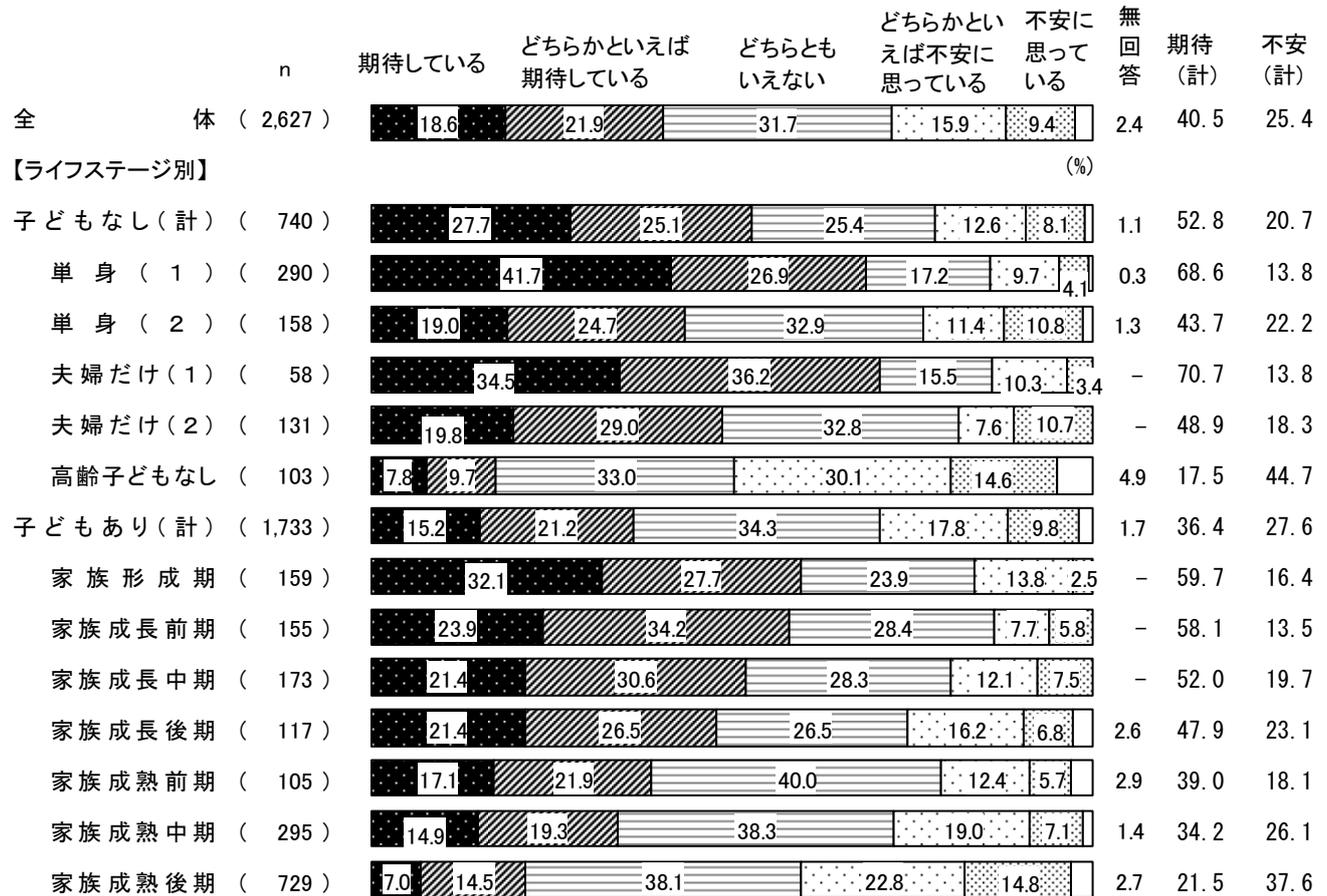


⑭環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化 [ライフステージ別]

『期待（計）』は夫婦だけ（1）で7割を超える

ライフステージ別にみると、『期待（計）』は夫婦だけ（1）（70.7%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『不安（計）』は高齢子どもなし（44.7%）で4割半ばと最も多くなっている。

図6-3-15 環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化 [ライフステージ別]

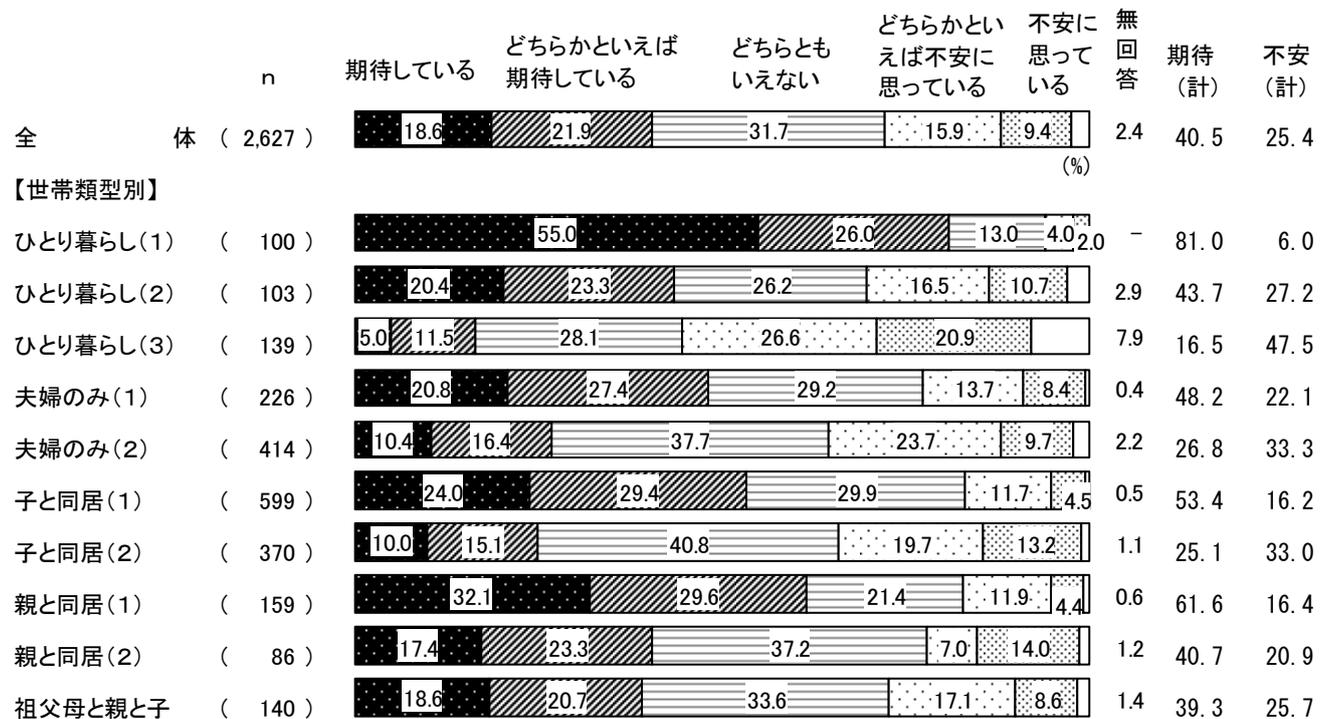


⑮環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化〔世帯類型別〕

『期待（計）』はひとり暮らし（1）で8割を超える

世帯類型別にみると、『期待（計）』はひとり暮らし（1）（81.0%）で8割を超えて最も多くなっている。『不安（計）』はひとり暮らし（3）（47.5%）で最も多くなっている。

図6-3-16 環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化〔世帯類型別〕

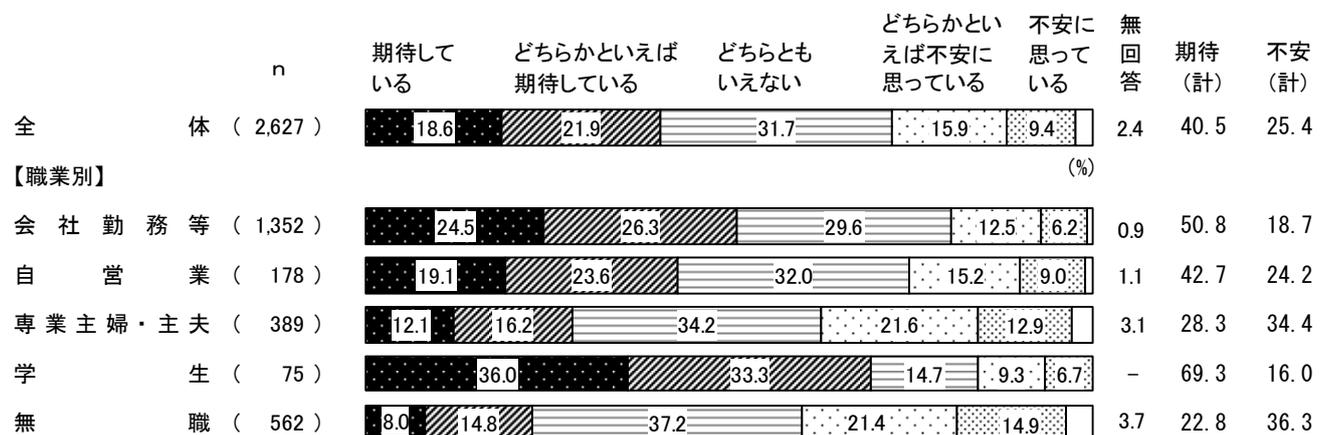


⑯環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化〔職業別〕

『期待（計）』は学生で7割近く

職業別にみると、『期待（計）』は学生（69.3%）で7割近くと最も多く、無職（22.8%）、専業主婦・主夫（28.3%）で2割台と少なくなっている。

図6-3-17 環境の変化への期待・不安（エ）キャッシュレス化〔職業別〕



（注）「会社勤務等」：「管理職」、「専門技術職」、「事務職」、「現業職」をまとめて「会社勤務等」としている。

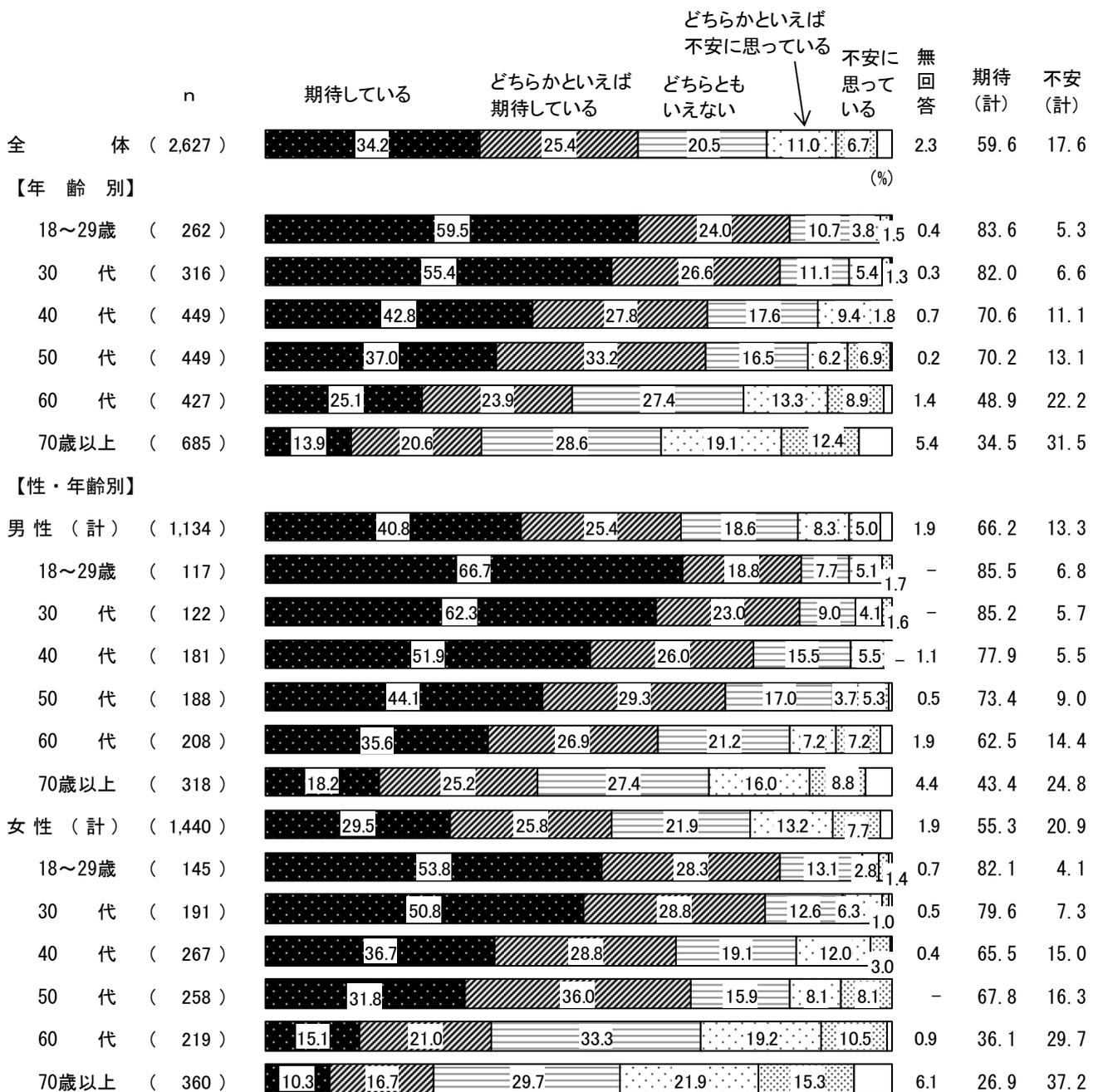
⑰環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化〔年齢別、性・年齢別〕

『期待（計）』は18～29歳、30代で8割を超える

「行政手続のオンライン化」について、年齢別にみると、『期待（計）』は18～29歳（83.6%）と30代（82.0%）で8割を超えて多くなっている。また、年齢が高くなるにつれて少なくなっており、70歳以上（34.5%）で3割半ばとなっている。

性・年齢別にみると、『期待（計）』は男性18～29歳（85.5%）、男性30代（85.2%）、女性18～29歳（82.1%）で8割を超えて多くなっている。『不安（計）』は女性70歳以上（37.2%）で最も多くなっている。

図6-3-18 環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化〔年齢別、性・年齢別〕

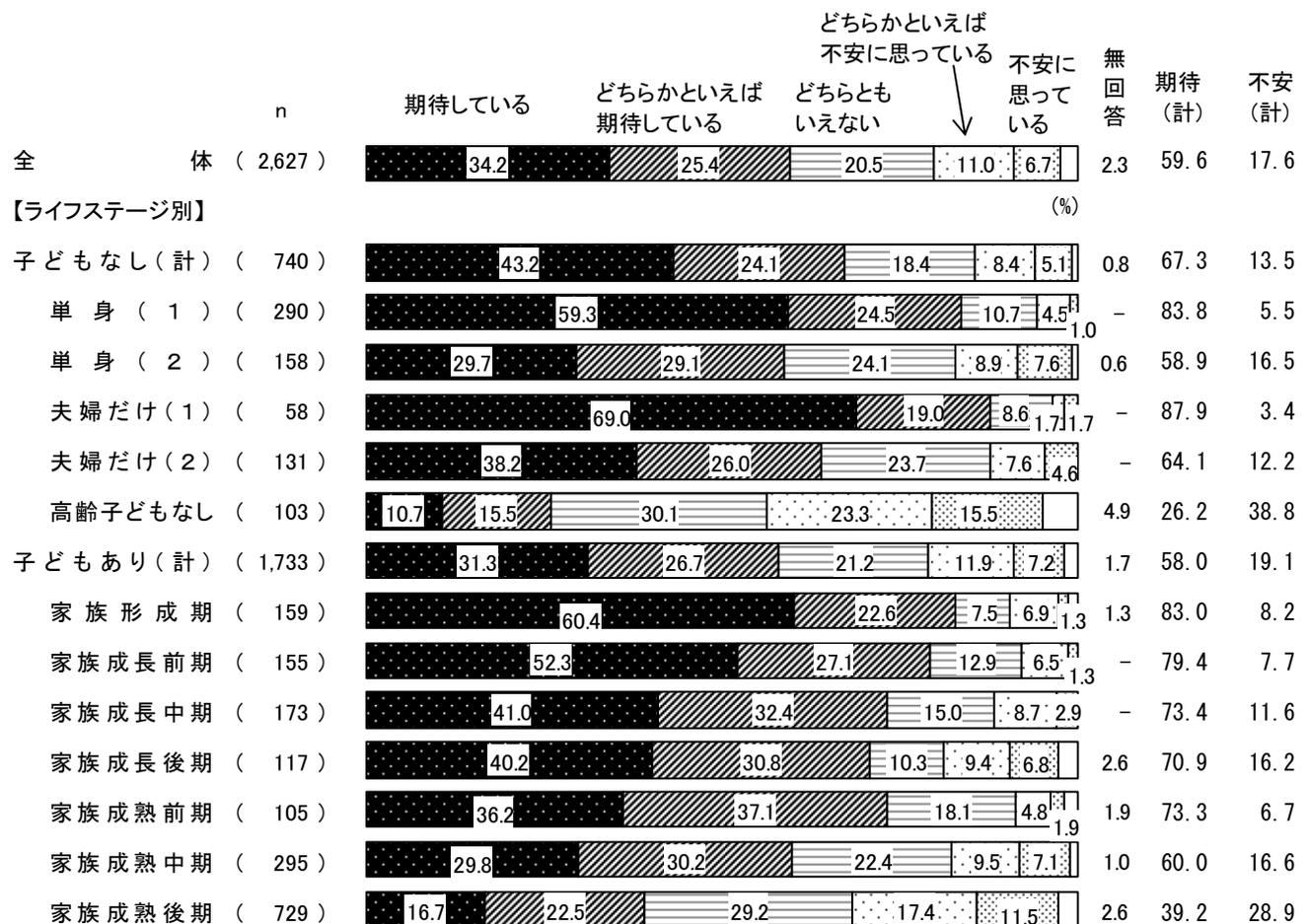


⑩環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化 [ライフステージ別]

『期待（計）』は夫婦だけ（1）で9割近く

ライフステージ別にみると、『期待（計）』は夫婦だけ（1）（87.9%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不安（計）』は高齢子どもなし（38.8%）で4割近くと最も多くなっている。

図6-3-19 環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化 [ライフステージ別]

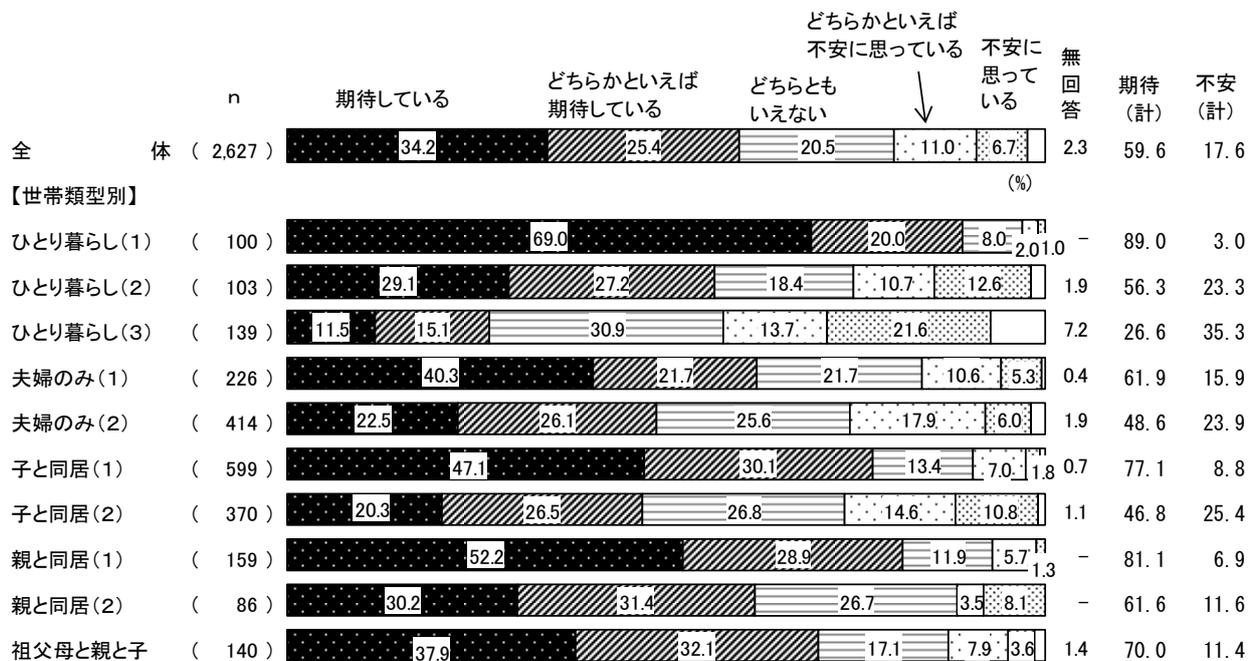


⑱環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化〔世帯類型別〕

『期待（計）』はひとり暮らし（１）で９割近く

世帯類型別にみると、『期待（計）』はひとり暮らし（１）（89.0%）で９割近くと最も多く、ひとり暮らし（３）（26.6%）で２割半ばと最も少なくなっている。

図 6-3-20 環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化〔世帯類型別〕

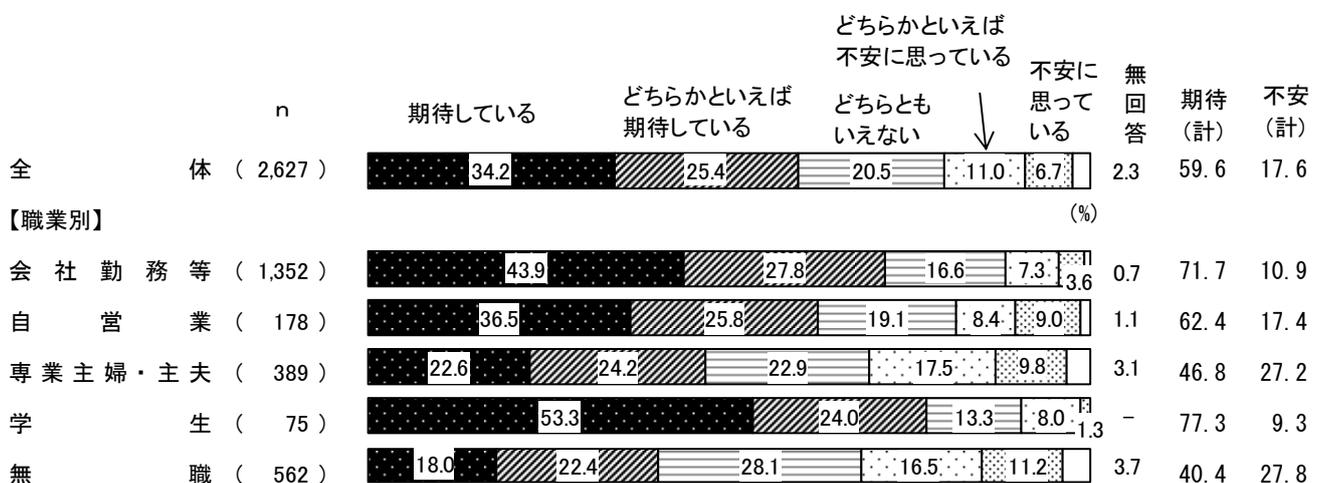


⑳環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化〔職業別〕

『期待（計）』は学生で７割半ば

職業別にみると、『期待（計）』は学生（77.3%）で七割半ばと最も多くなっている。

図 6-3-21 環境の変化への期待・不安（オ）行政手続のオンライン化〔職業別〕



(注) 「会社勤務等」：「管理職」、「専門技術職」、「事務職」、「現業職」をまとめて「会社勤務等」としている。

参 考

(1) 回答方法別の回収標本分析

本年度は回答の回収方法を例年の訪問回収から郵送回答・インターネット回答併用に変更した。

回答方法は、18～29歳では「インターネット回答（スマートフォン）」が5割を超えて最も多くなっている。40代以上では「郵送回答」が5割を超えて多く、特に70代以上では9割を超えている。

			郵送回答		インターネット回答（パソコン）		インターネット回答（スマートフォン）	
			実数	割合	実数	割合	実数	割合
全体	計	2,574	1,734	67.4%	314	12.2%	526	20.4%
	男	1,134	691	60.9%	216	19.0%	227	20.0%
	女	1,440	1,043	72.4%	98	6.8%	299	20.8%
18-29歳	計	262	97	37.0%	28	10.7%	137	52.2%
	男	117	39	33.3%	21	17.9%	57	48.5%
	女	145	58	40.0%	7	4.8%	80	55.0%
30代	計	313	145	46.3%	47	15.0%	121	38.6%
	男	122	47	38.5%	29	23.7%	46	37.5%
	女	191	98	51.3%	18	9.4%	75	39.1%
40代	計	448	253	56.5%	70	15.6%	125	27.9%
	男	181	84	46.4%	37	20.4%	60	33.0%
	女	267	169	63.3%	33	12.3%	65	24.3%
50代	計	446	290	65.0%	74	16.6%	82	18.4%
	男	188	101	53.7%	52	27.6%	35	18.5%
	女	258	189	73.3%	22	8.5%	47	18.2%
60代	計	427	328	76.8%	58	13.6%	41	9.6%
	男	208	140	67.3%	47	22.5%	21	10.1%
	女	219	188	85.8%	11	5.0%	20	9.1%
70代	計	457	412	90.2%	30	6.6%	15	3.3%
	男	221	188	85.1%	26	11.7%	7	3.2%
	女	236	224	94.9%	4	1.7%	8	3.4%
80歳以上	計	221	209	94.6%	7	3.2%	5	2.3%
	男	97	92	94.8%	4	4.1%	1	1.0%
	女	124	117	94.4%	3	2.4%	4	3.2%

年齢又は性別の無回答者を除く。

(2) 過年度との回収率の比較

過年度との回収率の比較をみると、今回調査ではいずれの年代も回収率が低下している。また、インターネット回答の導入（併用）による若年層の回収率への影響は特にみられなかった。

	18～29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	全体
令和2年度	33.6%	43.9%	48.4%	52.3%	67.8%	63.2%	52.5%
過年度	53.4%	60.2%	65.7%	73.3%	79.7%	78.1%	68.8%
差引	▲19.8%	▲16.3%	▲17.3%	▲21.0%	▲11.9%	▲14.9%	▲16.3%

過年度は令和元年度と平成30年度の平均値

令和 2 年度 横浜市民意識調査
令和 3 年 3 月発行

横浜市 政策局 政策部 政策課

〒231-0005 横浜市中区本町 6 丁目 50 番地の 10

TEL 045 (671) 2028

FAX 045 (663) 1225

mail ss-ishiki@city.yokohama.jp

この報告書を引用する場合は、出典を明記してください。